令和2年度

農 病 南 幌 作物 害 町 虫 ガ 雑 草 防 除 (含:植物 成長調整 剤 使用 ガイド)

幌 農 議 発 行 町 業 指 南 町・南 幌 南 幌 町 農 業 協 同 組 合 お問い合わせ先 南幌町農業協同組合営農部資材課 空知農業改良普及センター空知南西部支所

◇安全性の高い、良質・良食味の農産物を生産しよう ◇病害虫は早期発見・適正防除で低コストを目指そう ◇農薬の保管は鍵のかかる場所に保管しよう

農薬安全使用のための13ヶ条

- 1. 農薬を使う前に必ずラベル(説明書)をよく読み、対象作物、使用濃度・量・時期・回数などの使用基準を守り、ラベルの記載内容以外には使用しないこと。
- 2. 病後、疲労しているときなど体調の優れない状態、特異体質、妊娠中の人は、散布作業に従事しないこと。
- 3. 散布作業の**現場**には、子供その他関係者以外の**人が近づかないよう**、必要に応じ立て札を立てるなどの配慮をするとともに、周辺圃場、居住人、 通行人などに**飛散しないよう十分注意**すること。
- 4. 散布液の調製や散布作業には、農薬を浴びないよう、必ず**農薬用マスク、不浸透性手袋、保護メガネを着用し、専用の防除衣、帽子、長靴**などを用いて**露出部分を少なくする**こと。
- 5. **防除機具は、**事前に十分整備・点検を行っておくこと。
- 6. 散布作業は熱い日中を避けて、**風の強くない、朝夕の涼しい時**を選び、一人で長時間の連続散布作業はしないこと。
- 7. 散布作業中の喫煙・飲食は避け、作業後は必ず**石鹸で顔や手足をよく洗い、うがい・洗眼**をし、作業衣は速やかに**着替える**こと。
- 8. 散布中や散布後に、めまい、吐き気など体に異常を感じたら、直ちに医師の診断を受けること。
- 9. 使った容**器や防除機具などはただちに洗浄、**残った**散布液や洗浄液**は、用水や河川などに流れ込んだり、井戸水を汚染したりする恐れがなく、 また**作物を植えることがない場所**を選び、土にしみこませるよう処分すること。
- 10. 地域住民や飼養動物(家畜、魚、蚕、ミツバチなど)に中毒事故や危被害が起きたり、他作物に飛散したり、薬害が出た場合は速やかに周辺住民、最寄りの警察署、保健所等の関係各方面に連絡をとり対策を講ずること。
- 11. 農薬の使用状況を帳簿に記載、使用した年月日、場所、農作物、農薬名、使用量・希釈倍数などを記録しておくこと。
- 12. 使い残した農薬は、**密栓・密封**して、湿度や温度の高い所を避け、**農薬専用の保管庫**に収納し、必ず**カギをかけて**、子供などの手の届かないところに**保管する**こと。
- 13. 空袋、空びんなどの**空容器**は、残った**農薬を適正に除去し、廃棄物処理業者に委託**するなど、適切に処分すること。

農作物病害虫防除ガイド・雑草防除ガイド目次

項	目	ページ		項	目	ページ
農薬安全使用のための13ヶ条		表紙裏				
1 水稲防除ガイド		1	資料(1)	無人ヘリコプター散布用]農薬	23
(1) 種子消毒・殺菌剤		1	資料(2)	速度連動式地上液剤少	全散布用農薬(パンクル)	23
(2) 殺虫剤		1				
(3) 殺菌・殺虫剤		2	8	水稲除草剤・成長調整:	剤使用ガイド	24~25
2 小麦(秋小麦・春小麦)防除ガイド		3	9	畑作除草剤・成長調整:	剤使用ガイド	26 ~ 27
3 大豆防除ガイド		4	10	野菜類除草剤•成長調	整剤使用ガイド	28~29
4 小豆防除ガイド		5				
5 そば防除ガイド		5	11	果樹類防除ガイド(マイナー	作物グループ化)	30
6 てんさい防除ガイド		6	(1)	果樹類・・共通「作物指」	定無し」	30
7 野菜類防除ガイド		7		小粒核果類		30
(1) キャベツ		7~8		ブルーベリー		30
(2) ブロッコリー		9	(4)	果樹類・・自家用果樹・・	一般的な使用農薬一覧	31
(3) たまねぎ		10				
(4) ねぎ		11~12	12	花き類(花き類・観葉植	物)防除ガイド	32
<u>(5) 軟白ねぎ</u>		13		くきく、ばら、花ゆり、デルフ	ィニュウム等切り花、シクラメン、ベゴニア等鉢物>	32
(6) ピーマン		14				
(7) はくさい		15	13	樹木類防除ガイド		33
(8) だいこん		16		くさくら、もみじ、ライラック、	まつ、ぼけ、等樹木類>	33
(9) ばれいしょ		16				
(10)トマト		17		農薬散布の基本技	支 術	裏表紙裏
(11) ミニトマト		17				
(12)なす		18			+ 11 # 0 B L L + + T A A	
(13) きゅうり		18			載·対策の具体的事項◆◆	
(14) かぼちゃ -		19	,		・風速(風速3m/秒以下)に注意する。	
(15) ほうれんそう		19			くから、作物体とノズルの距離に注意する。	
(16) にんにく		19~20		(3) ほ場の端での散る		
(17) アスパラガス		20		(4) 散布圧力は上げる	· - - ·	
(18) しそ		20		(5) 散布時の風圧は		
(19) 未成熟そらまめ		20		(6) 近隣栽培作物を流	主視し、収穫時期などに留意する。	
(20) さやいんげん		21		(7)ドリフト低減型の間	数布ノズルに交換する。	
(21) 未成熟とうもろこし(スイートコー)	ン)	21		(8) 遮蔽シート・ネット	— · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
(22) すいか		22		(9) ドリフトしにくい農	薬・製剤を利用する。	

1. 水 稲 防 除 ガ イド

(1)種子消毒・殺菌剤

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

ピュアライス栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	ピュアライス R2年度 統一薬剤	系統名	毒 性 • 魚毒性	苗立枯病	ば か 苗 病	褐条病	苗立枯細菌病	いもち病	使用時期・回数	処理濃度•量
	(温湯消毒)		☆	_	_	•	•	_	•	•	浸種前乾籾:1回(種子消毒)	60℃10分間/直後冷却
	必要時・・食酢による補完防除		☆	(特定防除資材)	_	_	_	(●)	_	_	ハト胸催芽器による出芽時に食酢「穀物]酢:酸度4.2%」を2%(50倍液)混入する
18601	テクリードCフロアブル	_		DMI+銅	普·B	•	•	•	•	•	浸種前:1回	200倍24時間(種子消毒·浸漬処理)
20889	ベンレート水和剤(玄米感染種子消毒)	_		MBC	普∙B	_	•	_	1	•	播種前:1回	500~1,000倍24時間 (種子消毒·浸漬処理)
20889	ベンレート水和剤(玄米感染種子消毒)	-		MBC	普•B		_	_	-	•	播種時~播種7日後頃∶2回	1,000倍(マット500ml/箱、ポット300ml/箱灌注)
21298	ブイゲットフロアブル	1,170~2,339	\Rightarrow	チアシ゛アソ゛ールカルホ゛キサミト゛	普∙B	_	1	-	1	•	移植3日前~移植当日∶1回	25~50倍 (マット500ml/箱、ポット300ml/箱灌注)
22701	ルーチン粒剤(水面施用の登録も有)	-		チアシ゛アソ゛ールカルホ゛キサミト゛	普•A	_	-	-	1	•	播種時(覆土前)~移植当日:1回	50g/箱・散粒(床土混和も可)
23195	ルーチンフロアブル	2,351~3,144		チアシ゛アソ゛ールカルホ゛キサミト゛	普•A	_	-	_	1	•	移植3日前~移植当日∶1回	75~100倍(マット500ml/箱、ポット300ml/箱灌注)
23186	スタウト顆粒水和剤	2,351		チアシ゛アソ゛ールカルホ゛キサミト゛	普∙A	_	_	_	_	•	は種時覆土前~移植当日:1回	200倍(マット500ml/箱、ポット300ml/箱灌注)
22898	タチガレエースM粉剤	298 ~ 397		フェニルアミド+芳香族ヘテロ環	普•A		ムレ首	苗防止、根	の生育促済	≝●	播種前:1回	6~8g/箱 (土壌混和)
22899	タチガレエースM液剤	148~296		フェニルアミド+芳香族ヘテロ環	普∙A	•	ムレ苗防止	こ、根の生剤	育促進、活	着促進●	播種時•発芽後∶1回	500~1,000倍 (500ml/箱•灌注)
19065	コラトップ1キロ粒剤12	2,255 ~ 3,383		メラニン生合成阻害	普•A	_	_	_	_	•	葉いもち:初発10日前~初発時:2回	1~1.5kg/10a (水面施用)
23889	コラトップ豆つぶ	2,821~4,232		メラニン生合成阻害	普•A	_	_	_	_	•	葉いもち:初発10日前~初発時:2回	250~375g/10a(水面施用)
23172	コラトップジャンボP	3,058 ~ 3,975		メラニン生合成阻害	普∙A	_	_	_	_	•	葉いもち:初発20日前~初発時:2回	500~650g(10~13パック)/10a(水面施用)
7290	カスミン液剤	178		抗生物質	普•A	_	_	_	_	•	穂揃期まで∶2回	1,000倍
19165	ブラシンフロアブル	440		フェリムソ`ン+フサライト゛	普•A	褐条病●	穂枯れ	(ごま葉枯タ	病菌●)	•	7日前:2回	1,000倍
21691	ビームゾル (パンクル)	320		メラニン生合成阻害	劇•A	_	_	-	-	•	7日前:4回(本田3回以内)	300倍、25L/10a(少量散布)
21817	ビームエイトゾル (無人ヘリ)	202~323		メラニン生合成阻害	普∙A	_	_	_		•	7日前:4回(本田3回以内)	5~8倍、0.8L/10a(無人へリ散布)
17949	ブラシン粉剤DL	1,171 ~ 1,561		フェリムソ`ン+フサライト゛	普·B	変色米●	穂枯れ	(ごま葉枯タ	病菌●)	•	7日前:2回	3∼4kg/10a

- 注意事項 *テクリードCによる種子消毒は、浸種前に行い消毒は水洗いせずに浸種する(風乾の必要無)。また、消毒液の温度は10~12℃程度とし極端な低温は避ける。
 - *温湯消毒・薬剤消毒ともに、種子消毒後の種子は、二次感染の無いよう十分な注意が必要である。
 - *播種前床土混和は使用濃度が高すぎたり、使用量が多すぎると一時、初期生育が抑制されるので十分注意する。 *食酢液を作ってから種籾を入れる。1度使用した食酢液は、再使用しない。
 - *ブラシンは、幼植物の大豆、小豆、いんげん豆にかかると薬害を生ずる事があるので注意する。
 - *ビームは野菜類の幼苗にかかると薬害を生じることがあるので十分注意する。

- *温湯消毒の補完防除には、「木酢」「クエン酸」は未検討であるので使用しない。
- *バズ、キラップ、ルーチン、スタウト、ブイゲットは苗床用液肥との混用は避け、近接散布を行う場合は液肥→殺虫・殺菌剤の順とする。
- ☆:ピュアライス用防除剤はR2年2品種(ななつぼし・きたくりん)とも同じ。

(2)殺虫剤

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	ピュアライス R2年度 統一薬剤	系統名	毒 性 • 魚毒性	ムシドロオイ	ムシイネミズゾウ	カピメトビウン	フタオビコヤガ	カメムシ	使用時期•回数	処理濃度•量
11188	パダン粒剤4	770~1,027		ネライストキシン	劇•Bs	•	•	_	1	_	播種前:1回(床土混和)	稚・中苗 60~80g/マット・ポット
20342	アドマイヤー顆粒水和剤	511~1,022		ネオニコチノイト゛	劇•A	•	•	●(500倍)	1	_	移植2日前~移植当日∶1回	500~1,000倍 (0.5L/マット、0.3L/ポット・灌注)
20798	ダントツ水溶剤	476 ~ 952		ネオニコチノイト゛	普•A	•	•	●(200倍)	●(200倍)	_	移植3日前~移植当日:1回	200~400倍 (0.5L/マット、0.3L/ポット・灌注)
21471	キラップフロアブル	720 ~ 1,440		フェニルヒ゜ラソ゛ール	普∙A	•	1	_	1	_	移植3日前~移植当日:1回	100~200倍 (0.5L/マット、0.3L/ポット・灌注)
23841	バズ顆粒水和剤	1,211	☆	ジアミト゛	普∙B	•	•	_	•	_	播種時(覆土前)~移植当日:1回	1,000倍 (0.5L/マット、0.3L/ポット・灌注)
23751	アプライパディート粒剤(殺虫殺菌)	4,649	☆	ジアミド+チアジアゾールカルボキサミド	普•A	•	•	_	•	いもち病●	播種時覆土前:1回	50g/マット、30g/ポット
23570	スタウトパディート箱粒剤(殺虫殺菌)	4,828		ジアミド+チアジアゾールカルボキサミド	普•A	•	•	•	•	いもち病●	播種時(覆土前)~移植当日:1回	50g/マット、30g/ポット
22560	フェルテラ箱粒剤	3,812		ジアミト゛	普·B	•	•	_	•	_	播種時覆土前~移植当日:1回	50g/マット、30g/ポット
22760	プリンス粒剤	3,766		フェニルヒ゜ラソ゛ール	普·B	•	•	•	•	_	播種時(覆土前)~移植当日:1回	50g/マット、30g/ポット
18950	パダンSG水溶剤	660~1,320		ネライストキシン	劇•Bs	•	●(200g)	_	1	_	移植時:1回	100~200g/10a (ペースト側条施肥混和)
	※苗箱処理剤は中苗マット10a当たり35	枚として薬価	を算出。									

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	ピュアライス R2年度 統一薬剤	系統名	毒 性 · 魚毒性	ムシドロオイ	ムシイネミズゾウ	カヒメトビウン	フタオビコヤガ	カメムシ	使用時期・回数	処理濃度•量
22079	キラップ粒剤	3,278		フェニルヒ [°] ラソ゛ール	普∙A	_	_	•	_	•	14日前:2回	3kg/10a(湛水散布)
21471	キラップフロアブル	411~823	\Rightarrow	フェニルヒ゜ラソ゛ール	普•A	•	イナゴ類●		_	•	14日前:2回	1,000~2,000倍 (ドロオイ 2,000倍)(少量・無人ヘリ有)
	スタークル液剤10	463		ネオニコチノイト゛	普•A	_		•	_	•	7日前:3回	1,000倍(少量散布300倍)
22367	ダントツEXフロアブル (無人ヘリ)	430		ネオニコチノイト゛	普•A	-	_	•	_	•	7日前:3回	24倍、0.8L/10a(無人へリ散布)
20798	ダントツ水溶剤(パンクル)	272		ネオニコチノイト゛	普•A	•	_	•	_	•	7日前:3回	1,000倍、25L/10a(少量散布)
20798	ダントツ水溶剤	272		ネオニコチノイト゛	普•A	•	_	•	_	•	7日前:3回	4,000倍
17167	トレボン乳剤	424~848	☆×	合ピレ	普∙B	•	イナゴ類●	•	_	•	14日前:3回	1,000~2,000倍(イネミズゾウムシ、カメムシ2,000倍)
17167	トレボン乳剤(パンクル)	354~707	☆×	合ピレ	普∙B	•	•	•	_	•	14日前:3回	300~600倍、25L/10a (少量散布) (カメムシ600倍)
19670	トレボンスカイMC(無人ヘリ)	459	ά×	合ピレ	普∙B	_	イナゴ類●	•	_	•	14日前:3回	16倍、0.8L/10a (無人へリ散布)
16767	エビセクトトレボン粉剤DL	1,028		ネライストキシン+合ピレ	普•Bs	•	•	•	•	_	14日前:3回	3kg/10a
21470	キラップ粉剤DL	1,067~1,423	\Rightarrow	フェニルヒ [°] ラソ゛ール	普•A	•	イナゴ類●	•	_	•	14日前:2回	3∼4kg/10a
20814	スタークル粉剤DL	1,100		ネオニコチノイト゛	普•A	•	イナゴ類●	•	•	•	7日前:3回	3kg/10a
20801	ダントツ粉剤DL	836~1,115		ネオニコチノイト゛	普∙A	•	イナゴ類●	•	•	•	7日前:3回	ドロオイ・フタオビ 3kg/10a、カメムシ・ウンカ 3~4kg/10a
16754	トレボン粉剤DL	1,127~1,503	ά×	合ピレ	普∙B	•	●(成虫)	•	•	•	7日前:3回	3~4kg/10a(イナゴ類にも効果有)

|注意事項 *イネドロオイムシは、産卵最盛期に株当たり平均2卵塊以上になったら防除する。

- *イネミズゾウムシは、畦際3~4mの額縁散布を実施する。
- *ウンカ類は、登熟の後半に発生が多いので、早めに防除を実施する。
- * ダントツは、マルハナバチ、ミツバチを飼養する地域での散布は避ける。
- *スタークル液剤・粉剤DL、ダントツ水溶剤・粉剤DL、トレボン乳剤・粉剤DLはツマグロヨコバイにも登録あり
- *ニカメイガの発生圃場が散見されるので適期に適正防除をする。
- *ダントツEXフロアブルの無人へリでアカヒゲホソミドリカスミカメのみ36倍登録あり。
- ☆:ピュアライス用防除剤はR2年2品種(ななつぼし・きたくりん)とも同じ。
- ☆※:きたくりん(ピュアライス)はいもち病防除が不要なため、トレボン単剤を使用できる。

(3)殺菌•殺虫剤

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	ピュアライス R2年度 統一薬剤	系統名	毒性 • 魚毒性	いもち病	カメムシ類	ニカメイチュウ	ウンカ類	フタオビコヤガ	使用時期•回数	使用倍率
22636	ダブルカットトレボンフロアブル (パンクル)	587		抗生+トリシクラ+合ピレ	普∙B	•	•	_	•	_	穂揃期まで:2回	300倍、25L/10a(少量散布)
21745	ビームエイトトレボンゾル(パンクル)	612~918	☆	トリシクラ+合ピレ	普∙B	•	•	_	•	_	14日前:3回	120~180倍、25L/10a(少量散布)
21745	ビームエイトトレボンゾル(無人ヘリ)	705	☆	トリシクラ+合ピレ	普∙A	•	•	_	•	_	14日前:3回	5倍、0.8L/10a (無人へリ散布)
22927	ブラシンキラップフロアブル(パンクル)	633		フェリムゾン+塩素+エチプロ	普∙A	•	•	_	_	_	14日前:2回	300倍、25L/10a(少量散布)
22927	ブラシンキラップフロアブル (無人ヘリ)	758		フェリムゾン+塩素+エチプロ	普∙A	•	•	_	•	_	14日前:2回	8倍、0.8L/10a (無人へリ散布)
22490	ダブルカットトレボン粉剤DL	1,545~2,060		抗生+トリシクラ+合ピレ	普∙A	•	•	_	•	_	穂揃期まで∶2回	3∼4kg/10a
17657	ビームトレボン粉剤5DL	1,424~1,899	☆	トリシクラ+合ピレ	普·B	•	•	_	•	穂枯れ●	7日前:3回	3~4kg/10a、カメムシ類 4kg/10a
18171	ブラシントレボン粉剤DL	1,870~2,493		合ピレ+フェリ+有塩	普∙B	•	•	変色米●	•	穂枯れ●	7日前:2回	3~4kg/10a、カメムシ類 4kg/10a

注意事項

- *カメムシ類は、畦畔、水田隣接のイネ科作物の発生状況に注意し、適正な防除に努める。
- *葉いもち病は、早期発見に努め初期防除を徹底する。
- * 穂いもち病は、出穂直前、出穂期~出穂揃の散布を重点として、予防的防除に努める。
- *ブラシン等フェリムゾン製剤は、幼植物の大小豆等に薬害を生ずる恐れがあるので注意する。
- *ビームエイトトレボンゾルは、野菜類の幼苗に薬害を生じる恐れがあるので注意する。

- *ダブルカットトレボン粉剤DL、ビームトレボン粉剤5DLはツマグロヨコバイ、コブノメイガにも登録がある。
- *ブラシントレボン粉剤DLはツマグロヨコバイ、ごま葉枯病にも登録がある。
- ☆:ピュアライス用防除剤はR2年2品種(ななつぼし・きたくりん)とも同じ。

使用農薬はドリフト(飛散)しない様に注意しよう

2. 小 麦(秋小麦・春小麦)防 除 ガ イド

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	系統名	毒性 • 魚毒性	なまぐさ黒穂病	裸黒穂病	条斑病	紅色雪腐病	小粒菌核病	眼紋病	うどんこ病	赤さび病	赤かび病	アブラムシ類	リバエムギクロハモグ	適正使用基準	倍率·使用量		
20887	ベンレートTコート	-	ジチオカーバメート+MBC	普·C	•	•	•	_	_	_	_	_	_	_	_	播種前:1回(種子消毒)	種子重量の0.5%粉衣		
22579	ベフラン液剤25	-	ビスグアニジン	劇∙A	•	_	•	•	_	_	_	_	_	_	_	播種前:1回(種子消毒)	3~5ml/種子1kg (0.3~0.5%)吹付		
22579	ベフラン液剤25	-	ビスグアニジン	劇•A	_	_	_	•		_	_	_	_	_	_	播種前:1回(種子消毒)	30~50ml/種子1kg (3~5%)10倍液、塗沫		
22644	ベフランシードフロアブル	-	DMI+ビスグアニジン	劇•B	•	•	-	•	_	_	_	_	_	_	_	播種前:1回(種子消毒)	5ml/種子1kg 吹付又は塗沫処理		
_	メチレンブルーFZリキッド(非農薬)	_	メチレンフ゛ルー	_	_		_	_	(ベフ	ラン液	剤の	色付)	_	_	_	播種前:一	ベフラン等薬剤使用量の1.2~2%添加		
17725	チルト乳剤25	623	DMI	普∙B	•	_	_	•	•	_	_	_	_	_	_	根雪前:2回	750倍(紅色雪腐・小粒菌核750~1,000倍)		
20285	シルバキュアフロアブル	426 ~ 851	DMI	普∙B	_	_	_	_	•	_	_	_	_	_	_	根雪前:1回	1,000~2,000倍(無人へリ16倍・0.8L/10a)		
22631	フロンサイドSC	1,096	ピリシ゛ナミン	普·C	_	_	_	•	•	雪腐	š 大粒	菌核纲	寿●	_	_	根雪前:2回	1,000倍(小粒菌核1,000~2,000倍)		
22266	モンカットベフランフロアブル	869	SDHI+ビスグアニジン	劇•B		_	ı	•	•	雪腐	 大粒	菌核纲	(表●	_	_	根雪前:2回	500倍 (無人ヘリ 4倍・0.8L/10a)		
20624	ランマンフロアブル	821	QiI	普•A	补	曷色雪	腐病		_	_		_	_	_		根雪前:3回	1,000倍(無人ヘリ 8倍・0.8L/10a)		
22188	ユニックス顆粒水和剤47	686 ~ 1,373	AP	普∙B		_	-	_	_	•	•	_	_	_	_	45日前:2回	500~700倍 (うどんこ700~1,000倍)		
21468	カンタスドライフロアブル	851	SDHI	普•A	_	_	ı	ı	_	•	ı	1	-	_	-	45日前:2回	1,500倍		
20574	アミスター20フロアブル	511 ~ 765	QoI	普∙B	_	_	l	ı	_	_	•	•		-	_	7日前:3回	2,000~3,000倍		
24182	イントレックスフロアブル	589	SDHI	普•一	_	_	1		_	1			_	_	_	7日前:3回	2,000倍		
20285	シルバキュアフロアブル	426	DMI	普•B	_	_	_	_	_	1	•	•	•	_	_	7日前:2回	2,000倍(無人ヘリ 16倍・0.8L/10a)		
23500	リベロ水和剤	439	DMI	普∙B	_	_	_	_	_	-	•	•	•	_	_	7日前:3回	2,000倍		
11574	トップジンM水和剤	322~483	MBC	普•A	_	_	_	_	_	•	•	_	•	_	_	14日前:3回 (出穂後2回)	1,000~1,500倍 (うどんこ2,000倍)		
22579	ベフラン液剤25	315~631	ビスグアニジン	劇•A	_	_	_	_	_	1	•	_	•	_	_	14日前:3回 (出穂後1回)	1,000~2,000倍 (うどんこ1,000倍)		
21860	ベフトップジンフロアブル	640 ~ 800	ビスグアニジン+MBC	劇•A	_	_	_	•	_	-	•	_	•	-	_	14日前:3回 (出穂後1回)	800~1,000倍(紅色雪腐 750~1,000倍)		
17725	チルト乳剤25	234~467	DMI	普∙B	(無人	リの散	布登録-	もあり)	_	•	•	•	•	_	_	3日前:3回	1,000~2,000倍 (赤さび1,000~3,000倍・うどんこ2,000~3,000倍)		
21812	ウララDF	224	ピリシ゛ンカルホ゛キサミト゛	普•A	_		_	_	_	_	_	_	_	•	_	7日前:2回	4,000倍		
5623	エルサン乳剤	316	有機リン	劇•Bs	_	_	_	_	_	1	_	_	_	•	•	7日前:4回	1,000倍 (アワヨトウ・ムキ゛キモク゛リハ゛ェ可)		
20406	ゲットアウトWDG	189~253	合ピレ	劇•C	_	_	ı	ı	_	_	-	ı	_	•	_	21日前:3回	3,000~4,000倍		
23643	ペイオフME液剤	259	合ピレ	劇•C	_		1	-		_	_	_	_	•	_	7日前:2回	2,000倍		
20641	モスピランSL液剤	307	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	-	-	_	_	_	-	_	•	_	7日前:2回			
注意事	項												•			* うどんこ病「4月下旬	頃」・・・ユニックス顆粒水和剤47		

- *種子吹付:ベフラン液剤25やベフランシードフロアブルにはメチレンブルーを加用する。
- *雪腐病防除では、薬剤散布後30mm以上の降雨があった場合や、根雪までの期間が長すぎた場合には再散布も考慮する。
- *雪腐病防除において、フロンサイドSCは残効が長く早期散布が可能であり、総降雨量150mmまでは再散布の必要がない。
- *眼紋病防除では、水量を120L以上とし、地際部まで薬剤がかかるよう散布。
- *チルト乳剤25は、野菜類(特にあぶらな科、なす科、うり科、レタス、玉葱)、豆類、果樹類にかかると生育抑制や、縮葉などの薬害が生じる可能性があるので十分注意する。
- *チルト乳剤25などDMI剤は耐性菌が出現する可能性があるので、総使用回数に注意する。
- * 赤かび病防除では、発生状況により薬剤変更の場合もある。
- *ベフラン液剤25は、大粒菌核病:根雪前1,000倍の登録あり。

*うどんこ病「4月下旬頃」・・・ユニックス顆粒水和剤47
* 赤さび病「5月中旬頃~」・・・発生を確認したら防除!

塗りつぶしは、新規掲載赤 か び 病 防 除 基 準 (南 幌)1回目: シルバキュアフロアブル または リベロ水和剤2回日: トップジン (Mak 知刻)

2回目: トップジンM水和剤
3回目: ベフラン液剤25
4回目: チルト乳剤25

健全種子を使用して連作を避けよう

3. 大 豆 防 除 ガ イド

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

·			**************************************														
農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	系統名	毒性 • 魚毒性	べと病	茎疫病	菌核病	灰色かび病	紫 斑 病	タネバエ	アブラムシ類	ツメクサガ	マメシンクイガ	カメムシ類	ハダニ類	適正使用基準	倍率·使用量
20604	キヒゲンR-2フロアブル	_	シ゛チオカーハ゛メート	普·C	_	苗	立枯病			•	_	_	<u>ر</u>	・カラス	•	播種前:1回(原液種子塗沫)	20ml/種子1kg *チウラム80とは併用しない
22687	チウラム80	_	ジチオカーバメート	普·C	_		枯病		_	_	_	_	_	_		播種前:1回(種子粉衣)	2~5g/種子1kg *キヒゲンとは併用しない
20624	ランマンフロアブル	_	QiI	普•A	_	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	┫ ┃播種前∶1回 (原液種子塗沫)	種子重量の1~2%
21409	クルーザーFS30	_	ネオニコチノイト゛	普•A	_	_	_	_	_	•	•	ネキリ・ノ	ハムシ●	_	_	- 播種時∶1回 (原液種子塗沫)	6ml/種子1kg(処理乾燥後にチウラムまたはキヒゲン)
22917	クルーザーMAXX	_	ネオニコチノイト +PP+PA	普∙B	苗立	枯·茎疫	·根腐各	病●	•	•	•	ネキリ・ノ	ハムシー	_	小等	- 播種前∶1回 (原液種子塗沫)	8ml/種子1kg (チウラム80との併用は不要)
22634	ダイアジノン粒剤5	2,104~3,156	有機リン	普•Bs	—	l – I		_		•	—	<u> </u>	_		_	30日前:5回 播溝施用	4∼6kg/10a
20574	アミスター20フロアブル	511 ~ 765	QoI	普·B	•	腐	敗粒	•	•	_	_	_	_	_	_	7日前:2回	2,000倍(紫斑病 2,000~3,000倍)
23919	オルフィンフロアブル	1,021	SDHI	普•A	_	_	•	•	_	_	_	_	_	_	_	7日前:3回	2,000倍
22582	グリーンペンコゼブ水和剤	281	ジチオカーバメート	普·B		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	45日前:3回	400倍
22345	ジマンダイセン水和剤	314~470	ジチオカーバメート	普·B	•	_	_	_	•	_	_	_	_	_	_	45日前:3回	400倍(紫斑病 400~600倍)
14498	スミレックス水和剤	620~1,241	シ゛カルホ゛キシイミト゛	普•A	_	_	•	_	_	_	_	_	_	_	_	21日前:4回	1,000~2,000倍
11574	トップジンM水和剤	322~690	мвс	普•A	_	_	•	_	•	_	_	_	_	-	_	14日前:4回	700~1,000倍(紫斑病1,000~1,500倍)
23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	509 ~ 1,018	QoI	普·B	_	_	•	_	•	_	_	_	_	-	_	7日前:3回	2,000倍(紫斑病 2,000~4,000倍)
19510	フェスティバルC水和剤	779	CAA+無機銅	普·B		•	斑点	細菌	病●	_	_	_	_	_	_	7日前:3回	600倍
21954	プロポーズ顆粒水和剤	576	CAA+クロロニトリル	普·C	•	•	-	_	•	_	_	_	_	_	_	21日前:2回	1,000倍
22397	ベトファイター顆粒水和剤	511 ~ 766	CAA+シアノアセトアミト・オキシム	普•A		•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	7日前:2回	2,000倍(べと病 2,000~3,000倍)
20624	ランマンフロアブル	411~821	QiI	普•A	•	•	_		_	_	_	_	_	_	_	7日前:3回	1,000~2,000倍
22772	リドミルゴールドMZ	1,008	ジチオカーバメート+PA	普•B		•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	45日前:3回	500倍
22379	レーバスフロアブル	281~562	CAA	普•A	•	•	_	-	_	_	_	_	_	_	_	7日前:3回	1,500~2,000倍(べと病 1,500~3,000倍)
14212	ロブラール水和剤	1,155	シ゛カルホ゛キシイミト゛	普•A	_	_	•	•		_	_	_	_	_	_	21日前:3回	1,000倍
5623	エルサン乳剤	316	有機リン	劇•Bs	_	_	_	_	_	_	•	•	•	•	_	7日前:2回	1,000倍(アブラムシ 1,000~2,000倍)
21812	ウララDF	224~447	ピリシ゛ンカルホ゛キサミト゛	普•A	_	_	_	1	_	_	•	_	-	-	_	7日前:2回	2,000~4,000倍
20406	ゲットアウトWDG	253	合t [°] レ	劇·C		_	_	_	_	_	•		•	_	_	7日前:3回	3,000倍
18406	コロマイト乳剤	629	マクロライト゛	普·C		_	_	_	_	_	_	_	_	_	•	7日前:2回	1,500倍
13426	トクチオン乳剤	660	有機リン	普∙B		_	_	_	_	_	•	•	•	•	•	30日前:3回	1,000倍(マメシンクイカ・ハタ゛ニ 1,000~1,500倍)
17167	トレボン乳剤	848	合ピレ	普∙B	_	_	_	_	_	_	•	•	•		_	14日前:2回	1,000倍
17106	バイスロイド乳剤	243~485	合ピレ	劇·C	_	_	_]	_	_]	_	•	_		•	_	7日前:3回	1,000~2,000倍(アブラムシ 2,000倍)
22465	プレバソンフロアブル5	369	ジアミト゛	普∙B		_	_	_	_	_	_	_	•	_		7日前:2回	4,000倍
20641	モスピランSL液剤	307~615	ネオニコチノイト゛	劇•A	–	_	_	_	_	_		_			_	14日前:3回	2,000~4,000倍 (アブラムシ 4,000倍)

注意事項

- *わい化病は、生育初期のアブラムシ(ジャガイモヒゲナガアブラムシ)の防除が重要。
- *マメシンクイガは、開花始期から10~14日後に1回目の防除を実施し、2回目の防除は1回目防除の10日後に実施する。
- *スミレックス水和剤は、あぶらな科作物に薬害を生じる恐れがあるので飛散に注意する。

散布前にラベルの内容を確認しよう

4. 小豆防除ガイド

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

			TIGONG/OIGONZ展集牛皮	1	1										_	1	<u> </u>
農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	系統名	毒性 • 魚毒性	褐斑細菌病	茎 病	炭 疽 病	さ び 病	献 核 病	灰色かび病	タネバエ	アブラムシ類	アズキノメイガ	ツメクサガ	ハダニ類	適正使用基準	倍率∙使用量
22687	チウラム80	_	ジチオカーバメート	普·C	立枯病●	_	_	_	_	_	_	_	_	_	T -	播種前:1回(種子粉衣)	2~5g/種子1kg *キヒゲンとは併用しない
20604	キヒゲンR-2フロアブル	_	ジチオカーバメート	普·C	苗立枯病	·褐斑病●	•	_	_	_	•	_	_	ハト・オ	カラス●	描種前∶1回 (原液種子塗沫)	20ml/種子1kg *チウラム80とは併用しない
21409	クルーザーFS30	_	ネオニコチノイト゛	普•A	_	_	_	-	_	_	•	•	-	_	-	播種前:1回(種子塗沫)	6ml/種子1kg(処理乾燥後にキヒゲン)
22917	クルーザーMAXX	_	ネオニコチノイト*+PP+PA	普∙B	_	•	_	_	_	_	•	•	_	_	_	播種前:1回(原液種子塗沫)	8ml/種子1kg(チウラム80との併用は不要)
22634	ダイアジノン粒剤5	2,104	有機リン	普•Bs		_	_		_	_	•	T –	_	_		播種時:1回(播溝施用)	4kg/10a
20574	アミスター20フロアブル	765	QoI	普•B	_	_	•	•	_	_	_	_	_	_	_	7日前:3回	2,000倍
23919	オルフィンフロアブル	1,021	SDHI	普•A	_	_	_	_	•	•	_	_	_	_		7日前:3回	2,000倍
14625	カスミンボルドー	407	抗生物質+無機銅	普•B	•	_	茎腐細	菌病●	_	_	-	_	-	_	-	30日前:3回	1,000倍
15744	カッパーシン水和剤	407	抗生物質+無機銅	普•B	•	_	茎腐細	菌病●	_	_	_	_	_	_	T -	30日前:3回	1,000倍
21468	カンタスドライフロアブル	851~1,276	SDHI	普•A	_	_	_	•	•	•	_	_	_	_	_	7日前:3回	1,000~1,500倍 (さび病 1,500倍)
17697	ゲッター水和剤	1,002~1,503	MBC+フェニルカーバメート	普•A	輪紋病●	_	•	_	•	•	_	_	_	_	T -	14日前:4回	1,000~1,500倍 (菌核病 1,000倍)
22345	ジマンダイセン水和剤	314~470	シ゛チオカーハ゛メート	普•B	_	•	_	•	_	_	_	_	_	_	_	30日前:3回	400倍 (茎疫病 400~600倍)
14498	スミレックス水和剤	620~1,241	シ゛カルホ゛キシイミト゛	普•A	_	_	_	_	•	•	_	_	_	_	_	21日前:2回	1,000倍(菌核病 1,000~2,000倍)
23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	1,018	QoI	普•B	_	_	•	•	•	•	-	_	-	_	-	7日前:3回	2,000倍
19510	フェスティバルC水和剤	779	CAA+無機銅	普∙B	•	•	茎腐細	菌病●	_	_	_	_	_	_		7日前:3回	600倍
22631	フロンサイドSC	548 ~ 1,096	ピリジナミン	普·C	_	_	•	-	•	•	-	_	-	_	-	21日前:3回	1,000~2,000倍(菌核病 1,000倍)
20624	ランマンフロアブル	821	QiI	普•A	_	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	7日前:3回	1,000倍
22772	リドミルゴールドMZ	1,008	ジチオカーバメート+PA	普∙B	_	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	30日前:3回	500倍
22379	レーバスフロアブル	421 ~ 562	CAA	普•A	_	•	_	-	_	_	-	_	-	_	-	7日前:3回	1,500~2,000倍
5623	エルサン乳剤	158~316	有機リン	劇•Bs		_	_		_	_	_	•	•	_		7日前:2回	1,000倍(アブラムシ1,000~2,000倍)
20406	ゲットアウトWDG	253	合ピレ	劇•C	_	_	_	_	_	_	_	•	•	_	_	7日前:3回	3,000倍
18406	コロマイト乳剤	471~943	マクロライト゛	普·C	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	•	14日前:2回	1,000~2,000倍
4962	スミチオン乳剤	136~272	有機リン	普·B	_	_	_	_	_	_	_	•	•	マメシン	クイカ・●	21日前:4回(少量散布あり)	1,000倍(アブラムシ1,000~2,000倍)
17801	ダニトロンフロアブル	468~936	METI	普·C	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	•		1,000~2,000倍
13426	トクチオン乳剤	660	有機リン	普·B	_	_	_	_	_	_	_	_	•	•	•	30日前∶2回	1,000倍
16754	トレボン粉剤DL	1,503	合ピレ	普·B	_	_	_	_	_	_	_	•	•	マメシン	クイカ゛●		4kg/10a
17167	トレボン乳剤	848	合ピレ	普·B	_	_	_	_	_	_	_	•	•	マメシン	クイカ・●		1,000倍
17106	バイスロイド乳剤	243	合ピレ	劇·C	_	_	_	_	_	_	_	•	•	_	-	7日前:3回	2,000倍
18345	ピラニカEW	493~986	METI	劇·C	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	•		1,000~2,000倍
20641	モスピランSL液剤	307~615	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	_	_	_	•	•	_	-	14日前:3回	2,000倍(アブラムシ2,000~4,000倍)

- 注 意 事 項 *スミレックス水和剤は、あぶらな科作物に薬害を生じる恐れがあるので飛散に注意する。
 - *ダイアジノン粒剤5は、コガネムシ類幼虫で登録あり。
 - *ダニ剤は特に発生初期の防除を厳守する。

- *スミチオン乳剤は、少量散布の登録がある。
- * さび病は連作で多発傾向となる。
- *ジマンダイセン水和剤は、茎疫病で6/下~8/中、さび病で7/上~8/中とする。

散布器具はきれいに洗浄しましょう

5. そば防除ガイド

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	系統名	毒性 • 魚毒性	立枯病	ハスモンヨトウ	_	_	_	-	_	Ι	_	_	適正使用基準	倍率∙使用量
16886	リゾレックス粉剤	9,696	芳香族炭化水素	普:A	•	_									播種前:1回 (全面土壌混和)	20kg/10a
18999	ロムダンフロアブル	361	IGR	普:A	1	•									21日前:2回	2,000倍
19616	ゼンターリ顆粒水和剤	470	BT(アイサ [・] ワイ系)	普:A	_	•									前 日:一(発生初期)	2,000倍

6. てんさい防除ガイド

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	系統名	毒性 • 魚毒性	苗立枯病	根腐病	葉腐病	褐 斑 病	アブラムシ	ムシサイトビハ	ヨトウガ	カメノコハムシ	ハナバエモグリ	リバエ ロハモグ	適正使用基準	倍率∙使用量
22600	リゾレックスH粉剤	-	AH+芳香族ヘテロ環	普•A	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	播種前:1回(播種前50~100g/7L/6冊突起板覆出	上混和、100~150g/20L/6冊覆土混和)
10332	タチガレン液剤	-	芳香族ヘテロ環	普·A	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	播種時~生育初期・収穫120日前∶3回	500~1,000倍 (3L/㎡灌注)
17386	バリダシン液剤5	-	抗生物質	普•A	•	1	_	_	_	_	_	_	_	_	育苗中期:1回	400倍 (3~6L/㎡灌注)
20672	アクタラ顆粒水溶剤	-	ネオニコチノイト゛	普·A	_	_	_	_	•	•	_	•	•	_	定植前:1回(苗床灌注)	50~200倍 (1L/1冊,又は3L/㎡灌注)
20813	スタークル顆粒水溶剤	-	ネオニコチノイト゛	普·A	_	1	_	_	•	•	_	•	•	_	移植前:1回	100~200倍 (5L/6冊灌注)
20798	ダントツ水溶剤	_	ネオニコチノイト゛	普·A	_	_	_	_	•	•	_	•	•	_	定植前:1回(苗床灌注)	100~200倍 (1L/冊灌注·3L/㎡)
20574	アミスター20フロアブル	765 ~ 2,041	QoI	普•B	_	•	_	_	_	_	_	_	_	_	14日前:3回	1,500~4,000倍(水量200L/10a)
14625	カスミンボルドー	407~508	抗生物質+無機銅	普•B	_	I	_	•	_	斑点症	病·斑点細	菌病●	_	_	7日前:5回(少量散布 200倍)	800倍(褐斑病 800~1,000倍)
15744	カッパーシン水和剤	407~508	抗生物質+無機銅	普•B	-		_	•	_	斑点症	病·斑点細	∄病●	_	_	7日前:5回(少量散布 200倍)	800倍(褐斑病 800~1,000倍)
23836	グットクル水和剤	606	DMI+ジチオカーバメート	普•B	_	_	•	•	_	_	_	_	_	_	21日前:2回	500倍
22582	グリーンペンコゼブ水和剤	187~281	ジチオカーバメート	普•B	_	_	_	•	_	_	_	_	_	_	21日前:5回(少量散布 125倍)	400~600倍
20285	シルバキュアフロアブル	284~426	DMI	普•B	_	_	•	•	_	_	_	_	_	_	14日前:2回	2,000~3,000倍(葉腐病 2,000倍)
22400	デビュー乳剤	398~497	DMI	普•B	_	_	•	•	_	_	_	_	_	_	14日前:4回(少量散布 200倍)	800~1,000倍
23935	どさんこスター水和剤	606	DMI+ジチオカーバメート	普•B	_	_	•	•	_	_	_	_	_	_	21日前:4回(少量散布 125倍)	500倍
18319	プランダム乳剤25	525 ~ 785	DMI	普•B	_	_	_	•	_	斑点病●	_	_	_	_	7日前:3回(少量散布 750倍)	2,000~3,000倍(斑点病 3,000倍)
22926	ホクガード乳剤	438~657	DMI	普•B	_	_	_	•	_	斑点病●	_	_	_	_	14日前:2回(少量散布 450倍)	1,000~1,500倍(斑点病 1,500倍)
22581	モンセレン顆粒水和剤	1,188	フェニルウレア	普•B	_	•	•	_	_	_	_	_	_	_	30日前:4回	1,000倍 (水量200L/10a)
21876	リンバー顆粒水和剤	1,180	SDHI	普•B	_	•	•	_	_	_	_	_	_	_	7日前:3回	4,000倍(水量200L/10a)
19992	オルトラン水和剤	302~453	有機リン	普·A	_	_	_	_	_	•	•	_	•	_	45日前:3回(少量散布 300倍)	1,000~1,500倍 (ハムシ 1,000倍)
21303	カウンター乳剤	313~469	IGR	普•B	_	_	シロオピノ	メイカ・●	_	_	•	•	_	•	7日前:2回(少量散布 750倍)	2,000~3,000倍(カメ・アシグロ・シロオビ3,000倍)
18500	カスケード乳剤	345~691	IGR	普•B	_	_	シロオピノ	メイカ・●	_	_	•	•	•	•	7日前:4回(ヨトウ、少量散布 1,000倍)	4,000倍 (計ウ 2,000~4,000倍)
20406	ゲットアウトWDG	253~378	合t [°] レ	劇•C	_	_	_	_	_	•	•	•	_	_	14日前:4回(ヨトウ、少量散布 750倍)	2,000~3,000倍
11584	ダーズバン乳剤40	346	有機リン	劇•C	_		_	_	•	_	•	•	_	_	45日前:2回	1,500倍
20798	ダントツ水溶剤	272~544	ネオニコチノイト゛	普·A	_	_	_	_	•	_	_	•	•	_	14日前:3回	2,000~4,000倍
17106	バイスロイド乳剤	162~243	合ピレ	劇•C	_	_	_	_	_	_	•	•	_	_	14日前:4回(少量散布 500倍)	2,000~3,000倍(カメノコ 2,000倍)
24137	ビレスコ顆粒水和剤	303~606	スルホキシイミン	普•-	_		_	_	•	_	_	_	_	_	7日前:3回	5,000~10,000倍
23643	ペイオフME液剤	259~518	合ピレ	劇•C	_		_	_	_	_	•	•	_	_	14日前:4回(少量散布 500倍)	1,000~2,000倍(カメノコ 2,000倍)
22630	ベジホン乳剤	347~694	有機リン+合ピレ	劇•C	_	_	_	_	_	- 1	•	•	_	_	21日前:4回(少量散布 400倍)	1,000~2,000倍(カメノコ 1,000倍)
20016	マッチ乳剤	341	IGR	普·A	_	_	シロオヒ゛ノ	メイカ・●	_	_	•	•	_	•	14日前:2回(少量散布 750倍)	3,000倍
20641	モスピランSL液剤	307	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	•	•	•	•	_	_	3日前:3回	4,000倍
21431	リーズン顆粒水和剤	499	ネオニコチノイト +IGR	普·A	_	_	_	_	•	-	•	_	-	_	14日前:2回	3,000倍

注 意 事 項

- * 斑点細菌病は主に育苗期に発生。
- *連作は避ける。茎葉処理は完全に行う。
- *根腐病は200L/10aの水量で、株元散布とする。

- *スタークル顆粒水溶剤でのカメノコハムシ茎葉散布防除は、1,000~2,000倍(7日前:2回)も可。
- *アシグロハモグリバエに効果的な薬剤はIGR剤に限られる。
- *各剤の少量散布は、10a当り25Lの水量に対する倍率に留意。
- * 褐斑病に対する防除薬剤のDMI剤・カスガマイシン剤は耐性菌が確認されたため使用回数を可能な限り低減する。
- * 近年発生が見られる「黄化病」は、ウイルス病でモモアカアブラムシにより媒介されるため、定植時(スタークル顆粒水溶剤)と本畑(モスピランSL液剤)での体系防除が有効である。

風の強い日の農薬散布は止めましょう

7. 野菜類防除ガイド

(1)キャベツ

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

注意事項:イエスクリーン(YES!clean)栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

作物名	農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	イエス クリーン R2年度 申請 薬剤	系 統 名	毒性・魚毒性	べと病	根こぶ病	軟腐病	黒腐病	コナガ	アオムシ	アブラムシ類	ヨトウムシ	アザミウマ類	適正使用基準	使 用 倍 率
	_	イプ゜ロシ゛オン、メプ゜ロニル、チウラム、メタラキシル	-	☆	種子消毒											種苗会社が実施	
	22632	フロンサイド粉剤	8,850~11,800	☆	ピリシブナミン	普·C	_	•	苗立枯病	(40kg/10a)	菌核病●	(40kg/10a)	_	_	_	播種~定植前:2回(苗床1回、本圃1回)	30~40kg/10a(全面土壌混和)
	22631	フロンサイドSC	5,478	☆	ピリジナミン	普·C	_	•	苗立枯病(リ	ゾクトニア菌)●	菌核	病●	_	_	_	播種~定植前:2回(苗床1回、本圃1回)	500ml/10a (全面土壌混和)
	22799	オラクル顆粒水和剤	26~65円/枚	☆	QiI	普·C	_	•	_	_	-	_	_	_	_	定植前:1回	200~500倍 (0.5L/トレイ灌注)
	13243	オリゼメート粒剤	5,016~7,524	☆	ヘ゛ンソ゛イソチアソ゛ール	普•B	_	_	_	•	1	_	_	_	_	定植時:1回	6~9kg/10a (全面土壌混和または作条土壌混和)
	20624	ランマンフロアブル	33円/枚	☆	QiI	普•A	_	•	_	_	1	_	_	_	_	定植前日~当日:1回	500倍 (2L/トレイ灌注)
	22555	ジュリボフロアブル	86円/枚	☆	ジアミド+ネオニコチノイト゛	普·B	ハスモン	ヨトウ●	メイプ	հ `●	•	•	•	•	ネキ゛アサ゛ミウマ●	育苗期後半~定植当日:1回	200倍 (0.5L/トレイ灌注)
	20813	スタークル顆粒水溶剤	37~73円/枚	☆	ネオニコチノイト゛	普•A	_	_	_	_	•	•	•	メイ	ກ` ●	定植前日~定植時:1回	50~100倍(0.5L/トレイ灌注)
	22485	ネキリエースK	1,551	☆	有機リン	普∙B	_	_	_	_	ネキリム	シ類●	_	_	_	定植時:1回	3kg/10a(土表面株元散布)
	22465	プレバソンフロアブル5	74円/枚	☆	ジアミト	普∙B	メイカ゛・カフ	゛ ラハハ゛チ・ネ	キリムシ・ハス	はモンヨトウ●	•	•	_	•	_	育苗期後半~定植当日:1回	100倍 (0.5L/トレイ灌注)
	23556	ベリマークSC	84円/枚	☆	ジアミト	普∙B	ウワバ類	・メイカ゛・ネキ	Fリムシ・ハスモ	Eン∃トウ●	•	•	•	•	•	育苗期後半~定植当日:1回	400倍 (0.5L/トレイ灌注)
+	21111	Zボルドー	449	☆	無機銅	普∙B	•		•	•	斑点絲	細菌病・褐	斑細菌病	-黒班細	菌病●	- : -	500倍(野菜類)
	3316	アグリマイシン100	328	☆	抗生物質+抗生物質	普•A	黒斑細	菌病●	_	•		_		_	_	14日前:2回	2,000倍
ヤ	13823	アグレプト液剤	246	☆	抗生物質	普•A	_	_	_	•	_	_	_	_	_	14日前:2回	2,000倍
	14625	カスミンボルドー	407	☆	抗生物質+無機銅	普•B	黒斑細	菌病●	•	•	_	_	_	_	_	7日前:4回	1,000倍
ベ	15744	カッパーシン水和剤	407	☆	抗生物質+無機銅	普•B	黒斑細	菌病●	•	•	_	_	_	_	_	7日前:4回	1,000倍
	24001	クプロシールド	123~247	☆	無機銅	普∙B	•	_	●(1000~1500倍)	●(1000倍)	_	_	_	_	_	- : -	1,000~2,000倍(野菜類)
ッ	23701	スクレアフロアブル	790	☆	QoI	普•B	_	菌核	病●	_	_	_	_	_	_	前 日:3回	2,000倍
	17203	スターナ水和剤	928	☆	カルホ゛ン酸	普•A	黒斑細	菌病●	•	_	-	_	_	_	_	7日前:3回	1,000倍
	16823	ダコニール1000	328	☆	クロロニトリル	普·C	•	根朽病●	_	_	_	_	_	_	_	14日前:2回	1,000倍
8	19679	バイオキーパー水和剤	707~2,826	☆	微生物農薬	普•一	_	_	•	_	-	_	_	_	_	発病前~発病初期:-	500~2,000倍(野菜類)
Р	17386	バリダシン液剤5	413	☆	抗生物質	普•A	_	_	•	•	株腐	病●	_	_	_	7日前:5回	800倍
続	24071	パレード20フロアブル	570 ~ 1,141	☆	SDHI	普∙一	_	菌核	核病●		株腐	病●	_	_	_	前 日:3回	2,000~4,000倍
<	19510	フェスティバルC水和剤	467	☆	CAA+無機銅	普•B	•	_	_	•	-	_	_	_	_	前 日:3回	1,000倍
\smile	22771	フォリオゴールド	614~767	☆	PA+クロロニトリル	普·C	•	ピシウム豚	腐敗病●	_	1	_	_	_	_	14日前:2回	800~1,000倍(腐敗病1,000倍)
	21546	ベジキーパー水和剤	1,380	☆	微生物農薬	普∙一	_	_	_	•	1	_	_	_	_	発病前~発病初期: 一	1,000倍
	16255	ヨネポン水和剤	660	☆	有機銅	普·B	•	_	•	•	1	_	•	_	_	7日前:5回	500倍
	20624	ランマンフロアブル	411	☆	QiI	普•A	•	_	_		1	_	_	_	_	3日前∶4回	2,000倍
	22772	リドミルゴールドMZ	504	☆	ジチオカーバメート+PA	普•B	•	_	_	_	1	_	_	_	_	30日前:3回	1,000倍
	22379	レーバスフロアブル	421	☆	CAA	普•A	•	_	_	_	1	_	_	_	_	7日前:3回	2,000倍
	14212	ロブラール水和剤	1,155	☆	イプ゜ロシ゛オン	普•A	_	菌核	病●	_	株腐	病●	_	_		7日前:4回	1,000倍
	22565	アクセルキングフロアブル	1,141	☆	METI+セミカルハ゛ソ゛ン	劇·C	ハスモンヨトウ・	オオタハ゛コカ゛●	ウワバ類	- メイカ゛●	•	•	•	•	ネキ゛アサ゛ミウマ●	14日前:2回	1,000倍
	15957	アディオン乳剤	892	☆	合ピレ	普∙C	_	_	ウワハ	゛類●	•	•	•	•	_	3日前:5回	2,000倍
	19842	アファーム乳剤	1,191~2,381	☆	マクロライト゛	普∙C	ハスモン	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	ウワバ類	- メイカ ˙ ●	•	•	_	•	_	前 日:3回	1,000~2,000倍
	21812	ウララDF	299~447	☆	ピリジンカルホ゛キサミト゛	普•A	_	_	_	_	_	_	•	_	_	前 日:2回	2,000~3,000倍
	19885	エスマルクDF	430~859	☆	BT(クルスターキー系)	普•A	_	オオタハ゛コカ゛・	ハイマダ゙ラノメイカ゛	●(1000倍)	•	•	_	●(1000倍)	_	発生初期~前日:一	1,000~2,000倍 (野菜類)

作 物 名	農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	イエス クリーン R2年度 申請 薬剤	系 統 名	毒性·魚毒性	べと病	根 こ ぶ 病	軟腐病	黒腐病	コナガ	アオムシ	アブラムシ類	ヨトウムシ	アザミウマ類	適正使用基準	使用倍率
	5623	エルサン乳剤	158~316	☆	有機ル	劇•Bs	ハスモンヨ	トウ・ハムシ・ハ	ハバチ幼虫・	メイカ゛●	•	•	•	•	•	14日前:2回 1,000~2,000倍(コナカ・1,000	つ~1,500倍、ヨトウ・アサ・ミウマ・ハハ・チ幼虫1,000倍)
	19992	オルトラン水和剤	227~453	☆	有機リン	普∙A	_	ウワハ	・ハスモンヨト	゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙	•	•	•	•	•	30日前:1回 1,000~2,000倍(アサミ	ミウマ1,000倍、ウワバ・ヨトウ1,000~1,500倍)
	21303	カウンタ一乳剤	313~469	☆	IGR	普•B	_	_	ハスモン	∃トウ●	•	•	_	•	_	7日前:3回	2,000~3,000倍
		カスケード乳剤	518~1,036	☆	IGR	普•B	タマナキ゛ンウワハ゛	・ハスモンヨトウ・ハ	ハイマダラノメイカ・	オオタバコカ゛●	•	•	_	•	•	7日前:2回	2,000~4,000倍
	24185	グレーシア乳剤	788 ~ 1,179	☆	イソオキサソ゛リン	普•一	ウワハ゛類・ハス	(モンヨトウ・オオ	タバコカ・ハイマ	ダラノメイガ●	•	•	_	•	•	7日前:2回	2,000~3,000倍
	19186	コテツフロアブル	1,133	☆	ピロール	劇·C	シロイチモジヨ	トウ・ハスモン	ヨトウ・ハイマダ	゙ラノメイカ゛●	•	•	_	•	_	前 日:2回	2,000倍
	22798	コルト顆粒水和剤	331~443	☆	ピリシ゛ンアソ゛メチン	普•B	_	_	_	_	_	_	•	_	ネキ [*] アサ [*] ミウマ●	前 日:3回	3,000~4,000倍(アザミウマ3,000倍)
	20179	スピノエース顆粒水和剤	1,138~2,277	☆	スピノシン	普•B	タマナキ゛ン	ウワバ・	ハイマダラ	ノメイカ゛●	•	•		•	•	3日前∶3回	2,500~5,000倍(アザミ・メイガ5,000倍)
	19616	ゼンターリ顆粒水和剤	470~940	☆	BT(アイザワイ系)	普•A	オオタハ゛コカ゛・シ	レロイチモシ゛ヨトウ	・ハスモンヨトウ	(1,000倍)	•	•	_	•	_	発生初期~前日: 一	1,000~2,000倍 (野菜類)
	8178	ダイアジノン乳剤40	360	☆	有機リン	劇•Bs	_	_	キスジノミ		•	•	•	_	_	30日前:2回	1,000倍(キスシブミハムシ1,200倍)
	20479	チューンアップ顆粒水和剤	511 ~ 764	☆	BT(クルスターキー系)	普•A	オオタ	タハ゛コカ゛・ハイ	イマダラノメイカ	ı • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•	•	_	●(2,000倍)	_	発生初期~前日:一	2,000~3,000倍 (野菜類)
	22910	ディアナSC	572~1,144	☆	スピノシン	普∙B	ハイマダラノメイ	ガ・ウワバ類・	ハスモンヨトウ・オ	オタハ゛コカ゛●	•	•	_	•	•	前 日∶2回	2,500~5,000倍
+	20056	トアローフロアブルCT	465~931	☆	BT(クルスターキー系)	普·A	_	_	_	_	•	•	オオタバコカ	*● (500~	1,000倍)	発生初期~前日:一	1,000~2,000倍 (野菜類)
,	13426	トクチオン乳剤	660	☆	有機リン	普·B	Ţ	ヷ゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙	スモンヨトウ●)	•	•	•	•	_	21日前:2回	1,000倍
ヤ	22766	トルネードエースDF	938~1,876	☆	オキサシアシン	普·B	タマナキ゛ンウ「	フハ゛・ハスモン:	ヨトウ・ハイマタ゛	゚ラノメイカ゛●	•	•	_	•	_	7日前∶2回	2,000倍(コナカ・アオムシ1,000~2,000倍)
,	17734	ノーモルト乳剤	587	☆	IGR	普·B	タマナ	トギンウワバ	・ハスモンヨトウ	•	•	•	1	•	_	7日前:2回	2,000倍
ベ	18950	パダンSG水溶剤	440	☆	ネライストキシン	劇•Bs	ハイ	マダラノメイカ	゛・ナメクシ゛類	•	•	•	•	_	_	14日前:4回	1,500倍
	20818	ハチハチ乳剤	546~1,092	☆	METI	劇·C	_	I	ハイマダラ	ノメイカ゛●	•	•	•	-	•	14日前:2回	1,000~2,000倍(アザミ1,000倍)
ッ	24070	ファインセーブフロアブル	682~1,365	☆	Qi阻害	劇• —	_	I	_	_	•	•	1	_	•	3日前∶2回	1,000~2,000倍(アオムシ1,000倍)
	22126	ファルコンエースフロアブル	986	☆	IGR+スピノシン	普·B	タマナキ゛ンウワ	フハ゛・ハスモン:	ヨトウ・ハイマダ	゙ラノメイカ゛●	•	•	1	•	_	7日前:2回	2,000倍
	21917	フェニックス顆粒水和剤	539~1,077	☆	ジアミト゛	普·B	オオタハ゛コカ゛・・	ウワバ類・ハス	モンヨトウ・ハイマ	ダラノメイガ●	•	•	1	•	_	前 日:3回	2,000~4,000倍
	21719	プリンスフロアブル	1,076	☆	フェニルヒ゜ラソ゛ール	劇·C	タマナキ゛ンウ「	フハ゛・ハイマタ゛	゙ラノメイカ゛・オオ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゙゚゙゙゙゙゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚	•	•	キスジノ	ハムシ	ネキ [*] アサ [*] ミウマ●	14日前:2回	2,000倍
	21333	プレオフロアブル	971	☆	プロペニルオキシフェニル	普·B	ウワバ類・ハイ	゚マダラノメイガ・	ハスモンヨトウ・オ	オタハ゛コカ゛●	•	•	1	•	_	7日前:2回	1,000倍
	22465	プレバソンフロアブル5	738	☆	ジアミト゛	普·B	ウワバ類・ハイ	゚マダラノメイガ・	ハスモンヨトウ・オ	オタハ゛コカ゛●	•	•	1	•	_	前 日:3回	2,000倍
	20653	フローバックDF	449~899	☆	BT(アイザワイ系)	普•A	オオタバコガ・ハ	ハスモンヨトウ・ハ	イマダラノメイカ゛	(1,000倍)	•	•	-	●(1,000倍)	_	発生初期~前日: -	1,000~2,000倍 (野菜類)
	24091	ベネビアOD	624~1,248	☆	ジアミド	普•B	ウワバ類・ハイ	゚マダラノメイガ・	ハスモンヨトウ・オ	オタバコガ●	•	•	•	•	•	前 日:3回	2,000~4,000倍(アサミ・アフ・ラ2,000倍)
	20016	マッチ乳剤	341~510	☆	IGR	普•A	ハイマダラノ	/メイカ゛・ハス・	モンヨトウ●(3,000倍)	•	•	_	•	_	7日前:3回	2,000~3,000倍
	2280	マラソン乳剤	72~216	☆	有機リン	普•B	_	_	_	ハハ゛チ	-	•	•	_	•	前 日:5回	2,000~3,000倍(アオムシ・ハハ・チ1,000倍)
	20641	モスピランSL液剤	615	☆	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	1	_	_	•	•	•	_	_	7日前:5回	2,000倍(アブラムシ4,000倍)
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	894~1,789	☆	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	1	_	_	•	•	•	_	•	7日前:5回 1,000~2,000倍(アフ゛ラムシ・アサ゛ミウマ2,000~4,000倍)
	20863	ランネート45DF	426~851	☆	カーハ・メート	劇•B	タマナ	トキ゛ンウワハ゛	・ハスモンヨトウ	•	•	•	•	•	_	14日前:3回	1,000~2,000倍
	22870	リーフガード顆粒水和剤	399	☆	ネライストキシン	劇•Bs	ハイ	マダラノメイカ	゛・ナメクシ゛類	•	•	•	•	_	•	7日前:3回	1,500倍

|注意事項 *種子消毒剤(成分:イプロジオン、メプロニル、チウラム、メタラキシル等)もイエスクリーン栽培でカウントされる。

- *土壌殺菌剤のフロンサイド粉剤は全面混和で30~40kg、作条混和で15~20kg/10aとする。
- *バイオキーパー水和剤は、乳剤タイプの農薬との混用は避ける。近接散布は3日以上間隔をあける。発病前に重点的に使用する。
- * ベネビアODはアルカリ性の農薬や肥料との混用はさける。
- *コナガでは合ピレ系及びIGR系で、薬剤抵抗性個体群が確認されている。また、ジアミド系は抵抗性遺伝子保持個体が確認されている。同一系統薬剤の連用は、薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。

*コナガの初令幼虫は葉肉内、3~4令幼虫と蛹の多くは葉裏に寄生しているので、散布むらがないように十分量散布する。

* ヨトウムシの老齢幼虫は薬剤に対する抵抗力が大きくなるので早めに防除する。

周辺圃場に栽培されている作物への 安全を確認しましょう

塗りつぶしは、新規掲載

(2)ブロッコリー

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

注意事項:イエスクリーン(YES!clean)栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

Z)	<u> ノ ロ</u>	<u> ッ 」 ヮ ー </u>		- 次以 ヨ 第	を回はJAなんはろR2長楽年	及3月111111111111111111111111111111111111	九込/より昇	řЩ°			は思事項 11人	/リーフ(TE	o:ciean) a	或培で使用9 る長楽は、別述栽培基準の防除体系と	9 ৩ °
作 物 名	農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	イエス クリーン R2年度 申請 薬剤	,	毒性・魚毒性	根 こ ぶ 病	軟 腐 病	黒腐病	べ と 病	コ ア ナ オ ガ ム シ	ヨトウムシ	アブラムシ	適正使用基準	使用倍率
	_	チウラム、メタラキシル	_	☆	種子消毒									種苗会社が実施	
	22799	オラクル顆粒水和剤	26~65円/枚	☆	QiI	普·C	•	<u> </u>	_	_		_	<u> </u>		0~500倍 (0.5L/トレイ灌注)
	18210	ネビジン粉剤	8,678~13,017	☆	ヘ、ンセ、ンスルホン酸	普·C	•	<u> </u>	_	_		_	<u> </u>		条20kg/10a、全面20~30kg/10a
	22632	フロンサイド粉剤	4,425~11,800	₩	ピッジナミン	普·C	•	<u> </u>	_	_		_	_		条15~20kg、全面30~40kg/10a混和
	22631	フロンサイドSC	5,478	☆	ピッジナミン	普·C	•	T -	_	1 –		 	_		0ml/10a (全面土壌混和)
	20624	ランマンフロアブル	33円/枚	☆	QiI	普·A	•	T -	_	1 –		 	_	定植前日~当日:1回 500	0倍 (2L/トレイ灌注)
	22555	ジュリボフロアブル	86円/枚	☆	ジアミド+ネオニコチノイド	普•B	/\	スモンヨトウ・ハ・	イマダラノメイカ	ກໍ ⊕	• •	_	•	ネギアザミウマ● 育苗期後半~定植当日:1回 200	0倍 (0.5L/トレイ灌注)
	22465	プレバソンフロアブル5	74円/枚	☆	ジアミト゛	普∙B	_	T -	ハスモン	ンヨトウ●	• •	_	-	育苗期後半~定植当日:1回 100	0倍 (0.5L/トレイ灌注)
	23556	ベリマークSC	84円/枚	☆	ジアミト゛	普∙B	N.	スモンヨトウ・ハ・	イマダラノメイカ	ກໍ ⊕	• •	_	•	アザミウマ● 育苗期後半~定植当日:1回 400	0倍 (0.5L/トレイ灌注)
	21111	Zボルドー	449	☆	無機銅	普·B		•	•	•	花蕾腐敗病●	_	<u> </u>	— : — 500	 0倍(プロッコリー、野菜類)
	20574	アミスター20フロアブル	765	☆	QoI	普•B	_	T -	_	•	黒すす病●	 	_	3日前:3回 2,0	00倍
	14625	カスミンボルドー	407	☆	抗生物質+無機銅	普•B	_	T -	•	† –	- -	 	_	21日前:4回 1,0	00倍
	15744	カッパーシン水和剤	407	☆		普•B	_	_	•	_		_	<u> </u>	21日前:4回 1,0	00倍
		クプロシールド	123~247	₩	│ │無機銅	普•B	_	●(1000~1500倍)	_	•	黒斑細菌病●	_	_	 	00~2,000倍 (野菜類)
	22537	コサイド3000	258	₩	無機銅	普·B	_	•	•	<u> </u>	花蕾腐敗病●		<u> </u>		00倍(軟腐病・黒腐病2,000倍、野菜類)
		スターナ水和剤	464	₩	カルホン酸	普•A	_	•	黒斑細	 ⊞菌病●		<u> </u>	<u> </u>		00倍
		ダコニール1000	361	☆	クロロニトリル	普·C	_	 	_	•			 _		00倍
Ť		バイオキーパー水和剤	707~2,826	☆	微生物農薬	普•一	_		_	 			 _		0~2,000倍 (野菜類)
)		パレード20フロアブル	570~1,141	☆	SDHI	普•-	_	 	 	 核病●	 黒すす病●	_	 	 	00~4,000倍(黒すす病2,000倍)
		フォリオゴールド	614	☆	PA+クロロニトリル	普·C	<u> </u>	+ _	_			 	 _	 	00倍
		ヨネポン水和剤	660		有機銅	当·B	<u> </u>	+ _				 	 _	前日:4回 500	
		ランマンフロアブル	411	☆	Oil	音·A	_	+	 			+ _	 		100倍
ッ		レーバスフロアブル	421	☆	CAA	· · · A	_	+	 	•		+ _	 		00倍
		アクタラ顆粒水溶剤	273	☆	ネオニコチノイト	—— <u>□ </u>			 		 				00倍
		アファーム乳剤	1,191~2,381	☆	マクロライト	普·C	<u> </u>	+ _	_	+ _	• •	•	_	 	00~2,000倍
7		ウララDF	299~447	1 '.'	ピリシ゛ンカルホ゛キサミト゛		<u> </u>	+ _	_	+ _				 	00~3,000倍
		エスマルクDF	430~859	☆	BT(クルスターキー系)		<u> </u>	+ _	_	+ _		●(1,000倍)		 	00~2,000倍 (野菜類)
IJ		エルサン乳剤	158~316	☆	有機リン	│	キ フジ / シハ		<u> </u> 			(1,000 jg)	/	30日前:2回 1,000~2,000倍(コナガ1,0	
		グレーシア乳剤	788 ~ 1,179	☆	イソオキサソ・リン			·ウワバ類・オオ			• •	•	_	 	00~3,000倍
1		コテツフロアブル	1,133	☆	ピロール	劇·C				ショトウ●			 	 	00倍
		コルト顆粒水和剤	331	₩ ₩	ピリシンアソメチン	i ii i	<u> </u>)				 	00倍
		スタークル顆粒水溶剤	245~366	₩ ₩	ネオニコチノイト゛	目 · B · A	<u> </u>	+		+		 			00~3,000倍
		スピノエース顆粒水和剤	1,138	\ \	スピノシン	当·B	<u> </u>	+ _	_	+	• •	 	_	<u> </u>	00倍
		ゼンターリ顆粒水和剤	470~940	× ☆	AC /// BT(アイサ゛ワイ系)	— = · B — 普•A	++40*74*				• •	•	 	 	00~2,000倍 (野菜類)
				· · ·		ョ・A 普•B		・ソロイテモン ヨト! \イマダ [*] ラノメイカ [*]			 		 	 	100~2,000倍(野采類) 100~5,000倍
		ディアナSC トルネードエースDF	572~1,144	☆	スピノシン		77/1 規 7	— —	-//-//\text{-/	1	• •		 	 	00~5,000 16 00倍
			938 587	☆	オキサシ゛アシ゛ン	普·B *-B	<u> </u>	 	+ -	 		+ -	+		100倍 100倍
		ノーモルト乳剤	546~1,092	☆	IGR METI	普·B	<u> </u>	 	 	-		+ -	_	 	i00倍 i00~2,000倍
		ハチハチ乳剤	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	☆		劇·C ·				<u> </u>			_	 	
		フェニックス顆粒水和剤 プレオフロアブル	539~1,077	☆	ジ・アミト゛ フ゜ロヘ゜ニルオキシフェニル	普·B ·		イマダラノメイカ 		<u>'</u> リ ● 'ヨトウ●	• -		 	 	00~4,000倍 00倍
			971	☆ ☆		普·B ·		<u>ー</u> イマダラノメイカ					 		
		プレバソンフロアブル5	738	☆	ジアミト゛	普•B ————————————————————————————————————						——————————————————————————————————————	 		00倍
		フローバックDF	449~899	☆	BT(アイサ゛ワイ系)	普·A	オオダハ コガ	・ハスモンヨトウ・ハ				●(1,000倍)		 	00~2,000倍(野菜類)
		ベネビアOD	624~1,248	☆	シアミト	普·B		 -	1	ンヨトウ● T	• •		•	 	00~4,000倍(アザミ・アフ・ラ2,000倍)
		マトリックフロアブル	364~727	\Rightarrow	IGR	普·A		 -		 -		•	_	 	00~2,000倍
		モスピランSL液剤	307~615	\Rightarrow	ネオニコチノイト゛	劇·A	_	 -	_	 -				 	00倍(アブラムシ4,000倍)
		モスピラン顆粒水溶剤	894	, ,	ネオニコチノイト゛	劇·A		 -		 -			•	1 1	100倍
	20863	ランネート45DF	426~851	☆	カーハ・メート	劇•B	_	_	_	_	- -	•		7日前:2回 1,0	00~2,000倍(ヨトウムシ1,000倍)

注意事項 *種子消毒剤(成分:チウラム、メタラキシル)もイエスクリーン栽培でカウントされる。

*ベネビアODはアルカリ性の農薬や肥料との混用はさける。

*コナガでは合ピレ系及びIGR系で、薬剤抵抗性個体群が確認されている。また、ジアミド系は抵抗性遺伝子保持個体が確認されている。同一系統薬剤の連用は、薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。

*コナガの初令幼虫は葉肉内、3~4令幼虫と蛹の多くは葉裏に寄生しているので、散布むらがないように十分量散布する。

塗りつぶしは、新規掲載 栽培履歴を確実に記録しましょう

(3) たまねぎ ※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。 注意事項:イエスクリーン(YES!clean)栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

作 物 名	農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	イエス クリーン R2年度 申請薬剤	系 統 名	毒性・魚毒性	べと病	灰色かび病	小菌核病	軟腐病	灰色腐敗病	乾腐病	タマネギバエ	アザミウマ類	適正使用基準	使 用 倍 率
	22687	チウラム80	-	☆	種子消毒										種苗会社が実施	
	12455	カルホス乳剤	4~7円/枚	☆	有機リン	劇•B	_	_	_	_	_	_	•	<u> </u>	定植前:1回	500~1,000倍(苗箱 500ml/箱、灌注)
	16300	トリフミン水和剤	_	☆	DMI	普•B	<u> </u>	<u> </u>	_	<u> </u>	<u> </u>	•	<u> </u>	<u> </u>	定植直前:1回	50倍(5分間苗根部浸漬)
	13823	アグレプト液剤	491	☆	抗生物質	普•A	_	_	_	•	_	_	_	_	7日前:5回	1,000倍
	22209	アフェットフロアブル	920	☆	SDHI	普·B		•	•	_	•	_	_	<u> </u>	前 日:4回	2,000倍
	23919	オルフィンフロアブル	682 ~ 1,021	☆	SDHI	普•A	_	•	•	_	•	_	_	_	前 日:3回	2,000~3,000倍
	21468	カンタスドライフロアブル	851 ~ 1,276	☆	SDHI	普•A	_	•	•		•	_	_	_	前 日:3回	1,000~1,500倍(小菌核病1,500倍)
	24001	クプロシールド	165~247	☆	無機銅	普•B	●(1,000~2,000倍)	1	_	•	_	_	りん片原	動病●	- : -	1,000~1,500倍(りん片腐敗病1,000倍)
	22537	コサイド3000	129~258	☆	無機銅	普•B	_	1		•	_	_	りん片像	類類病●	- : -	1,000~2,000倍(りん片腐敗病1,000倍)
	20285	シルバキュアフロアブル	426	☆	DMI	普•B	_	•	•	_	•	_	_	_	前 日:3回	2,000倍
	16433	スクレタン水和剤	1,219	☆	無機銅+ジカルボキシイミド	普•B	_	•	_	•	•	_	りん片原	動病●	前 日:5回	500倍
	17203	スターナ水和剤	928	☆	カルホン酸	普·A	_	_	_	•	_	_	_	_	7日前:5回	1,000倍
	21987	ストロビーフロアブル	455 ~ 682	☆	QoI	普•B	_	•	_	_	•	_	_	_	14日前:3回	2,000~3,000倍(灰色腐敗病2,000倍)
•	14498	スミレックス水和剤	1,241	☆	シ゛カルホ゛キシイミト゛	普•A	_	•	•	_	•	_	_	_	前 日:5回	1,000倍
5	11574	トップジンM水和剤	483~966	☆	мвс	普•A	_	_	•	_	•	_	_	_	前 日:5回(定植後)	500~1,000倍(小菌核病1,000倍)
	24071	パレード20フロアブル	570 ~ 1,141	☆	SDHI	普•—	_	•	•	_	•	_	_	_	前 日:3回	2,000~4,000倍
<u></u>	23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	509 ~ 1,018	☆	QoI	普•B	_	•	•	_	•	_	_	_	前 日:5回	2,000~4,000倍(灰色腐敗病2,000~3,000倍)
ま	22771	フォリオゴールド	614~767	☆	PA+クロロニトリル	普•B	•	•	_	_	_	_	白色织	疫病●	7日前:3回	800~1,000倍(灰色かび病800倍)
	22631	フロンサイドSC	548 ~ 1,096	☆	ヒ゜リシ゛ナミン	普•C	•	•	_	_	•	_	白色织	变病●	3日前:5回	1,000~2,000倍(白色疫病1,000倍)
I _	18821	ベルクート水和剤	800	☆	ヒ゛スク゛アニシ゛ン	普•A	_	•	•	_	•	_	_	_	前 日:5回	1,000倍
2	20889	ベンレート水和剤	331~496	☆	MBC	普·B	_	•	_	_	•	乾腐病●(2	 0倍•3分苗根	·····································	 前 日:6回	2,000~3,000倍 (灰色かび病2,000倍)
	15890	ポリベリン水和剤	841~1,122	☆	 抗生物質+ビスグアニジン	普·A	_	_	_	_	•	_	_	_	3日前∶5回	750~1,000倍
ب	23804	メジャーフロアブル	648	☆	QoI	普•-	•	•	•	_	•	_	_	_	│ │前 日∶3回	2,000倍
ぎ	20624	 ランマンフロアブル	411	☆	QiI	普•A	•	_	_	_	_	_	白色织	 疫病●	 7日前:4回	2,000倍
	22772	 リドミルゴールドMZ	504~1,008	₩ ₩	 シ゛チオカーハ゛メート+PA	— 普•B	•	_	_	_	_	_	白色织	————— 伎病●	│ │ 7日前:3回	 500~1,000倍(白色疫病1,000倍)
	16589		461	☆	合ピレ	劇•C	ネキ゛ハモク	゛リハ゛エ●	シロイチモシ	√∃トウ ●	—	—	<u> </u>	•	 7日前:5回	2,000倍
	15957	アディオン乳剤	596	☆	 合ヒ [゚] レ	普•C		 ່ ກ້ ●	_	_	ハスモン	Ŀ ∃トウ●	_	•	 7日前:5回	3,000倍
	19992	オルトラン水和剤	302~453	☆	 有機リン	普•A	_	_	_	_	_	_	_	ネキ゛アサ゛ミウマ ●	 21日前:5回	1,000~1,500倍
		グレーシア乳剤	788 ~ 1,179	☆	イソオキサソ゛リン	普•一	_		_	_	_	_	_		│ │ 7日前∶2回	2,000~3,000倍
		ゲットアウトWDG	253~378	₩ ₩	 合ヒ [°] レ	劇•C			_	_	_	_	_	•	7日前:5回	2,000~3,000倍
		ダイアジノン乳剤40	300~514	₩ ₩	有機リン	劇•Bs	ネキ゛ハモク゛リ		└─── ~2,000倍	アブラムシ	<u>l</u> ●1,000倍	_	•	•	21日前:2回	700~1,200倍(タマネキ゛ハ゛ェ 700倍)
		ディアナSC	572 ~ 1,144	☆	スピンシン	普•B	ネキ゛ハモク		_	_	Ι	<u>L</u> ヨトウ●	_	•	前 日:2回	2,500~5,000倍
		トクチオン乳剤	660		有機リン		_	_	_	_	_		_	•	119 11 - 12 12 12 12 12 12 12	1,000倍
		ファインセーブフロアブル	682~1,365		Qi阻害		_	_	_	_	_	_	_	•		1,000~2,000倍
		プレオフロアブル	971	☆	プロヘーニルオキシフェニル	^像 · B	_	_	シロイチモジ	 ィョトウ ●	ハスチン	<u> </u> ヨトウ●		ネキ゛アサ゛ミウマ●	3日前:3回 3日前:2回	1,000倍
		プレスプログラル モスピランSL液剤	411~615	\ \dot{\dot{\dot{\dot{\dot{\dot{\dot{	ネオニコチノイト゛	B D			_	—		_	_		3日前:2日 7日前:3回	2,000~3,000倍
	20041	リーフガード顆粒水和剤	399	\ \times \	ネライストキシン	劇·Bs	ネキ゛ハモク									1,500倍

注意事項 * イエスクリーン栽培では、栽培体系が早生・中晩生の2体系があり、防除基準が異なるので要注意。

* ネギ類の防除は、機能性展着剤「ワイドコート3,000~10,000倍」を利用し防除効果を向上させる。

* ネギアザミウマは、合ピレ系で薬剤抵抗性個体群が確認されている。同一系統薬剤の連用は、薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。

*オルトラン水和剤は、少量散布の登録あり。

塗りつぶしは、新規掲載

イエスクリーン栽培に努めよう 散布器具は必ずきれいに洗浄しよう 4) ね ぎ ※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。 注意事項:イエスクリーン(YES!clean)栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。 ザ マ イエス クリーン R2年度 薬番 反当薬価 ガ 系 統 名 適正使用基準 使 用 倍 率 (円/10a) バ 薬剤 バ 種子消毒 「チウラム、キャフ°タン、リト゛ミル、ヘ゛ノミル 普·A **|ネオニコチノイト**゛ |は種時~定植時:1回 6kg/10a(播溝土壌混和、株元散布) 20805 スタークル粒剤 6,600 ハモグリバェ類● 普·A タネハ、エ・シロイチモシ、ヨトウ● 20813 スタークル顆粒水溶剤 73円/冊 **ーネオニコチノイト**゛ |定植前日~定植時:1回 |50倍(0.5L/チェーンポット1冊、苗床灌注) ハモグリハ゛エ類● 79円/冊 普•B **シロイチモシ゛ヨトウ**ハモグリハ゛ェ類● 定植前日~定植時:1回 100倍(0.5L/チェーンホット1冊、苗床灌注) 22725 キックオフ顆粒水和剤 **|ジアミド+ネオニコチノイド** 84円/冊 23556 ベリマークSC シアミト 普•B |育苗期後半~定植当日:1回 |400倍(0.5L/チェーンポット1冊、苗床灌注) は種時~定植時:2回 有機リン 普•Bs 22634 ダイアジノン粒剤5 コガネムシ類幼虫● 4~6kg/10a 2,104~3,156 22209 アフェットフロアブル 普·A | 白絹病・黒腐菌核病●(1,000~2,000倍、生育期株元灌注1L/m2) | 前 日:2回(株元灌注14日前まで) | 2,000倍 SDHI 20574 アミスター20フロアブル 普•B 黄斑病●リゾクトニア葉鞘腐敗病● 3日前:4回 2,000倍 1,000倍 22144 アミスターオプティフロアブル 普•C 黄斑病● 14日前:3回 QoI+クロロニトリル 876 13243 オリゼメート粒剤 ヘ゛ンソ゛イソチアソ゛ール 軟腐病● 土寄せ時(30日前):2回 6kg/10a (株元散布) 普•B 5,016 15744 カッパーシン水和剤 抗生物質+無機銅 普•B 軟腐病● 1,000倍 14日前:2回 407 24001 クプロシールド 無機銅 普•B 軟腐病● 1,000~1,500倍(べと病1,000~2,000倍) 123~247 **-** : **-**22582 グリーンペンコゼブ水和剤 シ゛チオカーハ゛メート 普•B 14日前:3回 600倍 無機銅 普•B 2,000倍(野菜類) 22537 コサイド3000 軟腐病● 129 23455 ザンプロDMフロアブル 普·A 14日前:3回 1,500~2,000倍 429~572 CAA+QoSI 600倍 22345 ジマンダイセン水和剤 シ゛チオカーハ゛メート 普•B 14日前:3回 314 カルホン酸 普•A 2,000倍 17203 スターナ水和剤 軟腐病● 7日前:3回 21987 ストロビーフロアブル 普•B 黄斑病● 7日前:3回 2,000倍 682 ___ 2,000倍 22637 ダイナモ顆粒水和剤 シアノイミダンゲール+シアノアセトアミトゲオキシム 普・C 3日前:4回 21759 ダコニール1000 普•C 14日前:3回 1,000倍 クロロニトリル 361 ぎ 20990 テーク水和剤 DMI+ジチオカーバメート 普•B 14日前:3回 600倍 609 11574 トップジンM水和剤 普•A 7日前:3回 1,000倍(定植前苗根部浸漬・苗床灌注の登録も他にあり) 普•— 微生物農薬 軟腐病● 発病前~発病初期: -19679 バイオキーパー水和剤 707**~**2,826 |500~2,000倍(野菜類) 普•A 17386 バリダシン液剤5 660 抗生物質 軟腐病● 21日前:1回 500倍 黒腐菌核病● |2,000~4,000倍(さび病・黒腐菌核病2,000倍) 24071 パレード20フロアブル 普•一 前 日:3回 SDHI 570~1,141 19510 フェスティバルC水和剤 467 CAA+無機銅 普•B 14日前:3回 1,000倍 800~1,000倍 22771 フォリオゴールド PA+クロロニトリル 普•B 14日前:3回 614**~**767 普•C 21954 プロポーズ顆粒水和剤 14日前:3回 1,000倍 CAA+クロロニトリル 576 |CAA+シアノアセトアミト・オキシム | 普・A 14日前:3回 2,000倍 22397 ベトファイタ―顆粒水和剤 1,000~2,000倍(定植直前苗根部浸漬の登録も他にあり) 普•B 30日前:1回 20889 ベンレート水和剤 496~992 MBC 抗生物質+ビスグアニジン 普・A 黄斑病● 1,500倍 15890 ポリベリン水和剤 14日前:3回 561 前 日:3回 2,000倍 23804 メジャーフロアブル 普•-648 普•B 白絹病● 9kg/10a(株元土壌混和) 22833 ユニフォーム粒剤 |土寄せ時(90日前):1回 15,822 PA+QoI 軟腐病● 有機銅 普•B 7日前:4回 500倍 16255 ヨネポン水和剤 660 17684 ラリー水和剤 普•B 7日前:3回 2,000倍 4,000倍 普•B 14日前:3回 17687 ラリー乳剤 20624 ランマンフロアブル QiI 普•A 3日前:4回 2,000倍 411 1,000倍 22772 リドミルゴールドMZ 普•B 30日前:3回 504 ジチオカーバメート+PA 22379 レーバスフロアブル 普•A 7日前:2回 2,000倍 CAA 421 普・A ボトリチス葉枯症● 白絹病●(500~1,000倍、生育期株元灌注1L/m2)) **14日前:3回** シ゛カルホ゛キシイミト゛ 1,000~1,500倍 14212 ロブラール水和剤 770~1,155

作物名	農薬番号	農	薬	名	J		イエス クリーン R2年度 申請 薬剤	チェス 統名	毒 性 ・ 魚 毒 性	べ と 病	さび病	黒 斑 病	葉 枯 病	小菌核腐敗病	タマネギバエ	ネギハモグリバエ	アザミウマ類	ネギコガ	適正使用基準	使用倍率
	20672	アクタラ顆粒	水溶剤		4	08~816	☆	ネオニコチノイト゛	普·A	_	_	_	_	_	_	•	ネキ゛アサ゛ミウマ●	_	3日前:3回	1,000~2,000倍
	23235	アグリメック			8	93~1,786	\Rightarrow	マクロライト゛	劇• —	_		_	_	_	_	•		_	3日前:3回	500~1,000倍
	16589	アグロスリン	乳剤		4	61~922	\Rightarrow	合ピレ	劇 - C	_		_	アフ゛ラムシ●	シロイチモシ	゛ヨトウ●				7日前:5回	2,000倍(シロイチモシ゛ヨトウ 1,000倍)
	15957	アディオン乳	剤		5	596 ~ 892	\Rightarrow	合ピレ	普·C	_		_	_	シロイチモシ	゛ヨトウ●	_			7日前:3回	3,000倍(シロイチモシ゛ヨトウ 2,000倍)
	18562	アドマイヤー	フロア	ブル	4	476 ~ 953	\Rightarrow	ネオニコチノイト゛	劇·A	_	_	_	_	_		_	•	_	14日前:2回	2,000~4,000倍
	21812	ウララDF			4	47 ~ 894	\Rightarrow	ピリシ゛ンカルホ゛キサミト゛	普•A	_	_	_	_	_		_	ネキ゛アサ゛ミウマ●		前 日:3回	1,000~2,000倍
	5623	エルサン乳剤	FIJ		1	58~316	\Rightarrow	有機リン	劇•Bs		_	_	アブラムシ●			_		_	21日前:1回	1,000倍(アブラムシ1,000~2,000倍)
ね	18500	カスケード乳	剤			518	\Rightarrow	IGR	普•B	_		クロバネキ	ノコバエ類●	シロイチモシ	゛ヨトウ●	•	ネキ゛アサ゛ミウマ●	_	14日前:3回	4,000倍
10.		グレーシア乳			7	88~1,179	, ,	イソオキサソ゛リン	普•─	_	_	_		シロイチモシ	゛ヨトウ●	•			7日前:2回	2,000~3,000倍
		コルト顆粒水				663	\Rightarrow	ピリシ゛ンアソ゛メチン	普•B	_		_	_			_	ネキ゛アサ゛ミウマ●	_	3日前:3回	2,000倍
		スピノエース		和剤		,138 ~ 2,277	\Rightarrow	スピッノシン	普•B	_		_	_	シロイチモシ	゚ヨトウ●	_			3日前:3回	2,500~5,000倍(シロイチモシ゛ヨトウ 5,000倍)
		スミチオン乳			2	272 ~ 389	\Rightarrow	有機リン	普•B	_		_	_	アブラムシ●1,00	0~2,000倍	_			14日前:2回	700~1,000倍(ネキ゛コカ゛1,000倍)
		ダントツ水溶			2	272~544	\Rightarrow	ネオニコチノイト゛	普•A	_		_	_			•	ネキ゛アサ゛ミウマ●		3日前:4回	2,000~4,000倍
	22910	ディアナSC			5	72 ~ 1,144	\Rightarrow	スピッノシン	普•B	_		_	_	シロイチモシ	゚゙ヨトウ●	•			前 日:2回	2,500~5,000倍
¥	16864	デミリン水和	剤		1	,267 ~ 2,534	\Rightarrow	IGR	普 • A │	_		クロバネキ	ノコバエ類●		•	_		_	21日前:3回	2,000倍(150~300ml/㎡、クロハ・ネキノコハ・エ類300ml/㎡、株元灌注)
		ハチハチ乳剤	-			1,092	\Rightarrow	METI	劇·C			_	アフ゛ラムシ●	シロイチモシ	゚ヨトウ●	_			7日前:2回	1,000倍
		ファインセー			6	82~1,365	\Rightarrow	Qi阻害	劇一		_	_	_		_			_	3日前:2回	1,000~2,000倍(ネキ゛ハモク゛リハ゛ェ 2,000倍)
		フェニックス界		印剤	5	39 ~ 1,077	\Rightarrow	シ゛アミト゛	普·B	_		_	_	シロイチモシ	·	_			7日前:3回	2,000~4,000倍
		プレオフロア				971	\Rightarrow	フ [°] ロヘ [°] ニルオキシフェニル	普·B	_	_	_	_	シロイチモシ		_	ネキ゛アサ゛ミウマ●		3日前:4回	1,000倍
		ベネビアOD				1,248	\Rightarrow	ジアミト゛	普•B	_	_	_	_	シロイチモシ	゚ヨトウ●	ハモグリバェ類●			前 日:3回	2,000倍
		モスピランSL			4	11~615		ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	_		_		_	7日前:3回	2,000~3,000倍
		モスピラン顆				894			劇•A	_	_	_				_		_	7日前:3回	2,000倍
	22870	リーフガード	顆粒水	和剤		399	☆	ネライストキシン	劇•Bs	_			_	_			ネキ゛アサ゛ミウマ●	_	7日前:2回	1,500倍

注意事項 *種子消毒(キャプタン、チウラム、ベンミル、小ミル)は、イエスクリーン栽培の成分カウントする。

- * ネギ類の防除は、機能性展着剤「ワイドコート3,000~10,000倍」を利用し防除効果を向上させる。
- * ベネビアODはアルカリ性の農薬や肥料との混用はさける。
- * ネギアザミウマは、合ピレ系で薬剤抵抗性個体群が確認されている。同一系統薬剤の連用は、薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。

塗りつぶしは、新規掲載

5)	_軟 白 ね ぎ	※反当薬価は、	JAなんに	よるR2農薬年度当用価格(税込	込)より算出。		-			·			スクリーン(YES!clean) 栽培で使用する農薬は、タ	別途栽培基準の防除体系とする。
作 物 名	農 薬 養 農 薬 名	反当薬価 (円/10a)	イエス クリー: R2年原 申請	ン	毒 性 • 魚	べ と 病	さ び 病	黒 斑 病	葉枯病	小菌核腐品	タマネギ゛	バネギハモバモ	ネギコ	適正使用基準	使 用 倍 率
10	号		平詞 薬剤		毒性					<u>敗</u> 病	バ エ	グ マリ 類	ガ		
	チウラム、キャプ。タン、リト゛ミル、ヘ゛ノミル	_	☆		1生					763		, 及		 種苗会社が実施	
	20805 スタークル粒剤	6,600	∧		普•A							ハモク゛リハ゛ェ類●			6kg/10a (播溝土壌混和、株元散布)
	20813 スタークル顆粒水溶剤	73円/冊			│	_	+ _	+ _	タネハ゛コ	┸╺シロイチモジヨトヮ	<u></u>	ハモグリバエ類●			50倍(0.5L/チェーンホット1冊、苗床灌注)
	22725 キックオフ顆粒水和剤	79円/冊			│	_	 _	+ _	_	シロイチモショ		ハモグリバエ類●			100倍(0.5L/チェーンポット1冊、苗床灌注)
	23556 ベリマークSC	84		シブミト	│	_	+ _	+ _	_	シロイチモショ		ハモグリバエ類●	_	────────────────────────────────────	400倍 (0.5L/チェーンホット1冊、苗床灌注)
	22634 ダイアジノン粒剤5	2,104~3,156	☆		『 b 普•Bs	_	<u> </u>	<u> </u>	_			類幼虫● -	_	_ 「日のは「一たにコロ・ロー」	4~6kg/10a
	22209 アフェットフロアブル	920	^		│				<u> </u>	- 		1,000~2,000倍、生育	 前期株元灌注1L/m/		
	20574 アミスター20フロアブル	765	☆	QoI		•	•	•				リゾクトニア葉鞘腐敗症		3日前:4回	2,000倍
	22144 アミスターオプティフロアブル	876	☆		i - i - i - i - i - i - i - i - i - i	•	•	•	•		斑病●		_	14日前:3回	1,000倍
	13243 オリゼメート粒剤	5.016	☆		│	_	_	_	軟腐病●		_			 土寄せ時(30日前):2回	6kg/10a (株元散布)
	24001 クプロシールド	123~247	☆		│	•	 _	 _	軟腐病●	_				-:-	1,000~1,500倍(べと病1,000~2,000倍)
	22345 ジマンダイセン水和剤	314	☆		│	•			——————————————————————————————————————	_				─ │ 14日前∶3回	600倍
	21987 ストロビーフロアブル	682	☆	QoI	│	_	•	•	_	_ 黄	斑病●		_		2,000倍
	21759 ダコニール1000	361	☆	クロロニトリル	│	•	•	•	•	•	_				1,000倍
	20990 テーク水和剤	609	☆	DMI+ジチオカーバメート	│	•	•	•	•	_				14日前:3回	600倍
	17386 バリダシン液剤5	660	☆	抗生物質	│	_	_	_	軟腐病●	_			_		500倍
	24071 パレード20フロアブル	570~1,141	☆			_				•	里腐菌	 ī核病● — —	_		2,000~4,000倍(さび病・黒腐菌核病2,000倍
	19510 フェスティバルC水和剤	467			│		_	_	_	_	_		_		1,000倍
	22771 フォリオゴールド	614~767			│	•	 _	+ _	_	_	_		_		800~1,000倍
軟	22397 ベトファイター顆粒水和剤	766		CAA+シアノアセトアミト・オキシム	i b ii・A		 _	 _	_	_	_				2,000倍
	15890 ポリベリン水和剤	561	☆		│					■ 描					1,500倍
	23804 メジャーフロアブル	648	☆		普•-										2,000倍
	22833 ユニフォーム粒剤	15,822	☆		│			_		白絹病●				^{m,}	9kg/10a (株元土壌混和)
	16255 ヨネポン水和剤	660	☆		│				軟腐病●						500倍
白	17684 ラリー水和剤	635		DMI	│			_	+X/8////	_					2,000倍
	20624 ランマンフロアブル	411		QiI	i b ii・A		_	+ _	_	_					2,000倍
	22772 リドミルゴールドMZ	504			│			_	_	_				30日前:3回	1,000倍
	22379 レーバスフロアブル	421	☆		│			_	_	_					2,000倍
	14212 ロブラール水和剤	770~1,155	☆		│	ホトリチス	<u> </u>		_	● 白:	組病●(5	│ 00~1,000倍、生育期株	 ·元灌注1L/m2	- 	1,000~1,500倍
ね	20672 アクタラ顆粒水溶剤	408~816	☆		│		**************************************		<u> </u>		—	◆	1	// 1 → 1 前 : 3 回 3 日前 : 3 回	1,000~2,000倍
	23235 アグリメック	893~1,786						 _	_	_				3日前:3回	500~1,000倍
	16589 アグロスリン乳剤	461~922		合ピレ	劇•C	_	+ _	+ _	アブラムシ●	シロイチモショ	-	• •		7日前:5回	2,000倍(シロイチモショトウ 1,000倍)
	15957 アディオン乳剤	596~892		合ピレ	善 普•C	_	+ _	+ _		シロイチモショ					3,000倍(シロイチモショトウ 2,000倍)
ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	18562 アドマイヤーフロアブル	476~953	☆				 _	 _	_	_	_				2.000~4.000倍
ぎ	19842 アファーム乳剤	1,191~2,381	☆		● 普·C		 _	 _	_	シロイチモショ	Ի ↑	●(1,000倍) —			1,000~2,000倍
	21812 ウララDF	447~894	☆		│				_		_	-	7.		1,000~2,000倍
	5623 エルサン乳剤	158~316			│		 _	+ _	アブラムシ●	_					1,000倍(アブラムシ1,000~2,000倍)
	18500 カスケード乳剤	518		IGR	善 計 計 計		 _	クロバネキ	_////エ類●	シロイチモショ	Ի ↑	◆	₹● —		4,000倍
	24185 グレーシア乳剤	788 ~ 1,179	☆		普•一		 _		<u> </u>	シロイチモショ					2,000~3,000倍
	22798 コルト顆粒水和剤	663	☆	00	│		 _	_	_	_	_	-	70 —		2,000倍
	20179 スピノエース顆粒水和剤	1,138~2,277			│		 _	_	_	シロイチモショ	ŀ ₼			3日前:3回	2,500~5,000倍(シロイチモジョトウ 5,000倍)
	4962 スミチオン乳剤	272~389	☆		│			_	_	アフ゛ラムシ●1,000-					700~1,000倍(ネキ゛コカ゛1,000倍)
	20798 ダントツ水溶剤	272~544			│			_	_	_		◆	70 —	3日前:4回	2,000~4,000倍
	22910 ディアナSC	572~1,144	☆		│		<u> </u>		_	シロイチモジヨ		4-17727	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		2,500~5,000倍
	16864 デミリン水和剤	1,267~2,534	☆		│		 		<u> </u> ノコバエ類●						2,000
	20818 ハチハチ乳剤	1,092	₩	METI	劇·C		•	— /µ// #T/	アプラムシ●		<u> </u>				1,000倍
	20818 ハテハテ乳剤 24070 ファインセーブフロアブル	682~1,365	₩			_	_	 	- T 7 7 4 7 • • • • • • • • • • • • • • • •	— JH17T73	<u>-</u>				1,000倍 (ネキ゛ハモク゛リハ゛ェ 2,000倍)
	24070 ファインセーノフロアフル 21917 フェニックス顆粒水和剤	539~1,077			劇'- 普·B	_	 	 		シロイチモジョ			_	3日前:2回 7日前:3回	2,000~4,000倍(ネキハモグリハ エ 2,000倍)
		971	↑	プ アミト プ ロヘ ニルオキシフェニル	目 音·B 目 目 目	_	 	+ -		シロイチモジョ			7.	/ロ削:3凹 3日前:4回	1,000倍
	21333 プレオフロアブル		☆		_									- 	
	23553 ベネビアOD	1,248	☆ 	シ゛アミト゛	普·B	_	 	 		シロイチモショ		ハモグリバエ類●		前 日:3回	2,000倍
	20641 モスピランSL液剤 22502 エスピラン野粒水溶剤	411~615	☆		劇•A 劇•A		-	 		_		_ •		7日前:3回	2,000~3,000倍
	22583 モスピラン顆粒水溶剤	894	☆		劇•A	_	 	 	_	_		— ++*¬#*¬+		7日前:3回	2,000倍
	22870 リーフガード顆粒水和剤	399	☆	ネライストキシン	劇•Bs	_	_	_	_	_	_	ネキ゛アサ゛ミウ	· •	7日前:2回	1,500倍

注意事項 *種子消毒(キャプタン、チウラム、ベノミル、リドミル)は、イエスクリーン栽培の成分カウントする。

^{*} ネギ類の防除は、機能性展着剤「ワイドコート3,000~10,000倍」を利用し防除効果を向上させる。

^{*} ネギアザミウマは、合ピレ系で薬剤抵抗性個体群が確認されている。同一系統薬剤の連用は、薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。

(6) ピーマン ※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税別)より算出。

注意事項:イエスクリーン(YES!clean)栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

(0)		<u> </u>		· · · · · · · · ·	,———————	,,,,,,, o, , ,,, m				_	· - · · · · · · ·	一 一 一 /		, 		(区川)の展来は、川巡祝に	
作 物 名	農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	イエス クリーン R2年度 申請薬剤	系 統 名	毒性 ・ 魚 毒性	灰色かび病	菌核病	斑 点 病	うどんこ病	アブラムシ類	アザミウマ類	ハ ダ 二 類	コナジラミ類	タバコガ	適正使用基準	使用倍率
	18218	アドマイヤー1粒剤	_	☆	ネオニコチノイト゛	普•A	<u> </u>	-	_	_	•	•	_	_	_	定植時:1回	1~2g/株 (植穴又は株元土壌混和)
	22209	アフェットフロアブル	460 ~ 920	☆	SDHI	普•B		<u> </u>	黒枯病●		白絹病 1	L/株 ●	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	前 日:3回	2,000倍(うどんこ病2,000~4,000倍)
	14625	カスミンボルドー	407	☆	抗生物質+無機銅	普•B	_	_	•	•	斑点細	菌病●	_	_	_	前 日:5回	1,000倍
	15744	カッパーシン水和剤	407	☆	抗生物質+無機銅	普•B	_	_	•	•	斑点細	菌病●	_	_	_	前 日:5回	1,000倍
	24001	クプロシールド	112~224	*	無機銅	普•B	軟腐病●	べと病●	_	_	斑点細	菌病●	_	_	_	_ : -	1,000~2,000倍 (野菜類)
	14501	スミレックスくん煙顆粒	206円/100㎡	☆	シ゛カルホ゛キシイミト゛	普•A	•	_	_	_	_	_	_	_	_	前 日:5回(くん煙)	6g/100m³
	14498	スミレックス水和剤	620~1,241	☆	シ゛カルホ゛キシイミト゛	普•A	•	•	黒枯病●	_	_	_	_	_	_	前 日:5回	1,000~2,000倍(黒枯病1,000倍)
	16300	トリフミン水和剤	278 ~ 465	☆	DMI	普•B	_	_	_	•	_	_	_	_	_	前 日:5回	3,000~5,000倍
	24071	パレード20フロアブル	570 ~ 1,141	☆	SDHI	普•—	_	_	黒枯病●	•	_	_	_	_	_	前 日:3回	2,000~4,000倍
	21117	パンチョTF顆粒水和剤	1,466	☆	フェニルアセトアミト +DMI	普•B	_	_	_	•	_	_	_	_	_	前 日:2回	2,000倍
	20081	ボトキラー水和剤	2,035	☆	微生物農薬	普•—	•	_	_	•	_	_	_	_	_		1,000倍 (野菜類)
	21500	ボトピカ水和剤	943 ~ 1,886	☆	微生物農薬	普•—	•	_	_	•	_	_	_	_	_	_ 発病前~発病初期:	2,000~4,000倍
. 0	17915	ロブラールくん煙剤	1,197円/300~400㎡	☆	シ゛カルホ゛キシイミト゛	劇•A	•	•	_	_	 	_	_	_	_	前 日:4回(くん煙)	100g/300~400m³
ピ	14212	ロブラール水和剤	770 ~ 1,155	☆	シ゛カルホ゛キシイミト゛	普•A	•	•	_	_	_	_	_	_	_	前 日:4回	1,000~1,500倍(菌核病 1,000倍)
	23235	アグリメック	893 ~ 1,786	☆	マクロライト゛	劇•—	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			•	<u> </u>	前 日:3回	500~1,000倍
	15957	アディオン乳剤	596 ~ 892	☆	合ピレ	普•C	_	_	_	_	•	_	カメムシ●	_	•	前 日:5回	2,000~3,000倍(タバコガ・カメムシ 2,000倍)
	19842	アファーム乳剤	1,191	☆	マクロライト゛	普•C	_	_	_	_	_	_	_	•	•	前 日:2回	2,000倍
	21812	ウララDF	224~447	*	ピリジンカルボキサミド	普•A	_	_	_	_	•	_	_	_	_	前 日:2回	2,000~4,000倍
マ	24185	グレーシア乳剤	1,179	☆	イソオキサソ゛リン	普•一	_	-	チャノホコ	リタ゛ニ・	_	•	•	•	•	前 日:2回	2,000倍
	19186	コテツフロアブル	1,133	☆	ピロール	劇•C	_	_	_	ミカンキイロ	1・ミナミキイロア	゚゚゚゚サ゛ミウマ●	•	_	•	前 日:2回	2,000倍
ン	22798	コルト顆粒水和剤	334	☆	ピ゚リジンアソ゛メチン	普•B	_	_	_	_	•	_	_	•	_	前 日:2回	4,000倍
	20813	スタークル顆粒水溶剤	245~366	☆	ネオニコチノイト゛	普•A	_	_	_	_	●(3,000倍)	•	カメムシ●	•	_	前 日:2回	2,000~3,000倍 (アザミ・カメムシ2,000倍)
	21685	スパイデックス	_	☆	天敵:(施設専用)	普•一	_	_	_	_	_	_	•	_	_	発生初期:放飼	100~300ml/10a (野菜類)
	20179	スピノエース顆粒水和剤	1,138~2,277	☆	スピッノシン	普•B	_	_	_	_	_	•	_	_	•	前 日:2回	2,500~5,000倍 (アザミウマ 5,000倍)
	17801	ダニトロンフロアブル	468 ~ 936	☆	METI	普•C	_	_	_	_	_	_	•	_	_	前 日:3回	1,000~2,000倍
	21644	チェス顆粒水和剤	434	☆	ピリシ゛ンアソ゛メチン	普•A	_	_	_	_	•	_	_	_	_	前 日:3回	5,000倍
	16094	ニッソラン水和剤	436 ~ 652	☆	成長阻害剤	普•B	_	_	_	_	_	_	•	_	_	前 日:2回	2,000~3,000倍
	20388	粘着くん液剤	2,624~5,247	☆	デンプン	普•A	_	_	_	•	•	_	•	•	_	前 日:一	100倍 (野菜類)150~300L/10a
	24070	ファインセーブフロアブル	682 ~ 1,365	☆	Qi阻害	劇•—	_	-	_	_	_	•	_	●(1,000倍)	_	前 日:3回	1,000~2,000倍
	21333	プレオフロアブル	971	☆	プロペニルオキシフェニル	普•B	_	_	_	_	_	•	_	_	•	前 日:2回	1,000倍
	19326	モスピランジェット	1,287円/400㎡	☆	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	•	_	_	_	_	前 日:2回(くん煙)	50g/400m³
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	447	☆	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	•	•	_	•	_	前 日:2回	4,000倍
	23187	モベントフロアブル	458	☆	テトロン酸	普•A	_	-	チャノホコ	リタ゛ニ・	•	•	•	•	_	前 日:3回	2,000倍
	17113	ロディー乳剤	457	☆	合ピレ	劇•C	_	_	_	_	•	_	•	_	_	 前 日:3回	2,000倍

注意事項 *ハウス内および周辺は除草をして清潔にする。

*アブラムシはハウス被覆資材に近紫外線フィルムを用いると侵入抑制効果がある。

*くん煙剤と同名の農薬は成分が同一であるので、適正使用基準を厳守する。

塗りつぶしは、新規掲載

イエスクリーンを成功させよう 栽培履歴を確実に記録しよう

(7) はくさい

作物名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性・魚毒性	べと病	根こぶ病	軟腐病	黒斑病	白さび病	コナガ	アオムシ	ヨトウムシ	アブラムシ類	適正使用基準	使用倍率
	18210	ネビジン粉剤	ベンゼンスルホン酸	普·C	_	•	_	_	_	_	_	_	_	播種~定植前:1回	20~30kg/10a (全面土壌混和)
	22632	フロンサイド粉剤	ピリジナミン	普·C	_	•	黄化病●	_	_	_	_	_	_	播種~定植前∶1回	30~40kg/10a (全面土壌混和)
			QiI	普·C	_	•	_	_	-	_	_	_	_	定植前まで:1回	200~500倍(0.5L/トレイ、灌注)
			QiI	普∙A	_	•	_	_			_		<u> </u>	定植前日~当日:1回	500倍 (2L/トレイ)
			QoI	普·B	•	_	白斑病●		•		_	_		7日前:4回	2,000倍(白斑病2,000~3,000倍)
			カルホン酸	普∙A		_		黒斑細	菌病●		_	_		7日前:3回	1,000倍
は			クロロニトリル	普·C	•	_	白斑病●	•	•		_	_		7日前:2回	1,000倍
			微生物農薬	普∙一	_	_		_			_	_	_	発病前~発病初期:-	500~2,000倍(野菜類)
			有機銅	普·B	•	_	•	_				_		結球開始まで収穫14日前:4回	
			QiI	普∙A	•	_		ピシウム腐			_	_	_	3日前∶4回	2,000倍
<			ジチオカーバメート+PA	普·B	•	_		ピシウム腐	敗病●			_		30日前:1回	1,000倍
			CAA	普∙A		<u> </u>					<u> </u>		<u> </u>	7日前:3回	2,000倍
			マクロライト゛	普•C	_	_		_		•	•	•	_	7日前:3回	1,000~2,000倍
		•	BT(クルスターキー系)	普·A	_	_		オオタバコカ゛●		•	•	●(1,000倍)		発生初期~前日:一	1,000~2,000倍 (野菜類)
さ			有機リン	普·A	_	_		カブラハ	バチ●	•	•	•	•	30日前:1回	1,500~2,000倍(ヨトウ、カブラハバチ1,500倍)
			IGR	普·B	_	_			_	•	•	•	_	7日前:2回	2,000~4,000倍
		コテツフロアブル	ピロール	劇·C			 - 	カブラハ		•	•	•		前日:2回	2,000倍
l l		** * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	スピックシン	普·B				ハイマダラノ		•	•	•		3日前:3回	2,500~5,000倍(ヨトウムシ5,000倍)
''			スピッシン	普·B	ハイマダラ	ラノメイカ`・ウ' -	ワバ類・オオタ			•	•	•		前日:2回	2,500~5,000倍
			ネライトスキシン	劇・Bs				カブラハ		•	•		•	7日前:3回	1,500倍
			METI	劇·C			(1,000倍)	ハイマダラノ			•	<u> </u>		14日前:2回	1,000~2,000倍
			フェニルピラソール	劇·C		ı	ごノミハムシ ●	ネキ゛アサ゛		•	•	オオタバ		21日前:2回	2,000倍
			ジアミト	普·B		_	ハスモンヨトウ・ハ		カブラハバチ●	•	•			前日:3回	2,000倍
			IGR	普·A		_			-		•	_		7日前:3回	2,000~3,000倍
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇∙A	_	_		カブラハバチ	(4,000倍)	•		_	•	14日前:3回	1,000~2,000倍 (アブラムシ2,000~4,000倍)

注意事項 * ネビジン粉剤・フロンサイド粉剤は、作条土壌混和も可。

- *ランマンフロアブルを根こぶ病に対して使用する場合は、500倍・2L/セル成型育苗トレイ、移植前1回以内とする。
- *バイオキーパー水和剤は、乳剤タイプの農薬との混用は避ける。近接散布は3日以上間隔をあける。発病前に重点的に使用する。
- *コナガでは合ピレ系及びIGR系で、抵抗性個体群が確認されている。同一系統薬剤の連用は、薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。
- *初令幼虫は葉肉内、3~4令幼虫と蛹の多くは葉裏に寄生しているので、散布むらのないよう注意する。
- * 粒剤は、干ばつ条件下では効果が劣ることがあるので発生動向に注意する。
- *エスマルクDFの適正使用は前日まで、ただし発生初期に使用する。
- *コテツフロアブルは幼苗期に使用すると薬害発生のおそれがあるので、8葉期以降に使用する。

農薬のラベル内容は確認しましょう

(8)だいこん

作物名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性 毒性 生 魚	軟腐病	タネバエ	ムシ	ネキリムシ類	コナガ	ヨトウムシ	アオムシ	アブラムシ	コオロギ類	適正使用基準	使用倍率
	22634	ダイアジノン粒剤5	有機リン	普•Bs	_	•	_	•	コガネム	シ類幼虫	・ケラ●	_	_	播種時:1回	4~6kg/10a(全面土壌混和又は作条土壌混和)
だ	22485	ネキリエースK	有機リン	普∙B	_	_	_	•	_	_	_	_	•	播種時:1回	3kg/10a
	15744	カッパーシン水和剤	抗生物質+無機銅	普•B	•	_	黒斑絲	田菌病・ワッ	功症●	_	_	_	_	14日前:3回	1,000倍
い	21111	Zボルド ー	無機銅	普∙B	•	_	白さび	病・べと症	ҕ∙黒斑細菌	菌病●	_	_	_	_: _	500倍(野菜類・だいこん)
	19679	バイオキーパー水和剤	微生物農薬	普∙-	•	_	_	_	_	_	_	_	_	発病前~発病初期: -	500~2,000倍 (野菜類)
=	19616	ゼンターリ顆粒水和剤	BT(アイザワイ系)	普∙A	_	_	オオタハ	້ ⊐ກ້ ●	•	•	•	_	_	発生初期~前日: -	1,000倍(コナガ•アオムシ・ヨトウ1,000~2,000倍)
	20798	ダントツ水溶剤	ネオニコニノイト゛	普·A		_	_	_	_	_	1	•	_	7日前:2回	2,000~4,000倍
ん	17167	トレボン乳剤	合ピレ	普∙B	_	_	_	_	•	•	•	•	_	21日前:3回	1,000~2,000倍
	21856	ペイオフME液剤	合ピレ	劇·C	_	_	_	-	_	_	•	•	_	30日前:3回	1,000~2,000倍
沙辛市店															

注意事項

(9)ばれいしょ

作物名	農薬番号	農薬名	系 統 名	魚毒 毒性 性・	黒あざ病	そうか病	疫 病	夏 疫 病	軟 腐 病	菌 核 病	ケラ	シアブラム	シダマシテントウム	適正使用基準	使用倍率
	3316	アグリマイシンー100	抗生物質+抗生物質	普•A	_		黒あし	友病●	_	_	_	_	_	植付前:1回	40~100倍(5~10秒間浸漬)
	17386	バリダシン液剤5	抗生物質	普·A		-	1	_	_	_	-		_	植付前:1回	200倍(瞬時~10分間浸漬)
	19993	オルトラン粒剤	有機リン	普∙A	_		_	_	_	_	_	•	_	植付時:1回(作条散布)	3~6kg/10a(1~2g/株)
	22634	ダイアジノン粒剤5	有機リン	普•Bs	_	_	_	_	_	_	•	ネキリム	∕類●	植付前:1回	4∼6kg/10a
	3316	アグリマイシンー100	抗生物質+抗生物質	普·A	_	_	•	_	•	_	_	_	_	3日前:5回	1,000倍(軟腐病1,000~1,600倍)
	22582	グリーンペンコゼブ水和剤	シ゛チオカーハ゛メート	普⋅B[_	_	•	•	_	_	_	_	_	7日前:10回	400~600倍(少量散布 100倍/25L)
ば	22345	ジマンダイセン水和剤	シ゛チオカーハ゛メート	普·B	_	_	•	•	_	_	_	_	_	7日前:10回	400~600倍(少量散布 100倍/25L)
	17203	スターナ水和剤	カルホン酸	普·A	_	_	_	_	•	_	_	_	_	7日前:5回	1,000倍
れ	14498	スミレックス水和剤	シ゛カルホ゛キシイミト゛	普∙A	_	_	_	_			_	_	_	21日前:4回	1,000~1,500倍
	20169	ダコニールエース	クロロニトリル	普·C	_	_	•	•	_	_	_	_	_	7日前:5回	750~1,500倍(少量散布 125倍/25L)
い	19679	バイオキーパー水和剤	微生物農薬	普∙-┃	_	_	_	_	•	_	_	_	_	発病前~発病初期: 一	1,000~2,000倍
	22631	フロンサイドSC	ピリジナミン	Ě⋅C	_	_	•	•	_		_	_	_	7日前:4回	1,000~2,000倍(夏疫病2,000倍)
L	20624	ランマンフロアブル	QiI	普∙A	_	_	•	_		_	_	_	_	7日前:4回	1,000~2,000倍(少量散布 375倍/25L)
	22379	レーバスフロアブル	CAA	普∙A	<u> </u>	<u> </u>	•	_	<u> </u>	_	_		<u> </u>	7日前:2回	1,500~2,000倍(少量散布 375~500倍/25L)
L	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普·C	_	_	_	_	_	_	_	•	•	14日前:4回	2,000~3,000倍
	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイト゛	劇·A	_	_	_	_	_	オオニジュウヤ	ホシテントウ●		_	14日前:2回	5,000~15,000倍(少量散布 2,500倍/25L)
	19992	オルトラン水和剤	有機リン	普∙A	_	_	_	_	_	ヨトウムシ•ジ ^ュ	ャガイモガ●		●(幼虫)	30日前:2回	1,000~1,500倍(テントウムシ、ヨトウムシ1,000倍)
	4962	スミチオン乳剤	有機リン	普∙B	_	_	_	_	_	_	_		•	3日前∶6回	1,000倍(少量散布 250倍/25L)
	17167	トレボン乳剤	合ピレ	普∙B	_	_		_	_	_	_	•	_	7日前:3回	1,000倍
	24137	ビレスコ顆粒水和剤	スルホキシイミン	普•一	_	_	-	_	_		_		_	7日前:3回	5,000~10,000倍(少量散布 1,250倍/25L)
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇∙A	_	_	_	_	_	ジャガイモガ((2,000倍)	•	•	7日前:3回	2,000~6,000倍(テントウムシ2,000~4,000倍)

注意事項 *無病いもを植付ける。

- * そうか病は土壌pHが5.2以上で発生し、6.5ないしアルカリ側で多発生する。
- *スミレックス水和剤は、あぶらな科作物に薬害を生じる恐れがあるので飛散に注意する。
- *アブラムシの種類によって薬剤の効果が異なるので注意する。
- * ワタアブラムシは、下位葉に好んで寄生するので、散布量を多くするとともに倒伏や過繁茂にならないようにする。

農薬散布は、風の強さ・向きに注意、 ドリフトの無いように散布しよう

(10)トマト

物 名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性·魚毒性	疫病	病灰 色 かび	葉 か び 病	病う	シガラ カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マザミウ	ミコ 類ナ ジ ラ	コオ ガオ タ バ	バハ エモ 類グ リ	適正使用基準	使用倍率
	20574	アミスター20フロアブル	QoI	普·B	_	•	•	<u> </u>	_	_	_	_	_	前 日:4回	2,000倍
	21292	オーソサイド水和剤80	フタルイミト゛	普·C	•	•	•	_	_	_	_	_	_	前 日:5回	800倍 (疫病800~1,200倍)
	21468	カンタスドライフロアブル	SDHI	普·A	_	•	•	菌核病●	_	_	_	_	_	前 日:3回	1,000~1,500倍
	17697	ゲッター水和剤	ヘ゛ンソ゛イミタ゛ソ゛ール+フェニルカーハ゛メート	普·A	_	•	•	菌核病●	_	_	_	_	_	前 日:5回	1,000~1,500倍
	22537	コサイド3000	無機銅	普·B	•	_	_	_	_	_	_	_	_	- : -	1,000倍
	20449	ジャストミート顆粒水和剤	ヒト゛ロキシアニリト゛+フェニルヒ゜ロール	普·B	_	•	_	T -	_	_	_	_	-	前 日:3回	2,000~3,000倍
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普·C	•	•	•	•	すすか	び病・炭疽	[病•輪紋症	病·褐色 輪	i紋病●	前 日:4回	1,000倍
F .	23276	トリフミンジェット	DMI	普·B	_	_	•	_	_	_	_	1	_	前 日:5回(くん煙)	50g/400m ³
	16300	トリフミン水和剤(ミニトマトも可)	DMI	普•B	_	_	•	_	すすか	ヾび病●	_	1	-	前 日:5回	3,000倍 (葉かび病3,000~5,000倍)
マ	23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	QoI	普·B	_	•	•	菌核病●	すすかび症	病∙斑点病●	_	_	_	前 日:3回	2,000~3,000倍
	19100	フルピカフロアブル	AP	普•B	_	•	_	_	_	_	_	_	_	前 日:4回	2,000~3,000倍
	20081	ボトキラー水和剤	微生物農薬	普•—	_	•	_	•	_	_	_	1	_	発病前~発病初期: 一	1,000倍 (野菜類)
F	22379	レーバスフロアブル	CAA	普·A	•	_	_	_	_	_	_	1	_	前 日:3回	1,500~2,000倍
	17915	ロブラールくん煙剤	シ゛カルホ゛キシイミト゛	劇·A	_	•	_	菌核病●	_	_	_	_	_	前 日:3回(くん煙)	100g/300∼400㎡
	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイト゛	劇·A	_	_	_	_	•	_	•	-	_	前 日:2回	5,000~10,000倍
	19186	コテツフロアブル(ミニトマトも可)	L°ロール	劇·C	_	_	ナミハダニ・トラ	マトサビダニ●	ミカンキイロ	アサ゛ミウマ●	_	•	-	前 日:3回	2,000倍
	20179	スピノエース顆粒水和剤(ミニトマトも可)	スピ [°] ノシン	普•B	_	_	_	_	_	•	_	•	•	前 日:2回	5,000倍
	17734	ノーモルト乳剤(ミニトマトも可)	IGR	普•B	_	_	_	_	_	_	•	ハスモン	まけ●	前 日:2回	2,000倍
	19326	モスピランジェット	ネオニコチノイト゛	劇·A	_	_	_	_	ミカンキイロ	アサ゛ミウマ●	•	I	_	前 日:3回(くん煙)	50g/400m ³
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇·A	_	_	_	_	•	•	•	_	_	前 日:3回	2,000倍

(11)ミニトマト

作物名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性·魚毒性	疫病	病灰色かび	葉かび病	病うどんこ	シガブ 類ラム	マガミウ	ミカナジラ	コオオタバ	エハ 類 グ リバ	適正使用基準	使 用 倍 率
	21468	カンタスドライフロアブル	SDHI	普·A	_	•	•	菌核病●	_	_	_	-	_	前 日:3回	1,000~1,500倍
	17697	ゲッター水和剤	ヘ゛ンソ゛イミタ゛ソ゛ール+フェニルカーハ゛メート	普•A	_	•	•	菌核病●	_	_	-	1	1	前 日:3回	1,500倍
	22537	コサイド3000	無機銅	普·B	•	_	1	_	_	_	_	1	1	- : -	1,000倍
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普·C	•	•	•	•	斑点	靑•すすか	び病・炭疹	直病∙輪紋	病●	前 日:2回	1,000倍
	23276	トリフミンジェット	DMI	普·B	_	_	•	_	_	_	_	-	-	前 日:5回(くん煙)	50g/400m ³
=	11574	トップジンM水和剤(トマトも可)	MBC	普•A	_	•	•	菌核病●	_	_	_	-	-	前 日:5回	1,500~2,000倍
_	23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	QoI	普·B	_	•	•	菌核病●	すすかび病	・斑点病●	_	_	_	前 日:3回	2,000~3,000倍
	19100	フルピカフロアブル	AP	普·B	-	•	_	_	_	_	_	_	_	前 日:4回	2,000~3,000倍
	22379	レーバスフロアブル	CAA	普·A	•	_	_	_	_	_	_	_	_	前 日:3回	2,000倍
_	17915	ロブラールくん煙剤	シ゛カルホ゛キシイミト゛	劇∙A	_	•	_	菌核病●	_	_	_	_	_	前 日:3回(くん煙)	100g/300~400m³
マ	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	•	_	•	_	_	前 日:2回	5,000~10,000倍
	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普·C	_	_	_	_	•	_	オンシツコフ	ŀジラミ●	-	前 日:1回	3,000倍
	19842	アファーム乳剤(トマトも可)	マクロライト゛	普·C	_	_	_	_	トマトサヒ	.*\$ =	•	•	•	前 日:5回	2,000倍
	18406	コロマイト乳剤(トマトも可)	マクロライト゛	普·C	_	_	_	_	トマトサヒ	.*\$ =	•	-	•	前 日:2回	1,500倍
	21333	プレオフロアブル(トマトも可)	プロペニルオキシフェニル	普·B	_	_	_	_	ハスモン	∃トウ●	_	•	•	前 日:2回	1,000倍
	19326	モスピランジェット	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	-	_	ミカンキイロア	'サ゛ミウマ●	•	_	ı	前 日:3回(くん煙)	50g/400mื
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	-	_	•	•	•	-	-	前 日:3回	2,000倍
注意事項															

(12)なす

作 物 名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性·魚毒性	黒枯病	灰色かび病	すすかび病	菌核病	うどんこ病	類ブラムシ	類ザミウマ	類コナジラミ	ハ ダ ニ 類	適正使用基準	使 用 倍 率
	23478	バスアミド微粒剤	MITC	劇•A	一年生	雑草・苗立	枯病●	ネコフ゛セン	ノチュウ●	青枯	i病●	半身萎	凋病●	播種又は定植21日前:1回	20~30kg/10a(青枯病 30kg)
	18218	アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイト゛	普∙A	_	_	_	_	_	•	•	_	_	定植時:1回	1~2g/株(植穴又は株元土壌混和)
な	22144	アミスターオプティフロアブル	QoI+クロロニトリル	普∙C	•	•	•	_	•	褐色腐	敗病●	_	_	前 日:4回	1,000倍
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普∙C	•	•	•	_	•	_	_	_	_	前 日:4回	1,000倍
	11574	トップジンM水和剤	MBC	普•A	•	•	_	•	_	_	_	_	_	前 日:5回	1,500~2,000倍
	19100	フルピカフロアブル	AP	普∙B	_	•	_	_	•	_	_	_	_	前 日:4回	2,000~3,000倍
	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普∙C	_	_	カメムシ類	・テントウムシ	⁄ダマシ●	•	_	オンシツコナ	ŀジラミ●	前 日:3回	2,000倍(アブラムシ類2,000~3,000倍)
	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	_	•	•	•	_	前 日:2回	5,000~10,000倍
す	18406	コロマイト乳剤	マクロライト゛	普∙C	_	_	_	_	ハモク゛リハ゛	エ類・チャノホ	トコリダニ●	•	•	前 日:2回	1,500倍
	19326	モスピランジェット	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	_	•	ミナミキイロア	゚サ゛ミウマ●	_	前 日:3回(くん煙)	50g/400m³
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	テントウムシ	ダマシ類●	•	•	•	_	前 日:3回	2,000~4,000倍 (コナシ・ラミ2,000倍、アブ・ラムシ・テントウムシダ マシ類4,000倍)

(13) きゅうり

作 物 名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性·魚毒性	べと病	灰色かび病	うどんこ病	炭疽病	斑点細菌病	黒星病	類アブラムシ	類コナジラミ	ハ ダ 二 類	適正使用基準	使 用 倍 率
	18218	アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイト゛	普·A	_	_	_	_	_	_	•	アサミウ	マ類●	定植時:1回	1~2g/株(植穴又は株元土壌混和)
	20574	アミスター20フロアブル	QoI	普•B	•	•	•	●(2,000倍)	菌核病●	褐斑病●	(2,000倍)	_	_	前 日:4回	1,500~2,000倍(灰かび・菌核1,500倍)
	22144	アミスターオプティフロアブル	QoI+クロロニトリル	普·C	•	•	•	•	_	•	菌核病·神	曷斑病●	_	前 日:4回	1,000倍
	15548	アリエッティ水和剤	ホスホナート	普•A	•	_	_	_	_	1	_	_	_	前 日:3回	400~800倍
き	22537	コサイド3000	無機銅	普·B	軟腐	病●	褐斑細	田菌病●	•	_	_	_	_	- : -	2,000倍 (野菜類)
2	22345	ジマンダイセン水和剤	ジチオカーバメート	普·B	•	疫病・つ	る枯病●	•	褐斑病●	•	_	_	_	前 日:3回	600倍(べと病 600~800倍)
ゆ	14498	スミレックス水和剤	シ゛カルホ゛キシイミト゛	普•A	_	•	菌核	病・つる枯	病●	1	_	_	_	前 日:6回	1,000~2,000倍 (つる枯病 1,000倍)
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普·C	•	•	•	•	褐斑病●	•	_	_	_	前 日:8回	1,000倍
う	11574	トップジンM水和剤	MBC	普·A	_	•	•	•	_	•	菌核	病・つる枯	病●	前 日:5回	1,500~2,000倍
l IJ	19100	フルピカフロアブル	AP	普·B	_	•	•	_	褐斑病●	_	_	_	_	前 日:4回	2,000~3,000倍
	15890	ポリベリン水和剤	抗生物質+ビスグアニジン	普·A	_	•	•	_	褐斑病●	_	アサミウ	マ類●	•	前 日:2回	1,000倍 (うどんこ病 2,000倍)
	20624	ランマンフロアブル	QiI	普·A	•	_	_	_	_	_	_	_	_	前 日:4回	1,000~2,000倍
	20672	アクタラ顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	普∙A	_	_	_	_	ミカンキイロア	'サ゛ミウマ●	•	•	_	前 日:3回	3,000倍 (ミカンキイロ 2,000倍)
	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	アサミウ	マ類●	•	•	_	前 日:3回	5,000~10,000倍
	18406	コロマイト乳剤	マクロライト゛	普·C	_	_	_	_	ハモグリハ	ĭエ類●	_	●(1,500倍)	•	前 日:2回	1,000~1,500倍 (ハモグリ 1,000倍)

注意事項 *きゅうりは、適用農薬がもっとも多い作物であり、誤使用の無いよう適正防除に努める必要がある。

^{*} くん煙剤には、モスピランジェット、ロブラールくん煙剤、トリフミンジェット、スミレックスくん煙顆粒、フルピカくん煙剤などがある。

^{*} アミスター20フロアプルは、高温多湿条件で薬害のおそれあり。

(14)かぼちゃ

作 物 名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性·魚毒性	病 どんこ	べと病	疫病	病褐 斑 細 菌	菌病 現実 斑点細	シア 類ブ ラム	シリハム	_	_	適正使用基準	使 用 倍 率
	15548	アリエッティ水和剤	ホスホナート	普•A	1	•	•	ı	_	_	_			前 日:3回	400~800倍
	17828	イオウフロアブル	無機化合物	普•A	•	_	_	-	_	_	_			- : -	500倍
	4407	園芸ボルドー	無機化合物+無機銅	普•B	_	_	_	_	•	_	_			- :-	500倍
	22537	コサイド3000	無機銅	普•B	-	_	_	•	•	黒腐症	靑∙軟腐病	·斑点細菌	菌病●	- : -	2,000倍 (野菜類)
	23594	ショウチノスケフロアブル	ΑΡ+チアゾリジン	普•B	•	_	_	-	_	_	_			前 日:2回	2,000倍
	21987	ストロビーフロアブル	QoI	普•B	•	•	_	1	_	_	_			前 日:3回	3,000倍
	21111	Zボルドー	無機銅	普•B	1	•	_	•	•	軟腐病・	斑点細菌	病∙軟腐絲	ᅖ菌病●	- :-	500倍 (野菜類)
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普·C	•	•	白斑病●	-	_	_	_			7日前:3回	1,000倍
か	16300	トリフミン水和剤	DMI	普•B	•	_	_	-	_	_	_			前 日:5回	3,000~5,000倍
170	21117	パンチョTF顆粒水和剤	DMI+フェニルアセトアミト゛	普•B	•	_	_	-	_	_	_			前 日:2回	2,000倍
ぼ	22771	フォリオゴールド	PA+クロロニトリル	普·C	-	•	•	-	_	_	_			7日前:3回	1,000倍
ち	19100	フルピカフロアブル	AP	普•B	•	_	_	-	_	_	_			前 日:4回	2,000~3,000倍
	22397	ベトファイター顆粒水和剤	CAA+シアノアセトアミト・オキシム	普•A	1	_	•	-	_	_	_			3日前:3回	2,000倍
ゃ	18821	ベルクート水和剤	ヒ゛スク゛アニシ゛ン	普•A	•	_	_	-	_	_	_			7日前:4回	1,000~2,000倍
	15890	ポリベリン水和剤	抗生物質+ビスグアニジン	普•A	•	_	_	-	_	_	_			7日前:3回	1,000~2,000倍
	19723	モレスタン水和剤	キノキサリン	普•B	•	_	_	-	_	_	_			3日前:3回	2,000~4,000倍
	22772	リドミルゴールドMZ	ジチオカーバメート+PA	普•B	_	•	•	_		_	_			30日前:2回	1,000倍
	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普·C	1	_	_	1	_	•	_			前 日:5回	2,000~3,000倍
	5623	エルサン乳剤	有機リン	劇•Bs	1	1	_	1	_	•	_	アサミウ	マ類●	3日前:3回	1,000~2,000倍(アサミウマ 1,000倍)
	20798	ダントツ水溶剤	ネオニコチノイト゛	普•A	1	1	_	1	_	•	•	カホ゛チャミハ゛エ	(2,000倍)	3日前∶3回	2,000~4,000倍
	16715	マブリック水和剤20	合ピレ	劇•C	1	-	_	ı	_	•	_			21日前:2回	4,000倍
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	1	-	_	ı	_	•	•	カホ・チャミハ・エ	(2,000倍)	前 日:2回	2,000~4,000倍(ウリハムシ 4,000倍)

(15) ほうれんそう

作物名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性・魚毒性	べと病	タネバエ	類アブラムシ	モグリバエアシグロハ	ナダニガコホウレンソ	メイガビノ	_	_		適正使用基準	使 用 倍 率
	15548	アリエッティ水和剤	ホスホナート	普•A	•	白斑	病●	-	-	1				前 日:2回	1,500倍
ほ	22379	レーバスフロアブル	CAA	普•A	•	_	_	_	_	_				3日前:2回	2,000倍
う	22634	ダイアジノン粒剤5	有機リン	普•Bs	_	•	_	_	_	-	ヒメクロユスリカ(●(播種前=	上壌混和)	播種時:1回	6kg/10a(作条土壌混和又は土壌表面散布)
<i>h</i>	18311	フォース粒剤	合ピレ	劇•C	_	_	_	_	•	-	ネキリムシ	グ類●		播種前:1回	9kg/10a (全面土壌混和)
んテ	18500	カスケード乳剤	IGR	普·B	_	_	_	•	•	•	ハスモンヨ	⊪ウ●		3日前:3回	4,000倍
j	4962	スミチオン乳剤	有機リン	普·B	_	_	•	_	•	_				21日前:2回	1,000~2,000倍(コナダ=2,000倍)
	18950	パダンSG水溶剤	ネライストキシン	劇•Bs	_	_	_	•	_	•	ミナミキイロア	サ゛ミウマ●		7日前:2回	1,500倍
注意事項	•	•	•				•				•	,		ドリフトを受けた	いように厳重注意

(16)にんにく

\ 10	/ 1 /) <u> </u>													
作 物 名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性•魚毒性	黄 斑 病	病黒腐菌核	病紅 根腐	さび病	葉枯病	春腐病	シ 類 ラ ム	ネギコガ	チレイ ュセチ ウン サ	\ 	使 用 倍 率
	23478	バスアミド微粒剤	MITC	劇•A	一年生	雑草●	•	白絹病●	_	_	_	_	•	植付28日前:1回	30kg/10a (土壌混和)
1=	20888	ベンレートT水和剤20	ジチオカーバメート+ベンゾイミダゾール	普·C	_	•	_	_	_	_	_	_	•	植付前:1回	種球重量の0.5~1%(イモグサレは1%)
ا	21111	Zボルドー	無機銅	普·B	白斑葉	枯病●	_	•	_	•	_	_	_	— : —	500倍
ľ	3316	アグリマイシンー100	抗生物質+抗生物質	普∙A	_	_	_	_	_	•	_	_	_	7日前:3回	1,000倍
<	20574	アミスター20フロアブル	QoI	普·B	_	_	_	•	•	_	_	_	_	7日前:3回	2,000倍
	15744	カッパーシン水和剤	抗生物質+無機銅	普·B	_	_	_	_	-	•	_	_	_	7日前:5回	1,000倍

	22345	ジマンダイセン水和剤	ジチオカーバメート	普•B	1	白斑葉枯症	∮●(400倍)	_	•	1	_	1	I	7日前:5回	400~500倍
1 (21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普∙C	•	白斑葉	枯病●	•	•	1	_	1	1	7日前:6回	1,000倍
ん ん	15890	ポリベリン水和剤	抗生物質+ビスグアニジン	普•A	•	_	_	_	•	_	_	_	_	3日前:3回	1,000~1,500倍
15	19992	オルトラン水和剤	有機リン	普•A	-	_	_	_	_	_	•	•	1	7日前:2回	1,000倍
\	13426	トクチオン乳剤	有機リン	普•B	_	_	_	_	_	_	_	•	_	14日前:3回	1,000倍
	16715	マブリック水和剤20	合ピレ	劇·C	_	_	_	_	_	_	•	•	_	3日前:2回	2,000倍

(17) アスパラガス

作物名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性·魚毒性	茎 枯 病	斑 点 病	シア 類ブ ラム	ヨトウン	ショトウム	ハ ダ 二 類	シ ク ビ ナ ガ ハ ム	_	ı	適正使用基準	使 用 倍 率
	21987	ストロビーフロアブル	QoI	普•B	_	•	_	_	-	1	_			前 日:3回	2,000倍
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普·C	•	•	疫病●	褐斑病●	_	1	_			前 日:4回	1,000倍
구	11574	トップジンM水和剤	мвс	普·A	•	_	立枯病●	_	_	_	_			7日前:5回	1,000倍
	22631	フロンサイドSC	ピリジナミン	普·C	•	•	_	_	_	_	_			収穫後:5回(露地限定、秋期まで)	2,000倍
/%	22579	ベフラン液剤25	ヒ、スク・アニシ、ン	劇·A	•		_	_	_	_	_			収穫後:5回(冬期まで)	1,000倍
 ラ	20889	ベンレート水和剤	ヘ゛ンソ゛イミタ゛ソ゛ール	普·B	•	_	株腐病●	_	_	_	_			前 日:4回	2,000倍
ガス	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普·C	_	_	•	_	•	1	•	カメムシ類●		前 日:3回	2,000倍 (ハムシ・カメムシ 2,000~3,000倍)
^	19842	アファーム乳剤	マクロライト゛	普·C	_	-	_	•	•	1	_	オオタハ゛	゙ コカ ゛●	前 日:2回	2,000倍
	19186	コテツフロアブル	L°ロール	劇·C	_	_	_	•	•	•	•	オオタハ゛	゚コカ゛●	前 日:2回	2,000倍
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇·A	_	_	•	_	コナジラ	ミ類●	•	アサミウ	マ類●	前 日:2回	4,000倍

(18)し そ

作 物 名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性·魚毒性	さ び 病	類ブラムシ	ヨトウムシ	トウモンヨ	ハ ダ ニ 類	サシ ビ ダ ニ	リチ ギャノ ホコ	類ザミウマ	_	適正使用基準	使 用 倍 率
	16300	トリフミン水和剤	DMI	普•B	•	_	_	_	-	_	-	_		収穫開始10日前:3回	5,000倍
	16589	アグロスリン乳剤	合ピレ	劇·C	_	•	_	_	_	_	_	ヒシモンヨ	ハイ	7日前:1回	2,000倍
	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普·C	_	•	•	•	コナジラミ	類・ウリハムシ	/モドキ●	•		5日前:2回	4,000倍
	18562	アドマイヤーフロアブル	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	•	_	_	_	_	_	_		3日前:3回	4,000倍
そ	19842	アファーム乳剤	マクロライト゛	普·C	_	_	•	•	•	•	_	_		7日前:2回	2,000倍
	18406	コロマイト乳剤	マクロライト゛	普·C	_	_	_	_	•	サビダニ類●	•	_		前 日:2回	2,000倍
	20179	スピノエース顆粒水和剤	スピッノシン	普•B	_	_	_	_	_	_	_	•		3日前:3回	10,000倍

(19) 未成熟そらまめ

作 物 名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性・魚毒性	立枯病	輪紋病	さび病	アブラムシ	ヨトウ	1	-	-	ı	適正使用基準	使 用 倍 率
未	22345	ジマンダイセン水和剤	ジチオカーバメート	普•B	_	•	•	_	_					30日前:3回	400~600倍
成	21111	Zボルドー	無機銅	普•B	べと病●	赤色斑	[点病●	_	_					- : -	500倍(そらまめ・野菜類)
熟	10332	タチガレン液剤	ヒト゛ロキシイソキサソ゛ール	普•A	•	_	_	_	_					播種後~生育期・30日前∶3回	500倍 (200ml/株、株元灌注)
À	18562	アドマイヤーフロアブル	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	•	_					7日前:3回	4,000倍
ま	4962	スミチオン乳剤	有機ツ	普•B	マメシンクイカ゛	`●(1,000~	~1,500倍)	•		カメムシ・シロ	コイチモシ゛マタ	゛ラメイカ゛●		3日前:3回	1,000倍(アブラムシ類1,000~2,000倍)
め	19616	ゼンターリ顆粒水和剤	BT(アイザワイ系)	普•A	_	_	_	_	●(1,000倍)	まり	ムシー			前 日:一(発生初期)	1,000~2,000倍 (野菜類)

(20)さやいんげん

作 物 名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性·魚毒性	灰色かび病	菌核病	さ び 病	アブラムシ	ハ ダ ニ 類	類がミウマ	_	_	_	適正使用基準	使 用 倍 率
5	18218	アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイト゛	普∙A	_	_	_	•	_	_				定植時~播種時:1回	1~2g/株(6kg/10aまで 植穴土壌混和)
やい	8178	ダイアジノン乳剤40	有機リン	劇•Bs	_	_	_	•	•	_				7日前:3回	1,000~2,000倍 (アブラムシ 1,000倍)
ل) د	17801	ダニトロンフロアブル	METI	普∙C	_	_	_	_	•	_				前 日:1回	1,000~2,000倍
げ	16094	ニッソラン水和剤	成長阻害剤	普•B	_	_	_	_	•	_				前 日∶2回	2,000倍
<i>\lambda</i>	2280	マラソン乳剤	有機リン	普•B	ハモク゛リハ゛エ类	頁・マメシンクイカ゛・	·カメムシ類●	•	•	•	インケンテ	· ントウ● (2,	000倍)	7日前:3回	2,000~3,000倍 (ハモグリ・マメシン・カメ 1,000倍)
注意事項			•	•			•		•	•	•			•	

(21) 未成熟とうもろこし(スイートコーン)

作物名	農薬番号	農薬名	系 統 名	毒性·魚毒性	すす紋病	苗立枯病	類 ブラムシ	ガアワノメイ	アワヨトウ	類ハリガネムシ	-	_	_	適正使用基準	使 用 倍 率
	20604	キヒゲンRー2フロアブル	ジチオカーバメート	普·C	_	•	カラス・キシ	·・ハト・キシブ	、 `ト•ムクト゛リ	- スズメ●				播種前:1回	原液20ml/1kg (種子塗沫)
<u> </u>	21409	クルーザーFS30	ネオニコチノイト゛	普•A		ı	_	_		•	タネハ	Ì.		播種前:1回	乾燥種子1kg当り原液6ml(塗沫処理)
未成	22634	ダイアジノン粒剤5	有機ツ	普•Bs		ı	_	_		_	ネキリム	グ類●		出芽時:1回	6kg/10a
熟	20888	ベンレートT水和剤20	シ゛チオカーハ゛メート+ヘ゛ンソ゛イミタ゛ソ゛ール	普·C	_	•	_	_	_	_				播種前:1回	乾燥種子重量の0.5% (種子粉衣)
لح	16300	トリフミン水和剤	DMI	普∙B	•	_		_	_	_				7日前:3回	2,000~4,000倍
う	16589	アグロスリン乳剤	合ピレ	劇·C	_	_	•	•	•	_				7日前:3回	1,000~2,000倍 (アワヨトウ 1,000倍、アブラムシ2,000倍)
もろ	18562	アドマイヤーフロアブル	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	-	•	_	_	_				14日前:2回	4,000倍 (無人へ) 64倍も可)
	5623	エルサン乳剤	有機リン	劇・Bs	_	ı	_	•	_	_				14日前:4回	1,000倍
し	18500	カスケード乳剤	IGR	普∙B	_	1	_	•	オオタハ	゛コカ゛●				7日前:2回	2,000~4,000倍(オオタハ゛コカ゛4,000倍)
っ ス	20406	ゲットアウトWDG	合ピレ	劇∙C	_	1	•	•	•	_	カメムシ	類●		7日前:3回	3,000倍
1	17167	トレボン乳剤	合ピレ	普•B	_	1	_	•	•	_				7日前:4回	1,000倍
	18950	パダンSG水溶剤	ネライストキシン	劇•Bs	_	1	_	•	_	_				21日前:2回	1,000倍
	21917	フェニックス顆粒水和剤	ジアミト゛	普•B	_	1	_	•	オオタハ	゛コカ゛●				前 日:2回	2,000~4,000倍
1	21719	プリンスフロアブル	フェニルヒ゜ラソ゛ール	劇∙C	_	1	_	•	オオタハ	゛コカ゛●				14日前:2回	2,000倍
ン	22465	プレバソンフロアブル5	ジアミト゛	普·B	_	ı	_	•	オオタハ	゛コカ゛●				前 日:3回	2,000倍
	20641	モスピランSL液剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	•	_	_	_				前 日:3回	4,000~6,000倍
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	•	_	_	_				前 日:3回	2,000~4,000倍
注意事項	* アブラム	▲シ類は、絹糸抽出期以降7~10日間	鬲で2回散布する。ただし、高	温年は発生量が	が増加する	るので、	追加防除	を検討する	5.						

(22) すいか

(22	<i>)</i> 9	, ' /J'													
作 物 名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性・魚毒性	苗立枯病	うどんこ病	べと病	炭疽病	つる枯病	褐斑細菌病	菌核病	アブラムシ類	ハダニ類	適正使用基準	使用倍率
	18218	アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイト゛	普·A	_	_	_	_	アサミウ	₹類●(1~	2g/株)	•	_	定植時:1回	1~5g/株(植穴土壌混和)但し、3kg/10aまで
	10332	タチガレン液剤	ヒト゛ロキシイソキサソ゛ール	普∙A	•	<u> </u>	_	_	_	T - 1	_	_	_	播種直後:1回	500~1,000倍(3L/㎡ 苗床灌注)
	15744	カッパーシン水和剤	抗生物質+無機銅	普•B	-	•	果実	汚斑細菌	病●	•	ı	_	_	前 日:5回	1,000倍
	22290	シグナムWDG	QoI+SDHI	普•C	1	•	_	•	•	_	•	褐色腐	敗病●	前 日:3回	1,500~2,000倍(菌核・褐色腐敗 1,500倍)
	22345	ジマンダイセン水和剤	シ゛チオカーハ゛メート	普•B	疫病●	_	•	•	•	•	ı	ı	_	7日前:7回	400~600倍
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普·C	-	_	_	•	•	_	-	_	_	3日前:5回	700~1,000倍(炭疽病 700倍)
	20990	テーク水和剤	DMI+ジチオカーバメート	普·B	_	•	_	•	•	_	_	_	_	7日前:5回	600~800倍
す	11574	トップジンM水和剤	MBC	普·A	_	_	_	•	_	_	•	_	_	前 日:5回	1,500~2,000倍
	21117	パンチョTF顆粒水和剤	DMI+フェニルアセトアミト*	普•B	_	•	–	_	–	_	_	_	–	前 日:2回	2,000倍
い	19884	ベルクートフロアブル	ヒ゛スク゛アニシ゛ン	普•A	1	•	_	•	•	_	•	ı	_	前 日:4回	1,000倍
か	20081	ボトキラー水和剤	微生物農薬	普•—		•	灰色か	び病●	_	_	ı	ı	_	発病前~発病初期: -	1,000倍(野菜類)
/3.	22772	リドミルゴールドMZ	ジチオカーバメート+フェニルアミト゛	普•B	_	_	_	_	_		_	褐色腐	敗病●	7日前:3回	1,000倍(※発病を見たら、治療)
	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	_	_	_	アサ゛ミウ	マ類●	•	_	3日前∶3回	5,000~10,000倍
	21812	ウララDF	ピリジンカルホ゛キサミト゛	普·A	_	_	_	_	_	_	_	•	_	前 日:2回	2,000~4,000倍
	17801	ダニトロンフロアブル	METI	普·C	_	_	_	_	_	_	_	_	•	前 日:1回	1,000~2,000倍
	20818	ハチハチ乳剤	METI	劇•C	_	•	_	コナジラ	ミ類●	アサ゛ミウ	マ類●	•	_	前 日:2回	1,000~2,000倍(うどんこ・コナジラミ1,000倍)
	18345	ピラニカEW	METI	劇•C	_	_	_	_	_	_	_	_	•	3日前:1回	2,000~3,000倍
	16715	マブリック水和剤20	合ピレ	劇•C	_	_	_	_	_	_	_	•	•	3日前:2回	2,000倍(アプラムシ類4,000倍)
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	_	_	アサミウ	マ類・ウリノ	メイカ゛• ウリハ	ムシ・コナジラ	ミ類●	•	_	3日前∶3回	2,000~4,000倍(メイガ・コナジラミ2,000倍、ハムシ4,000倍)
注意事項	* アブラム	ムシ類は、発生を見たら早めに葉裏ま	まで散布すること。 ハダニ類は褚	J発生から周囲の)雑草を含	含めて葉夏	長にもかけ	·、同一薬	劉の連	用を避ける	Do				

|注意事項||*アフラムシ類は、発生を見たら早めに枼表まで散布すること。ハタニ類は初発生から周囲の雑草を含めて枼表にもかけ、同一楽剤の連用を避ける。

(資料:1) 無人ヘリコプター散布用農薬

(主な薬剤)

作物名	適用病害虫	農薬番号	農		名	反当薬価	インな条件 が 希釈倍数	散布液量	毒性•魚毒性	使用時期	使用回数
	V	7290	カスミン液剤			178	8倍	0.8L/10a	普·A	穂揃期まで	2回
		19065	コラトップ 1:		12	2,255	_	1kg∕10a	普·A	出穂30~5日前(穂いもち)	2回
	いもち病	21817	ビームエイ			202~323	5~8倍	0.8L∕10a	普·A	収穫 7日前	3回
		18756	ブラシンゾノ	レ		357	8倍	0.8L ∕ 10a	普•A	収穫 7日前	2回
_l, T=0		21471	キラップフロ	コアブル	☆	411~823	8~16倍	0.8L/10a	普·A	収穫14日前	2回
水稲	カメムシ	22367	ダントツEX	フロアブノ	ル	287~430	24~36倍	0.8L / 10a	普·A	収穫 7日前	3回
		19670	トレボンスカ	bイMC	☆ ※	459	16倍	0.8L∕10a	普·B	収穫14日前	3回
		22636	ダブルカット	トレボンフ	フロアブル	704	8倍	0.8L / 10a	普·B	穂揃期まで	2回
	いもち病・カメムシ類	21745	ビームエイ	トトレボン	ゾル ☆	705	5倍	0.8L ⁄ 10a	普·B	収穫14日前	3回
		22927	ブラシンキラ	ラップフロ	アブル	758	8倍	0.8L / 10a	普•A	収穫14日前	2回
		22266	モンカットベ	「フランフ」	ロアブル	869	4倍	0.8L/10a	劇•B	根雪前	2回
	雪腐小粒菌核病	19043	リゾレックス	ベフランフ	フロアブル	843	6倍	0.8L / 10a	劇•A	根雪前	2回
		20285	シルバキュ	アフロア	ブル	426	16倍	0.8L∕10a	普·B	根雪前	1回
秋小麦	褐色雪腐病	20624	ランマンフロ	コアブル		821	8倍	0.8L/10a	普•A	根雪前	3回
秋小友	赤かび病	17725	チルト乳剤	25		467	8倍	0.8L / 10a	普·B	収穫 7日前	3回
	W.O.W	20285	シルバキュ	アフロア	ブル	426	16倍	0.8L∕10a	普·B	収穫 7日前	2回
	ヒメトヒ゛ウンカ	17541	トレボンエア	7—		448	8倍	0.8L∕10a	普·B	収穫14日前	2回
	赤かび病	14228	トップジンⅣ	1ゾル		509	8倍	0.8L∕10a	普·A	収穫14日前	3回/出穂期以降2回
とうもろこし	アブラムシ類	22669	アドマイヤー	一顆粒水	和剤	584	80倍	1.6L∕10a	劇·A	収穫14日前	2回
	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	18562	アドマイヤー	ーフロアブ	ブル	476 ~ 953	64倍	1.6∼3.2L∕10a	劇·A	収穫14日前	2回
未成熟とうもろこし	アブラムシ類	20641	モスピラン9	SL液剤		615	64倍	3.2L∕10a	劇·A	収穫14日前	3回
		22345	ジマンダイ	セン水和剤	削	376	8倍	1.6L∕10a	普·B	収穫21日前	5回
	褐斑病	22344	グリーンダイ	イセンMフ	火和 剤	236	8倍	1.6L∕10a	普·B	収穫21日前	5回
てんさい		22926	ホクガード乳	乳剤		438	24倍	1.6L∕10a	普·B	収穫14日前	2回
	ヨトウムシ	19670	トレボンスカ	bイMC		917	16倍	1.6L∕10a	普·B	収穫14日前	3回
	1 1 1	19992	オルトランス	水和剤		453	16倍	1.6L∕10a	普•A	収穫45日前	移植後3回以内
ばれいしょ	疫病	20624	ランマンフロ	コアブル		821	32倍	3.2L∕10a	普•A	収穫 7日前	4回
	アフ゛ラムシ類	22669	アドマイヤー	一顆粒水	和剤	584	80倍	1.6L∕10a	劇•A	収穫14日前	2回
キャベツ	コナガ	17734	ノーモルト乳	礼剤		1,175	16倍	1.6L∕10a	普·B	収穫 7日前	2回
アスハ [°] ラカ゛ス	茎枯病	21111	Zボルドー			2,244	8倍	8L/10a	普·B	_	_
,,,,,,,,,,,	斑点病	19884	ベルクートフ	フロアブル	<u>ا</u>	1,599	8倍	1.6L∕10a	普·A	14日前	5回
			クリンチャー	-1キロ粒斉	引(移植)	1,820		kg/10a	普·B	移植後7日~ノビエ4葉	2回
		19190				2,730		5kg/10a	普·B	移植後25日~ノビエ5葉	2回
水稲	水田雑草		クリンチャー	-1キロ粒斉	引(直播)	1,820		kg/10a	普·B	播種後10日~ルゴ3葉	2回
除草剤	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •					2,730		5kg/10a	普·B	播種後25日~/ビエ4葉	2回
調整剤		23719	アッパレZ1=			2,905		kg/10a	普•A	移植直後~20日	1回
			アッパレZ1		(直播)	2,905		kg/10a	普•A	イネ1葉期~ノビエ3.0葉期	1回
	節間短縮・倒伏軽減	18829	ビビフルフロ	コアブル		2,134	原液100mlを	水0.8Lに希釈/10a	普•A	出穂10~2日前	1回

他作物には、大豆、小豆、たまねぎ、だいこん、やまのいも、などへの無人へり散布用農薬がある。

☆は、ピュアライス用(R2は2品種「ななつぼし・きたくりん」とも同じ) ☆※はピュアライス、きたくりんのみ使用可能。

(資料:2) 速度連動式地上液剤少量散布用農薬(パンクル)

(主な薬剤)

(貝介(-乙)	处汉是到北地	<u>— //Д/13,</u>	<u>ノ エ </u>		1 . 2 / 10/	<u></u>		(工は来別)		
作物名	適用病害虫	農薬番号	農薬	名	反当薬価	希釈倍数	散布液量	毒性·魚毒性	使用時期	使用回数
	いもち病	21691	ビームゾル		320	300倍	25L/10a	劇•A	7日前	3回
	いつりが	19165	ブラシンフロアブル		367	300倍	25L/10a	普•A	7日前	2回
		21471	キラップフロアブル	☆	411	500倍	25L/10a	普•A	14日前	2回
水稲	カメムシ類	20798	ダントツ水溶剤		272	1, 000倍	25L/10a	普•A	7日前	3回
八八十日		17167	トレボン乳剤	☆ ※	354	600倍	25L/10a	普•B	14日前	3回
		22636	ダブルカットトレボン	フロアブル	587	300倍	25L/10a	普•B	穂揃期まで	2回
	いもち病・カメムシ類	21745	ビームエイトトレボン	ンゾル ☆	612~918	120~180倍	25L/10a	普•B	14日前	3回
		22927	ブラシンキラップフロ	コアブル	633	300倍	25L∕10a	普•A	14日前	2回
		20285	シルバキュアフロア	ブル	426	500倍	25L/10a	普•B	7日前	2回
小麦	 赤かび病・赤さび病	23500	リベロ水和剤(赤か	びのみ)	439	500倍	25L/10a	普•B	7日前	3回
小女	WW.OW.WCOW	11574	トップジンM水和剤(赤	まかびのみ)	483	250倍	25L/10a	普•A	14日前	3回(出穂期以降2回)
		17725	チルト乳剤25(赤さ	びのみ)	234 ~ 467	250~500倍	25L∕10a	普•B	3日前	3回
		15744	カッパーシン水和剤	IJ	508	200倍	25L/10a	普•B	7日前	5回
	 褐斑病	22582	グリーンペンコゼブ	水和剤	225	125倍	25L/10a	普•B	21日前	5回
	TEJ JAL 714	23935	どさんこスター水和	剤	606	125倍	25L/10a	普•B	21日前	4回
		22926	ホクガード乳剤		365	450倍	25L/10a	普•B	14日前	2回
てんさい		19992	オルトラン水和剤		378	300倍	25L/10a	普•A	45日前	3回
		21303	カウンター乳剤		313	750倍	25L/10a	普•B	7日前	2回
	ヨトウムシ	20406	ゲットアウトWDG		253	750倍	25L/10a	劇•C	14日前	4回
		22630	ベジホン乳剤		434	400倍	25L/10a	劇•C	21日前	4回
		23643	ペイオフME液剤		259	500倍	25L/10a	劇 : C	14日前	4回

8. 水稲除草剤・成長調整剤使用ガイド

注意事項:ピュアライス栽培では、別途栽培基準による。(ななつぼし・きたくりん2品種共「ピラクロン1キロ粒剤・FL+アッパレZ1キロ粒剤・FL・ジャンボ」に限定・・☆印)

(1)移植後土壌処理剤

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

☆・・ピュアライス該当除草剤

塗りつぶしは、新規掲載

処理法(剤型)	農薬番号	除草剤	」名	反当薬価 (円/10a)	毒性·魚毒性	成 分 名 (%)	使用時期(ノビエ葉期)	使 用 量
	18567	ソルネット1キロ粒剤		746	普∙B	プレチラクロール4	+0~+5 (LI1.0)	1kg/10a(※移植同時可)
	18163	エリジャン乳剤		841	普•B	プレチラクロール12	+0~+5 (LI1.0)	300ml/10a
	22680	シング乳剤		1,063	普∙B	ピリブチカルブ12、プレチラクロール8	+0~+5(比工始)	300ml/10a
移植後土壌処理	19853	草笛フロアブル		1,408~2,347	普•B	クミルロン27.4、ペントキサゾン8.2	+0~+5 (LI1.0)	500ml(体系300ml)/10a
	23199	ホットコンビフロアフ	ブル	1,106~1,843	普•B	テニルクロール4.0、ヘ`ンソ`ヒ`シクロン4.0	+0~+10 (t11.5)	500ml(体系300ml)/10a
	18717	ユニハーブフロアブ	゚ル	1,849	普•B	プ [°] レチラクロール5、ヘ [*] ンソ [*] フェナップ [°] 20	+0~+5 (tI1.0)	500ml/10a(※移植同時可)
	22087	ピラクロン1キロ粒	刹 ☆	1,325	普∙A	ピラクロニル1.8	+0~+10 (t11.5)	1kg/10a(※移植同時可)
	22088	ピラクロンフロアブル	レ☆	1,407	普∙A	ピラクロニル3.6	+0~+10 (t11.5)	500ml/10a(※移植同時可)
	23733	ピラクロンジャンボ	☆	1,644	普∙A	ピラクロニル6.0	+0~+10 (t11.5)	300g/10a
注意事項	* 砂質土壌	{や、減水深が2cm/日	以上の水田	日、軟弱苗を	移植した水田でし	- は薬害のおそれがあるので注意する。		※各剤「移植後30日まで」
	*雑草の多	い水田では、土壌処理	甲剤を適量	・適期に使用	しておき、一発剤	引もしくは中期処理剤と体系使用が望ましい。		塗りつぶしは、新規掲載

(2)初期~初中期一発剤

1キロ粒剤	23719	アッパレZ1キロ粒剤 ☆	2,905	普•A	プロピリスルフロン0.9、ピラクロニル2.0、ブロモブチド9.0	+0~+20 (と12.5)	1kg/10a(※移植同時可)
	19749	"ウリホス1キロ粒剤"	2,551	普·B	ジメタメトリン0.6、ピラゾレート18、プレチラクロール3、ベンフレセート3	+0~+10 (ヒエ1.5)	1kg/10a
	24063	"エンペラー1キロ粒剤"	2,876	普•一	ピラクロニル2.0、ピリミノバックメチル0.75、フェンキノトリオン3.0	+0~+20 (ヒエ2.5)	1kg/10a(※移植同時可)
	23977	"ジャイロ1キロ粒剤"	2,883	普·B	イプフェンカルバゾン2.5、ベンソ゛ビシクロン3.0、ベンソ゛フェナップ。8.0	+0~+20 (ヒエ2.5)	1kg/10a(※移植同時可)
	22148	バッチリ1キロ粒剤	2,636		イマソ゛スルフロン0.9、ピラクロニル2.0、フ゛ロモフ゛チト゛9.0	+0~+15 (ヒエ2.0)	1kg/10a(※移植同時可)
	24062	"ベルーガ1キロ粒剤"	2,609		ピリミノバックメチル0.9、フェンキノトリオン3.0	+0~+20 (tI2.5)	1kg/10a(※移植同時可)
フロアブル剤	23716	アールタイプフロアブル	3,029		メタソ、スルフロン1.1、ピラソ・レート18.2、ヘンソ・ビシクロン3.6	+3~+15 (ヒエ2.0)	500ml/10a
	23778	アッパレZフロアブル ☆	2,974		プロピリスルフロン1.フ、ピラクロニル3.フ、ブロモブチド16.8	+3~+20 (t12.5)	500ml/10a
	24154	"エンペラーフロアブル"	2,971	普•−	ピラクロニル3.7、ピリミノバックメチル1.4、フェンキノトリオン5.6	+0~+20 (t12.5)	500ml/10a (※移植同時可)
	23978	"ジャイロフロアブル"	2,959	普·B	イププェンカルバンン4.5、ヘンツビシクロン5.4、ヘンゾフェナップ14.3	+0~+15 (tI2.0)	500ml/10a (※移植同時可)
	23816	天空フロアブル	3,368	普•-	フェントラサ゛ミト゛6.0、ヘ゛ンソ゛ヒ゛シクロン6.0、メタソ゛スルフロン1.2	+0~+20 (t12.5)	500ml/10a (※移植同時可)
	22149	バッチリフロアブル	2,679	普∙A	イマソ゛スルフロン1.7、ピラクロニル3.7、フ゛ロモフ゛チト゛16.3	+0~+15 (tI2.0)	500ml/10a (※移植同時可)
	24170	"ベルーガフロアブル"	2,642	普•−	ピリミノバックメチル1.7、フェンキノトリオン5.6	+0~+20 (t12.5)	500ml/10a (※移植同時可)
	23795	<u> ^</u> "ボデーガードプロフロアブル" <u> </u>	3,035	普•A	トリアファモン0.97、 <u>ヘテフリルトリオン5.8 人(水口、ボート専用)</u>	+5~+25 (と13.0)	500ml/10a
	24167	"マスラオフロアブル"	2,999	普•─	イマソ、スルフロン1.7、ピリミノハ、ックメチル1.2、フェンキノトリオン5.8	+0~+20 (ヒエ2.5)	500ml/10a(※移植同時可)
ジャンボ剤	23720	アッパレZジャンボ ☆	3,349		プロピリスルフロン、ピラクロニル、ブロモブチド	+3~+20 (tI2.5)	400g/10a
	24074	"エンペラージャンボ"	3,131	普•−	ピラクロニル8.0、ピリミノバックメチル3.0、フェンキノトリオン12.0	+0~+20 (t12.5)	250g/10a
	22287	バッチリジャンボ	2,981		イマソ゛スルフロン2.25、ピラクロニル5.0、ブロモブチド22.5	+0~+15 (ヒエ2.0)	400g/10a
豆つぶ剤	24073	"エンペラー豆つぶ250"	2,965	普•-	ピラクロニル8.0、ピリミノバックメチル3.0、フェンキノトリオン12.0	+0~+20 (と12.5)	250g/10a
	24199	"ベルーガ豆つぶ250"	2,642	普•一	ピリミノバックメチル3.6、フェンキノトリオン12.0	+0~+20 (と12.5)	250g/10a
	23552	"ヤブサメ豆つぶ250"	2,923	普•A	ピラクロニル6.0、ピリミスルファン2.0、フェノキサスルホン6.0	+3~+15 (と12.0)	250g/10a
注意事項	* 適期散布	Fが必要である。ヒエ、ホタルイなど	発生始から	1.5葉期に散布す	ることが効果を安定させるために重要となる。		※各剤「移植後30日まで」

*水深3~5cmの湛水状態で散布し、散布後3~4日間は水深を保ち、田面を露出させない。その後も落水しない。

また、かけ流し潅漑をしない。強風時の散布も避ける。除草効果安定のためには、中干しは必要以外避けるべきである。

- *農薬名に「""」を附してある薬剤は非SU剤であり、ミズアオイ、ホタルイなど抵抗性のある雑草が多い水田では、効果が安定している。
- * 介テフリルトリオンを含有するフロアブル剤は手振り散布やノズル散布を行うと強い薬害が生じるので水口施用かボートで散布を行う。

(3)中期剤(主としてSM剤)

ヒエ専用	19190	クリンチャー1キロ粒剤	1,820	普∙B	シハロホッププチル1.8	移植後15~35(ヒエ4.0) 1kg/10a
SM剤等	22422	ザーベックスDX1キロ粒剤	2,293	普∙B	シメトリン4.5、ベンフレセート6、MCPB2.4、シハロホップ゚ブチル1.5	移植後20~30(ヒエ3.0)イネ5.5葉以上 1kg/10a
ジャンボ剤	23867	セカンドショットSジャンボMX	3,377	普•A	アシ゛ムスルフロン0.36、ヘ゜ノキススラム0.36、メソトリオン2.0	移植後20~35(ヒエ3.5) 500g/10a
注意事項	*晴天で水	温の高いときに5cm程度の止め水	にして均一	に散布する。		

*除草効果安定のため、移植後土壌処理剤との体系処理が望ましい。

(4)後期剤・藻類用

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

処理法(剤型)	農薬番号	除草剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性·魚毒性	成 分 名 (%)	使用時期(ルェ葉期)	使 用 量
	23114	アトトリ1キロ粒剤	2,909	普•A	ピリミスルファン0.75(収穫45日前まで)	移植後20~40(ヒエ4.0まで)	1kg/10a(湛水散布)
	23843	アトトリ豆つぶ250	2,909	普•A	ピリミスルファン3.0(収穫45日前まで)	移植後20~40(ヒエ4.0まで)	250g/10a(湛水散布)
	16124	バサグラン液剤	2,017~2,823	普•A	ベンタゾン40 (収穫50日前まで)	移植後25~55	500~700ml/10a(2回以内)
※ #□ ★□	16117	バサグラン粒剤	3,393~4,524	普•A	ベンタゾン11 (収穫60日前まで)	移植後20~45	3 ~ 4kg/10a
後期剤	19195	クリンチャーEW	1,936	普•B	シハロホップブチル30(収穫30日前まで)	移植後25~40(ヒエ6.0)	100ml(展着剤加用)/10a
	22086	ワイドアタックSC	3,887	普•A	ペノキススラム3.6(収穫30日前まで)	移植後25~40(ヒエ5.0まで)	100ml/10a
	19200	クリンチャーバスME液剤	4,227	普•B	シハロホッププチル3、ベンタゾン20 (収穫50日前まで)	移植後25~40(ヒエ5.0)	1,000ml/10a
	4015	粒状水中MCP	1,050	普∙B	MCPAエチル1.2 (収穫60日前まで)	幼穂形成始期	3kg/10a
藻 類	9109	モゲトン粒剤	1,540~2,310	普•Bs	ACN9 (収穫45日前まで)	藻類発生始期~発生盛期	2~3kg/10a

注意事項 *バサグラン液・粒、クリンチャーバスME、ワイドアタックSCは、落水またはごく浅水状態にして、散布後3日以上そのままにする。また、低温時に使用しない。

- *初期~初中期一発剤を使用してオモダカの残草が多い場合は、バサグラン液剤、粒状水中MCP、ワイドアタックSC等を適期に用いる。
- *クリンチャーEWはヒエ専用剤で持続期間は短い。使用直前に希釈し、展着剤を加用する。
- *粒状水中MCPは、水温の高いときに5~6cmの止め水として散布する。1日おいて深水にする。

(5)直播用除草剤

<u> </u>	1 /13					
初期一発剤	23719	アッパレZ1キロ粒剤	2,905	普•A	プロピリスルフロン0.9、ピラクロニル2.0、ブロモフ・チト・9.0	稲1葉期~LI2.5葉まで 1kg/10a
	23778	アッパレZフロアブル	2,974	普•A	プ゚ロピリスルフロン1.7、ピラクロニル3.7、ブロモブチド16.8	稲1葉期~ヒエ2.5葉まで 500ml/10a
	22148	バッチリ1キロ粒剤	2,636	普•A	イマソ、スルフロン0.9、ヒ。ラクロニル2.0、フ・ロモフ・チト、9.0	出芽始期~tI2葉まで 1kg/10a
	22149	バッチリフロアブル	2,679	普•A	イマソ゛スルフロン1.7、ピラクロニル3.7、フ゛ロモフ゛チト゛16.3	出芽始期~tI2葉まで 500ml/10a
乾田直播用	19642	ノミニー液剤	1,204~2,408	普•-	ビスピリバックナトリウム塩 2.0	は種後10~ヒエ4.5葉まで 100~200ml/10a
注音重佰	* ノミニ―海	割は薬害が発生しやすいので散布滴	即を冰さかいよ	うに注音する	※バッチリ アッパレフけ収穫90日前まで ノミニ―海剤け収穫	60日前主で

(6)苗床用除草剤

苗床用	11044 サターン乳剤	-	普•B	ベンチオカーブ50 (播種後出芽前「雑草発生前」:1回)	100倍液、238ml/坪(13ml/箱)					
н м л	19195 クリンチャーEW	_	普•B	<u>シハロホッププチル30 (播種後10日~ノビエ5葉期:1回)</u>	1,000倍液、330ml/坪(18ml/箱)					
注意事項	*噴霧器を用い散布ムラの無いよう散布する。ミスト機の使用は避ける。									
	*クリンチャーEWは、ヒエの発生が部分的である場合、ヒエの無い部分は散布しない。									

(7) 畦畔用除草剤

	1	I - 1 - 10 - 10 - 10		14	1. A. J.	
	21766	ラウンドアップマックスロード	378~946	普∙A	┃グリホサートカリウム塩48(畦畔雑草生育期草丈30cm以下)┃収穫前日:3回	200~500ml/10a(1年生雑草)
畦 畔 用	22580	クサトリキング	264~527	普∙A	グリホサートイソプロピルアミン塩41(雑草生育期草丈30cm以下) 収穫14日前:2回	250~500ml/10a(1年生雑草)
	22161	タッチダウンiQ	387~773	普·A	グリホサートカリウム塩44.7(雑草生育期草丈30cm以下) 収穫14日前:2回	250~500ml/10a(1年生雑草)
	7684	MCPソーダ塩	230	普·A	MCPAナトリウム塩19.5 (雑草生育期・草丈30cm以下) 収穫14日前:3回	200g/100L(スキ*ナ含)
注意事項	* ラウント・アッ	プマックスロードは、多年生イネ科雑草	₹500 ~ 1,000m	ıl、スギナ1,500~	·2,000ml/10a。少量散布(25~50L)は専用噴口を使用。	
	* グリホサート	を含む剤による多年生雑草の防障	余は、1,000ml	/10aとする。		
	* 移植前は	に使用する。畦畔以外に飛散させた	い。崩れる可	「能性のある畔」	畔ではのり面に使用しない。	

(8)植物成長調整剤(水稲)

育苗調整	18009	スミセブンP液剤	-	普•B	ウニコナソ [*] ールP0.025	催芽直前:1回	250倍15~24時間種子浸漬
	17224	スマレクト粒剤	1,991~2,986	普•A	パクロブトラゾール粒剤0.6	出穂7~20日前∶1回	2~3kg/10a(湛水散布)
節間短縮	18829	ビビフルフロアブル	1,601~2,134	普•A	プ゚ロヘキサジオンカルシュウム塩1.0	出穂10~2日前:1回	75~100ml/7k50~150L/10a
	19761	ビビフル粉剤DL	1,952~2,603	普•A	プロヘキサシ オンカルシュウム塩0.12	出穂10~5日前:1回	3∼4kg/10a
直播発芽率向上	17423	カルパー粉粒剤16	_	普•A	過酸化カルシウム16.0	播種前、浸種後:1回	乾籾重と等~2倍量 (湿粉衣)

注意事項 * ビビフルフロアブルの少量散布75~100ml/水25~50L/10a、ラジヘリ散布100ml/水800ml/10a登録あり。

*カルパーのコーティング種子は処理後十分乾燥し、処理後2日以内に播種する。

9. 畑作除草剤・成長調整剤使用ガイド

(1)秋小麦除草剤

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

	農薬番号	除草剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使用時期	適正使用	使用回数
		ガルシアフロアブル	718~1,794	普•B			雑草発生前~始期	1回
		ガレース乳剤	1,481~1,851	普·Bs		播種後出芽前	雑草発生前	. 通算1回
		ガレース乳剤 (*雑草茎葉散布兼)	741~1,111	普·Bs			雑草発生前~始期	∫ 煙井「凹
全面土壌		ガレースG	2,640~3,300	普·Bs	4 ~ 5 kg/10a	播種後発芽前	雑草発生前	1回
■土岡土塚		ゴーゴーサン乳剤	1,041~1,735	普•B	300∼500ml/10a	播種後~小麦2葉期まで	イネ科雑草1葉期迄	1回(後作に注意)
月入1リ	16458	ゴーゴーサン細粒剤F	2,630~3,156	普•B	5 ~ 6 kg/10a	播種後出芽前	雑草発生前	1回(後作に注意)
	7327	トレファノサイド乳剤	909~1,364	普·Bs	200∼300ml/10a	播種後~小麦3葉まで	イネ科雑草1葉期迄	2回
	22775	ボクサー	1,034~1,293	普•B	400∼500ml/10a		雑草発生前~始期	2回
	22776	ムギレンジャー乳剤	1,189~2,379	普•B			雑草発生前	1回
	8089	アクチノール乳剤	557 ~ 1,114	普•C	100 ~ 200ml∕10a		雑草生育初期	2回以内
	20184	エコパートフロアブル(*大豆間作用)	425 ~ 849		50 ~ 100ml/10a		収穫45日前	- 通算2回以内
雑草茎葉	20184	エコパートフロアブル	425 ~ 637	普•A			収穫45日前	
散布		MCPソーダ塩	230~345	普•A	<u> </u>		収穫45日前	1回
	18081	ハーモニー75DF水和剤	2,109~2,812	普•A			収穫45日前	1回
	16124	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	403~807	普∙A			収穫45日前	1回
耕起前		ラウンドアップマックスロード	378~946	普•A			耕起前	3回
雑草		タッチダウンiQ	773 ~ 1,546	普•A			耕起3日以前	1回
茎葉散布	22580	クサトリキング	527~1,054	普•A	500 ~ 1,000ml∕10a	耕起前雑草処理(畑地多年生雑草、草丈30cm以下)	耕起7日前	1回

注意事項 *エコパートフロアブルは、展着剤を混用してはならない。

また、同剤を「間作小麦」の除草剤として使用する場合は、大豆収穫後とする。

- *ハーモニー75DF水和剤は、タンクやホース内に薬液が残らないよう使用後は速やかに専用の洗浄剤または消石灰で良く洗浄する。
- * 耕起前雑草処理では、散布後効果の発現は1~2週間を要する。
- * 耕起前雑草茎葉散布には、通常水量(100L)散布と少水量(25~50L)散布の登録がある。

農薬のラベル内容を 確認しましょう

(2)春小麦除草剤

	農薬番号	除草剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使 用 時 期	適正使用	使用回数
		ガルシアフロアブル(*雑草茎葉散布)	1,436	普•B	200ml/10a	* 小麦1~3葉期	雑草発生始期	1回
	19638	ガレース乳剤	1,481 ~ 1,851	普•Bs	200 ~ 250ml∕10a	播種後出芽前	雑草発生前	通算1回
全面土壌	19638	ガレ―ス乳剤(*雑草茎葉散布兼)	741 ~ 1,111	普•Bs	100∼150ml/10a	* 小麦1~3葉期	雑草発生前~始期	∫ 煙井「凹
散布	19880	ガレースG	2,640~3,300	普•Bs	4 ~ 5 kg/10a	播種後発芽前	雑草発生前	1回
月入1月	22176	ゴーゴーサン乳剤	1,041~1,735	普•B	300∼500ml/10a	播種後~小麦2葉期まで	イネ科雑草1葉期迄	1回(後作に注意)
	16458	ゴーゴーサン細粒剤F	2,630~3,156	普•B	5 ~ 6 kg/10a	播種後出芽前	雑草発生前	1回(後作に注意)
	22775	ボクサー	1,034~1,293	普•B	400~500ml ∕ 10a	▲ 播種後出芽前~出芽揃期	雑草発生前~始期	2回
	8089	アクチノール乳剤	557 ~ 1,114	普∙C	100 ~ 200ml∕10a	穂ばらみ期まで	雑草生育初期	2回以内
雑草茎葉散布		MCPソーダ塩	230~345	普•A	200∼300 g/10a	春小麦の5葉期	収穫45日前	1回
	16124	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	403~807	普•A	100~200ml/10a	麦類の生育期(雑草3~6葉期)	収穫45日前	1回

(3)大豆除草剤

(0/)(11)	711							
	農薬番号	除草剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使 用 時 期	適正使用	使用回数
全面土壌	22350	フルミオWDG	439~878	普•A	5 ~ 10 g/10a	播種後出芽前(一年生広葉雑草)	雑草発生前	1回
散布	22596	ラクサー乳剤	1,513~3,025	普•B	400~800ml/10a	播種後出芽前(一年生雑草)	雑草発生前	1回
維草茎葉又は全面土壌	20023	パワーガイザー液剤	890~1,335	普•A	200∼300ml/10a	出芽直前~出芽揃期	雑草発生始~揃期	1回
畔間雑草茎葉散布	20023	パワーガイザー液剤	890 ~ 1,335	普•A	200∼300ml/10a	生育期(雑草発生揃期~2葉期)	収穫30日前	1回
	15992	ナブ乳剤	705	普•B	200ml/10a	イネ科雑草6~8葉期(スズメノカタビラ除く)	収穫30日前	1回
雑草茎葉	19966	ポルトフロアブル	577 ~ 865	普•Bs	200∼300ml/10a	イネ科雑草3~10葉期(スズメノカタビラ除く)	収穫30日前	1回
散布	22577	セレクト乳剤	590 ~ 843	普•A	35 ~ 50 ml/10a	イネ科雑草3~5葉期(イネ科5~8葉期,50~75ml/10a)	収穫50日前	1回
	21487	大豆バサグラン液剤(ナトリウム塩)	433~650	普•A	100∼150ml/10a	大豆2葉期~開花前(雑草生育初期~6葉期)	収穫45日前	1 回

注意事項 *フルミオWDGは、タンクやホース内に薬液が残らないよう使用後は速やかに専用の洗浄剤または消石灰で良く洗浄する。

- *パワーガイザー液剤は薬害を助長するのでイネ科雑草用茎葉処理剤や有機リン、有機塩素系殺虫剤との混用や10日以内の近接散布を避ける。 *パワーガイザー液剤には展着剤を加用しない。 * セレクト乳剤のみ、スズメノカタビラにも効果がある。(使用量50~75ml/10a)
- *大豆バサグランは300~500ml/10aで生育期の畦間処理も可。

(4)小豆除草剤

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

	農薬番号	除草剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性•魚毒性	使 用 量	使 用 時 期	適正使用	使用回数
全面土壌処理	20558	ビンサイド乳剤	946~1,146	普•A	330∼400ml/10a	播種後2~5日(畑地一年生広葉雑草)	雑草発生前	1回
雑草茎葉又は全面土壌	20023	パワーガイザー液剤	890~1,335	普•A			雑草発生始~揃期	1回
雑草茎葉	15992	ナブ乳剤	528 ~ 705	普∙B	150 ~ 200ml∕10a	イネ科雑草3~5葉期(イネ科雑草6~8葉,200ml)	収穫14日前	2回
散布	19966	ポルトフロアブル	577 ~ 865	普•Bs	200∼300ml/10a	イネ科雑草3~8葉期	収穫50日前	1回
fX1J	22577	セレクト乳剤	590 ~ 843	普•A	35 ∼ 50ml/10a	イネ科雑草3~5葉期(スズメノカタビラ,50~75ml/10a)	収穫45日前	1回

- 注意事項 *ビンサイド乳剤、パワーガイザー液剤は、砕土・整地・覆土を丁寧・均一に行う。砂質土壌では使用を控える。土壌の過乾燥は効果が劣り、過湿は薬害が出やすい。
 - * パワーガイザー液剤は特に使用時期を守り、展着剤は加用しない。 * パワーガイザー液剤は薬害を助長するのでイネ科雑草用茎葉処理剤や有機リン、有機塩素系殺虫剤との混用や近接散布を避ける。
 - *セレクト乳剤のみ、スズメノカタビラにも効果がある。(使用量50~75ml/10a)

(5)てんさい除草剤

移植栽培	農薬番号	除草剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使用時期	適正使用	使用回数
雑草兼土壌散布	9979	レナパック水和剤	1,738~2,607	普•A	200∼300 g/10a	活着後、中耕後(雑草発生始期)	収穫60日前	2回
	22019	ベタナール乳剤	1,444~1,733	普•B	500 ~ 600ml∕10a	活着後、中耕後(雑草発生揃期)	収穫60日前	3回
雑草茎葉	23041	ベタハーブフロアブル	2,296~3,214	普∙B	500 ~ 700ml∕10a	活着後(雑草発生揃期)	収穫60日前	3回
散布	22820	ベタダイヤS乳剤	2,586	普∙B	500ml/10a	活着後(雑草発生揃期)(水量50~100L/10a)	収穫90日前	1回
	22577	セレクト乳剤	590 ~ 843	普•A	35 ∼ 50ml/10a	1年生イネ科雑草3~5葉期(スズメノカタビラ,50~75ml/10a)	収穫30日前	2回

直播栽培	農薬番号	除草剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使 用 時 期	適正使用	使用回数
土壌散布		デュアールゴールド	747 ~ 1,067		70 ~ 100ml/10a		雑草発生前	2回
工物从巾	22777	フィールドスターP乳剤	861	普•A	75ml/10a	1年生イネ科雑草 出芽揃期	雑草発生前	1回
雑草兼土壌散布	9979	レナパック水和剤	1,738	普•A	200g/10a	本葉2葉期	雑草発生始期	· 通算2回以内
	9979	レナパック水和剤	1,738~2,607	普•A	200∼300 g/10a	中耕後(雑草発生始期)	収穫60日前	∫ 世界 2 凹 以 內
	22999	ハーブラックWDG *	1,700~2,380	普•A	250∼350 g/10a	雑草発生始期~揃期(てんさい2葉期以降)	収穫30日前	5回
	22019	ベタナール乳剤 *	1,444~1,733	普•B	500~600ml/10a	第2本葉展開後、中耕後(雑草発生揃期)	収穫60日前	3回
雑草茎葉	23041	ベタハーブフロアブル(*の混合製剤)	1,837~2,755	普•B	400∼600ml/10a	第2本葉展開後(雑草発生揃期)	収穫60日前	3回
散布	22577	セレクト乳剤(移植栽培も可)	590 ~ 843	普•A	35 ~ 50ml∕10a	1年生イネ科雑草3~5葉期(スズメノカタビラ,50~75ml/10a)	収穫30日前	2回
	15992	ナブ乳剤(移植栽培も可)	705	普•B	200ml/10a	1年生イネ科雑草6~8葉期(スズメノカタビラ除く)	収穫60日前	2回
	19966	ポルトフロアブル(移植栽培も可)	577 ~ 865	普•Bs	200∼300ml/10a	1年生イネ科雑草3~8葉期	収穫30日前	2回
	19966	ポルトフロアブル(移植栽培も可)	721 ~ 865	普•Bs	250~300ml/10a	多年生イネ科雑草3~6葉期(レッドトップ、シバムギ等)	収穫30日前	2回

- 注意事項 *レナパック水和剤の使用では、専用展着剤「レナテン」を100~150ml加用し、十分攪拌して、さらに時々攪拌しながら散布する。
 - *移植栽培でのベタナール乳剤の散布適期は、移植後20~25日頃で、雑草が大きくなると極端に効果が劣るので適期散布する。
 - *ベタダイヤS乳剤は、高温時の散布は薬害の恐れがあるので注意する。

*レット・トップ、シハ、ムキ、へのナフ、乳剤は300~400ml/10aも可。

*ベタナール乳剤は10a当たり50~80L・ベタダイヤS乳剤は、10a当たり50~100Lとする。乾燥条件ではやや多めの水量とする。また、水量が多くなると薬液調整後の時間経過により結晶が生じやすくなり、ノズルを詰まらせるので薬液調整後は速やかに散布する。

ドリフトの無いように

(6)小麦成長調整剤

	農薬番号	薬剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使用時期	適正使用	使用回数
	23589	サイコセルPRO(秋まき小麦)	561 ~ 748	劇•A		*****	(水量 100L/10a)	1回
	23589	<i>II</i>	748 ~ 1,121	劇•A	200 ~ 300ml∕10a	出穂前20~10日(小麦の草丈40~60cm)	(水量 100L/10a)	1回
	23589	サイコセルPRO(春まき小麦)	561	劇•A			(水量 100L/10a)	1回
茎葉散布	20871	カルタイムフロアブル(秋・春まき小麦)	1,233~1,643	普•A	150~200ml/10a(秋まき)、150ml/10a(春まき)/止葉期~出穂始期	(水量 100L/10a)	1回
全未取训		エスレル10(秋まき小麦)	1,233~2,053	<u></u> • \(\tag{-1} \)	200~333ml/100L/10a	止葉期~出穂始期		1回
	10000		.,200 2,000		200~333ml/25L/10a		(水量 25Lまたは100L/10a)	• •
	13038	エスレル10(春まき小麦)	1,233~2,053	<u>₩</u> •Δ	200~333ml/100L/10a	止葉期~出穂始期	(,,, <u>=</u> 1510,,210,1002, 100,	1回
	10000		.,233 2,000	P /\	200ml/25L/10a			. 🖴

- 注意事項 *エスレル10の出穂始期とは出穂20%まで、また、専用ノズルを使用した少量散布も可。
 - *いずれの剤も散布適期を逃さないよう留意し、指定の薬量・濃度を守り均一散布につとめ、重複散布はしない。
 - *サイコセルPROは、高温時の散布は薬害を生じることがあるので、日中の散布を避ける。

10. 野菜類除草剤・成長調整剤使用ガイド

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。 注意事項:イエスクリーン(Yes!clean)栽培では、別途栽培基準による。

						江心 子供・エハノ ノ		
作物名	農薬番号	除草剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性·魚毒性	使 用 時 期	使 用 量	適正使用基準	YES!clean
	19651	アグロマックス水和剤	2,475~3,712	普∙A	定植直後:雑草発生前(キク科、カヤツリグサ科を除く)	200~300 g/10a	10	☆
キャベツ	22777	フィールドスターP乳剤	521 ~ 781	普∙A	定植後:雑草発生前	50∼75ml/10a	定植後10日まで 1回	☆
サヤベン	15992	ナブ乳剤	528 ~ 705	普·B	イネ科雑草の3~5葉(スズメノカタビラを除く)	150∼200ml/10a	収穫14日前まで 1回	☆
	22577	セレクト乳剤	843~1,265	普•A	イネ科雑草の3~5葉	50 ~ 75ml/10a	収穫30日前まで 1回	☆
注意事項	* フィルドス・	タ―P乳剤は、イネ科雑草およびハコ	べに効果がある	。セル成型苗	に使用できる。アカザ科、タデ科、アブラナ科雑草に効!	果が劣る。		
	19651	アグロマックス水和剤	2,475~3,712	普·A	定植後:雑草発生前(キク科、カヤツリグサ科を除く)	200~300 g/10a	定植14日後まで 1回	☆
ブロッコリー	22777	フィールドスターP乳剤	521 ~ 781	普∙A	定植後:雑草発生前	50∼75ml/10a	収穫30日前まで 1回	☆
	15992	ナブ乳剤	528 ~ 705	普·B	イネ科雑草の3~5葉(スズメノカタビラを除く)	150~200ml/10a	収穫7日前まで 1回	☆
注意事項	* フィルドス・	ターP乳剤は、イネ科雑草およびハコ	べに効果がある	。セル成型苗	に使用できる。アカザ科、タデ科、アブラナ科雑草に効!	果が劣る。		塗りつぶしは、新規掲載
	19651	アグロマックス水和剤	3,712	普∙A	定植後:雑草発生前(キク科、カヤツリグサ科を除く)	300 g/10a	収穫45日前まで 2回	☆
	19651 15443	アグロマックス水和剤 グラメックス水和剤	3,712 1,161~2,321		定植後:雑草発生前(キク科、カヤツリグサ科を除く) 定植活着後:雑草発生前	300 g/10a 100~200 g/10a	収穫45日前まで 2回 収穫90日前まで 1回	本
			,	普·A		_		
	15443	グラメックス水和剤	1,161~2,321	普·A	定植活着後:雑草発生前	100~200 g/10a	収穫90日前まで 1回	☆
たまわぎ	15443 22176	グラメックス水和剤 ゴーゴーサン乳剤	1,161~2,321 1,041~1,735	普·A 普·Bs	定植活着後:雑草発生前 定植後:雑草発生前	100~200 g/10a 300~500ml/10a	収穫90日前まで 1回 収穫30日前まで 1回	*
たまねぎ	15443 22176 7327	グラメックス水和剤 ゴーゴーサン乳剤 トレファノサイド乳剤	1,161~2,321 1,041~1,735 909~1,364	普·A 普·Bs 普·Bs	定植活着後:雑草発生前 定植後:雑草発生前 定植後	100~200 g/10a 300~500ml/10a 200~300ml/10a	収穫90日前まで 1回 収穫30日前まで 1回 収穫75日前まで 2回	☆ ☆ ☆
たまねぎ	15443 22176 7327 9512	グラメックス水和剤 ゴーゴーサン乳剤 トレファノサイド乳剤 トレファノサイド粒剤2.5	1,161~2,321 1,041~1,735 909~1,364 2,177~2,722	普·A 普·Bs 普·Bs	定植活着後:雑草発生前 定植後:雑草発生前 定植後 定植後	100~200 g/10a 300~500ml/10a 200~300ml/10a 4~ 5 kg/10a	収穫90日前まで 1回 収穫30日前まで 1回 収穫75日前まで 2回 収穫75日前まで 2回	\$ \$ \$ \$ \$ \$
たまねぎ	15443 22176 7327 9512 22775	グラメックス水和剤 ゴーゴーサン乳剤 トレファノサイド乳剤 トレファノサイド粒剤2.5 ボクサー	1,161~2,321 1,041~1,735 909~1,364 2,177~2,722 1,034~1,293	普·A 普·Bs 普·Bs 普·Bs	定植活着後:雑草発生前 定植後:雑草発生前 定植後 定植後 定植後又は中耕後:雑草発生前	100~200 g/10a 300~500ml/10a 200~300ml/10a 4 ~ 5 kg/10a 400~500ml/10a	収穫90日前まで 1回 収穫30日前まで 1回 収穫75日前まで 2回 収穫75日前まで 2回 収穫45日前まで 2回	☆ ☆ ☆ ☆ ☆
たまねぎ	15443 22176 7327 9512 22775 8089	グラメックス水和剤 ゴーゴーサン乳剤 トレファノサイド乳剤 トレファノサイド粒剤2.5 ボクサー アクチノール乳剤	1,161~2,321 1,041~1,735 909~1,364 2,177~2,722 1,034~1,293 557~836	普·Bs 普·Bs 普·Bs 普·C	定植活着後:雑草発生前 定植後:雑草発生前 定植後 定植後 定植後又は中耕後:雑草発生前 生育期:雑草生育初期	100~200 g/10a 300~500ml/10a 200~300ml/10a 4 ~ 5 kg/10a 400~500ml/10a 100~150ml/10a	収穫90日前まで 1回 収穫30日前まで 1回 収穫75日前まで 2回 収穫75日前まで 2回 収穫45日前まで 2回 収穫30日前まで 2回	* * * * * *
たまねぎ	15443 22176 7327 9512 22775 8089 15992 22577	グラメックス水和剤 ゴーゴーサン乳剤 トレファノサイド乳剤 トレファノサイド粒剤2.5 ボクサー アクチノール乳剤 ナブ乳剤	1,161~2,321 1,041~1,735 909~1,364 2,177~2,722 1,034~1,293 557~836 528~705	普·Bs 普·Bs 普·Bs 普·B·B	定植活着後:雑草発生前 定植後:雑草発生前 定植後 定植後 定植後又は中耕後:雑草発生前 生育期:雑草生育初期 イネ科雑草の3~5葉(スス*メノカタセ*ラを除く)	100~200 g/10a 300~500ml/10a 200~300ml/10a 4 ~ 5 kg/10a 400~500ml/10a 100~150ml/10a 150~200ml/10a	収穫90日前まで 1回 収穫30日前まで 1回 収穫75日前まで 2回 収穫75日前まで 2回 収穫45日前まで 2回 収穫30日前まで 2回 収穫14日前まで 2回	☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

- 注意事項 * *ゴーゴーサン乳剤・粒剤は薬量が多いと生育が抑制されることがある。又、土壌が極端に乾燥している場合は、希釈水量を多めとするか、降雨後に散布する。

- *ゴーゴーサンは後作に「かぼちゃ等ウリ科・ほうれんそう・そば」は避ける。いずれも畑地1年生雑草対応、但し残りやすい草種があるので注意。
- *ボクサーは癒着症状が現れる可能性があるため、高温時の散布や、茎葉処理除草剤との混用、近接散布などを避ける。
- *アクチノール乳剤は散布時期が遅れると薬害がでることがある。散布には除草剤専用ノズルを使用する。

	22176	ゴーゴーサン乳剤	694~1,041	普•B	定植後:雑草発生前(1年生雑草)	200~300ml/10a	定植10日後まで 1回	露地☆
	16458	ゴーゴーサン細粒剤F	2,104~3,156	普•B	定植後:雑草発生前(1年生雑草)	4 ∼ 6 kg/10a	定植10日後まで 1回	軟白☆ 露地☆
	15992	ナブ乳剤	528 ~ 705	普•B	イネ科雑草の3~5葉(スズメノカタビラを除く)	150∼200ml/10a	収穫30日前まで 1回	露地☆
ねぎ	7327	トレファノサイド乳剤	909~1,364	普∙Bs	定植後:雑草発生前(1年生雑草※ツュクサ科、カヤツリグ・サ科、キク科、アフ・ラナ科を除く)	200∼300ml/10a	収穫30日前まで 2回	露地☆
	21766	ラウンドアップマックスロード	378~946	普•A	<u> </u>	200∼500ml/10a	収穫30日前まで 3回	露地☆
	22161	タッチダウンiQ	387~773	普•A	<u> </u>	250∼500ml/10a	収穫 7日前まで 3回	露地☆
	22580	クサトリキング	264~527	普•A	<u> </u>	250∼500ml/10a	収穫30日前まで 3回	露地☆

注意事項 *ゴーゴーサンは、春まき露地移植栽培に限る。又、後作に「かぼちゃ等ウリ科・ほうれんそう・そば」は生育抑制があるので避ける。

- *ゴーゴーサン細粒剤Fは、軟白ねぎにも使用可。 *ナブ乳剤は、効果発現まで7~10日かかる。
- * ↑ ラウンドアップマックスロード・タッチダウンiQ・クサトリキングは畦間処理に使用し、作物にドリフトすることがないように散布すること。
- *トレファノサイド乳剤は雑草茎葉処理効果は期待できないので土壌処理で使用する。ツユクサ、キク科、タデ科、アブラナ科雑草には効果が劣る。

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

作物名	農薬番号	除草剤名	反当薬価 (円/10a)	毒性·魚毒性	使用時期	使 用 量	適正使用基準 YES!clean
	14683	センコル水和剤	1,157~1,735	普•A	萌芽前~始期又は収穫打切後(雑草発生前~雑草4、5葉期)	100~150 g/10a	10
°=±*-	15443	グラメックス水和剤	1,161~2,321	普•A	萌芽前又は収穫後(雑草発生前)	100∼200 g/10a	10
アスパラガス	20958	バスタ液剤	939 ~ 1,564	普•A	雑草生育期萌芽前又は畦間処理		収穫前日まで 2回
	15992	ナブ乳剤	528 ~ 705	普∙B	イネ科雑草の3~5葉(スズメノカタビラを除く)	150 ∼ 200ml/10a	収穫前日まで 1回
注意事項	* センコル水	、和剤は甜菜、アブラナ科野菜に飛散	させないこと。き	ぎ葉展開期後	こは薬害がでるのでそれ以前に散布する。		
	* バスタ液剤	は雑草茎葉に均一散布、散布後6時	間以内の降雨	が予想される	寺は避ける。作物にかからないよう留意。		
だいこん	7327	トレファノサイド乳剤	682~909	普•Bs	播種直後(露地栽培)	150∼200ml/10a	1回
1_070	15992	ナブ乳剤	528 ~ 705	普∙B	イネ科雑草の3~5葉(スズメノカタビラを除く)	150∼200ml/10a	収穫14日前まで 1回
注意事項	*トレファノナ	ナイド乳剤は、散布後土と混和すると、	、薬害が生じや ⁻				
はくさい	9512	トレファノサイド粒剤2.5	2,177~3,266	普•Bs	定植前(植穴掘前)	4 ~ 6 kg/10a	1回
注意事項	* 土壌に混和	知しない(土壌表面処理)。トレファノナ	ナイド粒剤はツコ	Lクサ科、キク	科、カヤツリグサ科、アブラナ科には効果が劣る。		
	22818	デュアールゴールド	747 ~ 1,387	普•B	播種後出芽前(雑草発生前)	70 ~ 130ml/10a	10
	22819	ゲザノンゴールド	879 ~ 1,633	普·B	マルチ前・は種前・は種後発芽前(雑草発生前)	140∼260ml/10a	10
とうもろこし			0,000		生育期(とうもろこし2~4葉期)	7 10 2001111/ 100	
		ラッソ一乳剤	697 ~ 1,394	_	播種後出芽前	200~400ml/10a	1回 ※茎葉散布(作物1~2葉期,イネ科雑草2葉期まで)
	22777	フィールドスターP乳剤	861 ~ 1,378		播種後発芽前(雑草発生前)/一年生雑草(アカザ科・アプラナ科・タデ科を除く)	75 ∼ 120ml/10a	
	22777	フィールドスターP乳剤	861 ~ 1,378	普·B	とうもろこし出芽直前~2葉期(イネ科雑草2葉期まで)/一年生雑草	75 ∼ 120ml/10a	J 2027 121
注意事項		一ンにも使用可能。					
	*いずれの薬	薬剤も、土壌が乾燥していると効果が	劣る。また、砂土	土系の土壌で	は薬害がでやすいので使用を避ける。		
		ゴーゴーサン乳剤	694 ~ 1,041	-		200~300ml/10a	10
ばれいしょ		センコル水和剤	1,157	_	植付直後~萌芽期	100 g/10a	10
		ナブ乳剤	528 ~ 705		イネ科雑草の3~5葉(スズメノカタビラを除く)	150~200ml/10a	収穫前日まで 2回
注意事項	* センコル水	(和剤は、散布当年の後作物(だいこ	ん・はくさいなど)は栽培を避け	ける。		
	*ゴーゴーサ	トン乳剤では、うり科作物、ほうれ ん草	草の後作を避ける	る。また、ツユゲ	ウサ、キク科雑草に効果が劣る。		

(野菜類成長調整剤)

作物名	農薬番号	薬	剤	名	反当薬価 (円/10a)	毒性·魚毒性	ĺ	使 用	時	期	使 用 量	適正使用基準	YES!clean
ばれいしょ	5884	石灰窒素50	(石灰	窒素粉剤)	_	普·B	茎葉黄変期				10 ~ 15kg/10a	注① 1回	
14166,04	20677	デシカン乳剤	ij		416~749	普·B	茎葉黄変期				250 ~ 450ml/10a	収穫3日前 2回	
注意事項													
	*注①の適	正使用法をラベ	いで確	軽認するなどの	必要がある。								
	* デシカン乳	L剤は、土壌が	極端に	乾燥している	時や、散布後降雨	雨が予想される	るときは使用を避け	る。効果	は3日	位で発現し8~10日	で完了する。		
	* デシカン乳	L剤は、1回目:	開花期	後30日以降	(茎葉繁茂期)450)ml、2回目:1	回目の3~6日後に	⊏250∼4	50mlŧ	可、但し収穫3日前ま	で。		
トマト	11762	トマトトーン			_	普·A	開花前3日~開	花後3	日位		50倍又は100 倍	1花房 1回	
注意事項	注意事項 *処理時に生長点や若葉にかからないように注意する。												
	* 1花房の3~5花位開花した時期に均一に散布する。低温時50倍(20℃以下)、高温時100倍(20℃以上)で散布する。												

11. 果 樹 類 防 除 ガ イ ド (マイナー作物グループ化)

(1)果樹類・作物指定無し

くいずれの果樹類でも、病害虫の種類に応じた薬剤が使用できる>

作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性• 魚毒性	ケムシ類	ハ ダ 二 類	類マキムシ	ムシ類シャクトリ	癒合促進		_	ı	_	_	適正使用基準	使用倍率
	13411	トップジンMペースト	ヘ゛ンソ゛イミタ゛ソ゛ール	普•A	_	_	_	_	•	ı	-	-	_	_	剪定整枝時:3回	原液塗布
果樹類	20609	アカリタッチ乳剤	プロピレングリコール	普•B	_		_	1	-	ı	1	1	-	_	前日:一	1,000~2,000倍
	19885	エスマルクDF	BT(クルスターキー系)	普∙A		_		•	-	-	-	_	_	_	発生初期、前日:一	2,000~3,000倍(シャクトリ・ケムシ2,000倍)
作物指定	19616	ゼンターリ顆粒水和剤	BT(アイザワイ系)	普•A	_	_		_	_	_	_	_	_	_	発生初期、前日:一	1,000倍
無し	19899	デルフィン顆粒水和剤	BT(バチルス系)	普•A	●(1,000倍)	_	●(2,000倍)	_	_	ı		ı	_	_	発生初期、前日:一	ケムシ1,000倍、ハマキ2,000倍
	14459	トアロー水和剤CT	BT(クルスターキー系)	普•A	_	_		_	_	-	-	-	_	_	発生初期、前日:一	500~1,000倍

参考事項(1) 果樹類(作物指定無し)登録農薬「農薬名のみ」

コンフューザー、NCS、石灰硫黄合剤、スカシバコンL、スパイデックス、ハマキコンN、バクテローズ

バイオリサ・カミキリ、クオークフロアブル

(2)小粒核果類

果樹類(作物指定無し)からも選択して使用できる

								-1-1-1-1				,,,,,				
作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性· 魚毒性	類カイガラムシ	キクイムシ類	コスカシバ	す す 斑 症	すす斑病	灰色かび病	灰星病	環紋葉枯病	黒星病	葉炭そ病・大は、	適正使用基準	使用倍率
			有機リン	普•B	_			_	_	-	ı	_	_	_	休眠期(落葉後~萌芽前):1回	100倍
小 粒		スプラサイド乳剤40	有機リン キャプ・タン	劇•B		-	ı	_	_	-	ı	1	_	_	14日:2回	1,500倍
	21292	オーソサイド水和剤80	キャプ・タン	普·C	_	1	_		_	1	-	_		_	21日:3回	800~1,000倍(すす斑病800倍)
核果類	11574	トップジンM水和剤	MBC	普•A	_	_	_	_	_	-					21日:3回 *1,500倍(黒星病・身	黒粒枝枯病1,000~1,500倍)
	18821	ベルクート水和剤(うめ、すもも除く)	グアニジン	普•A	_	_	-	_						_	30日:3回	2,000倍
注意事項	•			•		すもも等の	の「ふくろる	ター病」には	、石灰硫黄	責合剤∶発	芽前/14	0倍散布(登録)			

注意事項 参考事項(2) 果樹類(小粒核果類)登録農薬「農薬名のみ」

トップジンMペースト、オーシャイン水和剤、モスピラン顆粒水溶剤、オリオン水和剤、石灰硫黄合剤、ダイアジノン水和剤、スカウトフロアブル、マイトコーネフロアブル、トモノールS。

(3)ブルーベリー

果樹類(作物指定無し)からも選択して使用できる

作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性• 魚毒性	シ 類 幼 虫	ムイガラ	ガマ イ マ イ	エジシ ョョ ウウ バ	斑 点 病	病医かび	_	_	_	_	適正使用基準	使用倍率
		ダイアジノン粒剤5	有機リン	普•Bs	•	_	_	_	_	_	ı	_	_	_	14日:2回	6kg/10a(株元土壌混和)
	22151	ダーズバンDF	有機リン	劇·C	_		_	_	_	_	_	_	_	_	14日:2回	3,000倍
		サイアノックス水和剤	有機リン	普•B	ı	ドクガ●		_	_	_	I	_	_	_	30日:2回	1,000倍
ブルーベリー		アディオンフロアブル	有機リン 有機リン 合ピ・レ	普·C	ı	-	1		_	_	I	_	_	_	前 日:2回	2,000倍
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイト゛	劇•A	ı	-	1		_	_	ı	_	_	_	前 日:1回	4,000倍
		オキシラン水和剤	キャプ。タン+銅	普·C	ı	-	1	_		_	I	_	_	_	収穫終了後~落葉期:3回	600倍
名 之 事语(0)		ストロビードライフロアブル	QoI	普·B	_	_	_	_	•		_	_	_	_	14日:2回	3,000倍

参考事項(3)

[、]「ブルーベリー」の登録・・・バイオトピア、デルフィン顆粒水和剤。

(4) 自 家 用 果 樹 の 防 除 法 :果樹類(作物指定無し)に掲載された薬剤は病害虫の種類に応じ散布可能である。

<u>く広範囲に使える薬剤を抽出></u>

作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性• 魚毒性	りんご	なし	ぶどう	お うとう	プ・す ラ も ム も	うめ	リブールーベ	プハ ス カ ッ
果樹	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普·C		アブラムシ類、シンクイムシ類 ハマキムシ類 カメムシ類				アプラムシ類		ハマキムシ アブラムシ類
	4962	スミチオン乳剤	有機リン	普•B	ヒメシンクイ、アメリカシロヒトリ	アブラムシ類、カメムシ類 シンクイムシ類、クワコナカイガラ ハマキムシ類、ナシグンバイ	アブラムシ類、ハマキムシ類 フタテンヒメヨコバイ、クワコナカイガラ プドウスカシバ、キンケクチブトゾウムシ	アブラムシ類、ナシグンバイ ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ		アブラムシ類 アメリカシロヒトリ ハマキムシ類		
殺虫剤	14459		BT (クルスターキー系)		ハマキムシ類 ヒメシロモンドクガ	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類
	19616	ゼンターリ顆粒水和剤 果樹類:作物指定無し	BT(アイザワイ系)	普·A	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類
果樹	18821	ベルクート水和剤	イミノクタシン	普•A	斑点落葉病、すす斑病	黒斑病、うどんこ病 黒星病 輪紋病		灰星病	灰星病	すす斑病、枝枯病 灰色かび病、灰星病 黒星病、環紋葉枯病		
	11574	トップジンM水和剤	チオファーネートメチル		黒星病、褐斑病 うどんこ病、腐らん病	黒星病、輪紋病 うどんこ病 腐らん病	灰色かび病、黒とう病 褐斑病、晩腐病、芽枯病 うどんこ病	灰星病 せん孔病 幼果菌核病	灰星病 せん孔病 幼果菌核病	灰星病、黒星病 環紋葉枯病 葉炭疽病		
殺菌剤	4358	石灰硫黄合剤 落葉果樹に登録	石灰+硫黄	普•A	モニリア病、腐らん病 うどんこ病、カイガラムシ類	黒星病 カイガラムシ類 ハダニ類	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫		カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫
	21292	オーソサイド水和剤80	キャプ。タン	普·C	斑点落葉病、黒星病 輪紋病、炭疽病	赤星病、疫病 黒星病、炭そ病 輪紋病	晩腐病、べと病 褐斑病、黒とう病 灰色かび病	褐色せん孔病 灰星病 炭疽病	黒星病 すす斑病	黒星病	灰色かび病 斑点病	
	14498	スミレックス水和剤	シ゛カルホ゛キシ		モニリア病			灰星病	灰星病			
		フロンサイドSC (土壌潅注もあり:注意)	フルアシ゛ナム			黒星病、白紋羽病 黒斑病 輪紋病	晩腐病、黒とう病 枝膨病、べと病 灰色かび病	白紋羽病		黒星病 灰色かび病 白紋羽病		

注意事項

^{*}コサイドボルドー(りんご、ぶどう、おうとう)、ICボルドー(ぶどう、おうとう、うめ)、クプラピットホルテ(なし、りんご)、園芸ボルドー(なし、ぶどう)、Zボルドー(りんご、すもも、ぶどう、おうとう、うめ)、などの登録がある。

^{*} ブルーベリーにバイオトピア、オキシラン、デルフィン、"ダイアジノン粒剤5、"サイアノックス水和剤、"ストロビードライフロアブルの登録がある。ハスカップにテルスター、オキシラン、アディオンの登録がある("を附した薬剤は登録拡大)。

^{*}BT剤は、掲載のほかに、果樹類(作物指定無し)の登録で、エスマルクDF、デルフィン顆粒水和剤がある。

^{*} 樹種により適正使用基準および使用倍率を確認し使用すること。

12. 花 き 類(花き類. 観葉植物)防 除 ガ イド

(1)花き類・観葉植物

作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性• 魚毒性	灰色かび病	株腐病	菌 核 病	茎腐病	黒 斑 病	苗 立 枯 病	立 枯 病	うどんこ病	疫 病	半身萎凋病	適正使用基準	使用倍率
			ダンブメット	劇•A	_	•		草●(20~6		•	•		萎凋病●	•	-	20~30kg(青枯病30kg)
		ドロクロール	クロルヒ [°] クリン(80%)	劇•B	—	株枯病●	センチュワ	ウ類・ネキリム	シ類●	萎凋病●	•	青枯	病●	•		圃場2~3ml/穴
花き類		オーソサイド水和剤80 ※1		普∙C	_	_	_	•	-	•	•	_		-	一:8回	600倍
•	18358		炭酸水素が	普•A	_	_	_	_	_		_		_	_	発病初期:一	800倍
観葉植物	17697		ジエトフ+ベンズイミ	普•A	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	一:5回	1,000倍
			DBEDC	普∙B	•	アブラムシ・	<u> ハダニ類●</u>	_	_	_	_	•	_	_	発生初期:8回	500倍
			ヘ゛ンソ゛イミタ゛ソ゛ール	普•A	_	_		_	_	_	_	_	_	_	一:5回	1,500倍
殺菌剤			へ゜ハ゜ニヒ゜リム	普•B	•			<u>ばら、スター</u>	-チス、宿	根かすみそ	う、ゆり、	<u>、りんどうを</u>	<u>-</u> 除く)		発病初期:5回	2,000~3,000倍
			抗生物質	普•一	•	ハダニ	<u>類●</u>	_		_		•			発病初期:8回	2,500倍
		ポリベリン水和剤 ※3	イミノクタシン	普•A		_		_	_	_		_		_	発病初期:8回	1,000倍
			キノキサリン	普·B		_		_	_	_	_	•			発病初期:10回	2,000~3,000倍
	16558	リドミル粒剤2	メタラキシル	普∙A							•			_	定植時又は生育期:3回	20kg/10a (土壌表面散布)
作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性· 魚毒性	アオムシ	アブラムシ	オオタバコガ	ま幼虫	オンシツコナジ	カメムシ	ハダニ類	ヨトウムシ類	アザミウマ類	ハマキムシ	適正使用基準	使用倍率
	19993	オルトラン粒剤	有機リン	普•A	_		_	_	_	_	_	● (6kg)		_	発生初期:5回	株元散布 3~6kg/10a
	19103	ベストガード粒剤(きく・キンセンカを除く)	クロロニコチニル	普•A	_		<u> </u>	_	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>		_		株元散布 1~2g/株
花き類	15957	アディオン乳剤(はぼたんを除く)	合ピレ	普∙B	_		_	_	_		_		_		発生初期∶6回	2,000倍(アプラ2,000~4,000倍)
			クロロニコチニル	劇•A		•	_	_	_		_	_	_	_	発生初期:5回	2,000倍
観葉植物		アファーム乳剤	エマメクチオン	普∙C	_	_		_	アザミウ	マ類●	_	•	_		発生初期:5回	1,000倍(アザミ2,000倍)
		オルトラン水和剤	有機リン	普•A	•	•		_	_	_		•			発生初期:5回	1,000倍(アブラ・アザミ1,000~1,500倍)
	12455	* カルホス乳剤	有機リン	劇•B		_		●(若齢幼虫)		_	_	_			一:4回	1,000倍
			呼吸阻害	劇∙B		_	_	ミカンキイロア	'サ゛ミウマ●	_	•	•		_	発生初期∶2回	2,000倍
殺虫剤			有機リン	劇•B		_	_	_		_		_			発生初期:6回	1,000倍
		スミチオン乳剤	有機リン	普•B	•	_	_	_	_	_		_		•	一:6回	1,000倍
			ピルロジン	普•A		•	_	_		_		_		_	発生初期:4回	5,000倍
			殺ずニ剤	普•B		_		_	_		•	_	_	_	一:2回	2,000~3,000倍
		粘着くん液剤	デンプン	普•A		_	_	_	_	_	•	_		_	発生初期:一	100倍(150~300L/10a)
			殺ダニ剤	劇·C		_	_	_	_	_	•	_		_	発生初期:1回	2,000倍
			クロロニコチニル	普•A		●(2,000倍)		_	•			_	_	_	発生初期:4回	1,000倍
		マラソン乳剤	有機ル	普·B		•		_	_	_		_	•		発生初期∶6回	2,000~3,000倍
\\ \tau_{-1} = -		ロディー乳剤 マ乳剤は、 キク、 ガーベラ、 シクラッン	合ピレ	劇·C	<u> </u>		_	_	_	_	•	_	_	_	一:6回	1,000倍

注意事項 * カルホス乳剤は、キク、ガーベラ、シクラメン、アジアンタムを除く(マツカイガラムシに効果あり)。 ※1:オーソサイド水和剤80は、ばら・りんどう・せんにちそう・コスモス・ひまわり・シネラリア・スイートピー・みやこわすれ・アンスリウム・斑入りアマドコロを除いた登録内容である。

^{|※2:}サンヨールは、ばら・きく・ペチュニア・パンジー・スターチス・プリムラを除く登録内容である。

^{|※3:}ポリベリン水和剤は、ストック・スターチス・チューリップ・ばら・クルクマを除いた登録内容である。 ※4:ベストガード水溶剤は、ポインセチア・きく・ばら・ユリを除いた登録内容である。

13. 樹木類防除ガイド(マイナー作物グループ化)(1)樹木類

	\ 1 /												_			
作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性• 魚毒性	アメリカシロヒトリ	カイガラムシ類幼虫	オビカレハ	エダシャク類	チャノドクガ	マイマイガ	マツカレハ	グンバイムシ類	ハダニ類	アブラムシ類	適正使用基準	使用倍率
	19992	オルトラン水和剤	有機リン	普•A	_	_	_	_	_	アサ゛ミウ	マ類●	_	_	_	発生初期:5回	1,000倍
	23021	スプラサイド乳剤40	有機リン	劇•B		•	_	_	_	ケムシ類●	(1,000倍)		_	_	発生初期:5回	1,000~1,500倍
樹木類	4962	スミチオン乳剤	有機リン	普∙B	•	_	_	_	_	フラーバラ	ゾウムシ●	•		•	一:6回	1,000倍(アメリカシロヒトリ500~1,000倍)
	4262	ダイアジノン水和剤34	有機リン	劇•Bs	•	_	_	_	_	_	_	_		_	発生初期:4回	1,000~1,500倍
殺虫剤	14459	トアロー水和剤CT	BT(クルスターキー系)	普•A	•	_		_	_	イラカ゛	`類●	_		_	発生初期:一	1,000~2,000倍(イラガ類1,000倍)
	17167	トレボン乳剤	合ピレ	普•B		_	●(2,000倍)	シャクトリムシ類	●(4,000倍)	ケムシ類●	(4,000倍)	_	_	_	幼虫発生期:6回	2,000~4,000倍
	12455	* カルホス乳剤	有機リン	劇・C	カイカ゛ラ』	ムシ類●	ケムシ類●	_	_	_		—	_	_	一:6回	1,000倍
樹木類	16300	トリフミン水和剤	DMI(トリフミソ゛ール)	普•B	うどんこ	_病 ●				_					発病初期:5回	3,000倍
	13411	トップジンMペースト	ヘ゛ンス゛イミタ゛ソ゛ール	普•A	_	_	•	ゆ合促進 ●		_					枝切除後:1回	原液塗布
殺菌剤	11574	*トップジンM水和剤	ヘ゛ンス゛イミタ゛ソ゛ール	普·A	斑点症・ごま色斑点病・輪紋葉枯病● 炭キ病 ●(1,000~1,500倍) うどんこ病●								発病初期:5回	1,000倍		
	9512	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン	普•Bs	1年生雑草(ツユクサ科・カヤツリグサ科・キク科・アブラナ科を除く) 雑草発生前 畦間・株間土壌散布									植付後、生育期(雑草発生前):2回	4 ~ 5kg∕10a	
樹木類	7327	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン	普•Bs	1年生雑草(ツユクサ科・カヤツリグサ科・キク科・アブラナ科を除く) 雑草発生前 畦間・株間土壌散布 植付後										植付後、生育期(雑草発生前):2回	200 ∼ 300ml/10a
	20958	バスタ液剤	ク゛ルホシネート	普•A	1年生雑草									雑草生育期:3回	300 ~ 500ml∕10a	
除草剤	21766	ラウント゛アッフ゜マックスロート゛	ク゛リホサート	普•A	1年生雑草(多年生雑草500~1,000ml/10a、スギナ1,500~2,000ml/10a)									雑草生育期:4回	200 ~ 500ml∕10a	
		タッチダウンIQ	ク゛リホサート	普•A		1年生雑草(草丈30cm以下)										250∼500ml/10a
注意事項	* カルホス	、乳剤は、樹木類(まさき、も	っこく、すぎを除く)。	の登録内容	『である。		*トップシ	ジンM水和	剤は樹木	類(つつじ	類・かし・さ	べら・じん	ちょうげ・じ	ぎけ・ボプ ・	ラ いぬつげを除く)の登	፟፟፟፟፟

^{*}トアロー水和剤CTは樹木類(つばき類を除く)の登録内容である。 *トレボン乳剤は樹木類(つつじ類・ポインセチア・ソテツを除く)の登録内容である。

農薬散布の基本技術

- 1. 農薬散布前のチェック
 - 農薬のラベルは確認しましたか?
 - ・使用する農薬はドリフト(飛散)の可能性がありませんか?
 - ・周辺圃場に栽培されている作物は確認しましたか?
 - ・近隣の生産者と連絡をとっていますか?
- 2. 農薬散布時のチェック
 - 散布器具はきれいに洗浄してありますか?
 - ・風の強さ・向きは確認しましたか?
 - ・調整した散布液は適切な量ですか?
 - ・散布圧力や風量は適切ですか?

- ・適用作物・希釈倍数・収穫前日数・使用回数等に問題ありませんか?
- 近接作物にも登録がある農薬で代用できませんか?
- ・収穫時期が近い作物はありませんか?
- ・収穫時期が近い作物がある場合は散布日を調整していますか? (遮蔽シート・ネットなどの利用も有効です)
- 前回使用した農薬は残っていませんか?
- ・風の強い日に散布していませんか?
- ・必要以上に多く散布していませんか?
- ・必要以上に圧力・風量をあげていませんか? (飛散低減タイプのノズルの使用も有効です)

- 3. 農薬散布後のチェック
 - ・生産履歴(農薬を使用した①月日、②圃場、③作物、④農薬名、⑤使用量または濃度、⑥使用回数など)をきちんと記録しましたか?
 - ・使用器具はきちんと洗浄しましたか?
- 4. 収穫時のチェック
 - ・農薬を使用した日から収穫した日まで決められた日数をあけていますか?
 - ・農薬の付着した手袋や器具等が収穫物に触れていませんか?
 - ・生産履歴は、きちんと提出していますか?
 - ★★★「リスクをゼロにすることは困難ですが、食の安全・安心を確保するために生産者ひとりひとりが気をつけましょう」 ★★★